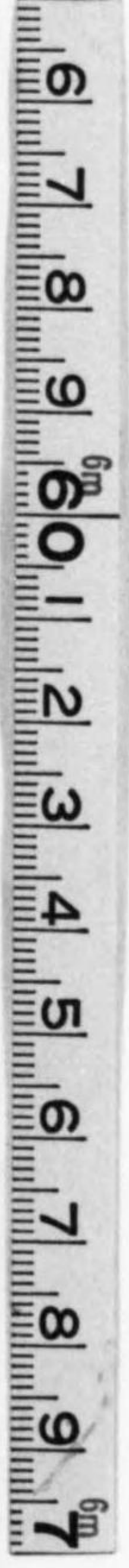


611.78-T0467  
1200500748535  
78  
16  
7



始



138



著部查調業工學大業工京東

611.78  
1046  
⑦

# 查 調 業 工 村 農

學 大 業 工 京 東



農村工業調査

東京工業大学工業調査部著



發行所寄贈本

## 序

「農村工業」問題は今や生産力の擴充と國土の保護防衛とを二大内容とする高度國防國家の建設、更にこれを最高指導原理とする國土計畫の策定との關聯に於いて全然新たな意義内容を賦與されるに至つた。

本調査研究は昭和十一年十二月より同十二年四月に亘つて、我が工業調査部が全國一萬一千五百三十三町村に發送した農村工業調査票に基き、我が國農村工業の業種別、地域別、經營規模別の比較研究並に立地學的研究を行つたもので、工業の地方移駐を要請して已まぬ現下の國策遂行上、若干の指針ともならば望外の幸ひである。

昭和十六年四月

東京工業大學工業調査部

東京工業大學  
工業調査部  
蔵書印

921  
20

目次

序文

第一章 問題の提起 ..... 一

第一節 農村工業調査の重要性 ..... 三

第二節 農村工業化の可能性 ..... 四

第二章 本調査の概要 ..... 九

第一節 總括 ..... 二

第二節 纖維工業 ..... 一八

第三節 金屬工業 ..... 三〇

第四節 機械器具工業 ..... 三五

第五節 化學工業 ..... 四〇

第六節 窯業 ..... 四七

第七節 木工業 ..... 五三

第八節 製炭業 ..... 五八

第九節 食品工業 ..... 六三

第三章 農村工業調査票に基きて作製せる統計資料..... 七

第一節 青森縣..... 八一

第二節 岩手縣..... 八五

第三節 宮城縣..... 八九

第四節 秋田縣..... 九三

第五節 山形縣..... 九六

第六節 福島縣..... 一〇一

第七節 茨城縣..... 一〇六

第八節 栃木縣..... 一一一

第九節 群馬縣..... 一一五

第十節 埼玉縣..... 一二九

第十一節 千葉縣..... 一三四

第十二節 東京府..... 一三九

第十三節 神奈川縣..... 一四三

第十四節 新潟縣..... 一四六

第十五節 富山縣..... 一四九

第十六節 石川縣..... 一五二

第十七節 福井縣..... 一五〇

第十八節 山梨縣..... 一五四

第十九節 長野縣..... 一五八

第二十節 岐阜縣..... 一六四

第二十一節 静岡縣..... 一六九

第二十二節 愛知縣..... 一七九

第二十三節 三重縣..... 一七九

第二十四節 滋賀縣..... 一八四

第二十五節 京都府..... 一八八

第二十六節 大阪府..... 一九三

第二十七節 兵庫縣..... 一九九

第二十八節 奈良縣..... 二〇五

第二十九節 和歌山縣..... 二〇九

第三十節 鳥取縣..... 二一三

第三十一節 島根縣..... 二一七

第三十二節 岡山縣..... 二二一

第三十三節 廣島縣..... 二二八

第三十四節 山口縣..... 二三四

第三十五節 徳島縣..... 二三八

第三十六節 香川縣..... 二四三

第三十七節 愛媛縣..... 二四七

# 第一章 問題の提起

## 第四章 農村工業郡別分布現勢圖(附圖)

第一	纖維工業	三三
第二	金屬工業	三五
第三	機械器具工業	三六
第四	化學工業	三七
第五	窯業	三八
第六	木工業	三九
第七	製炭業	四〇
第八	食品工業	四一
第九	雜工業	四二
第三十八節	高知縣	三五
第三十九節	福岡縣	三六
第四十節	佐賀縣	三七
第四十一節	長崎縣	三八
第四十二節	熊本縣	三九
第四十三節	大分縣	四〇
第四十四節	宮崎縣	四一
第四十五節	鹿兒島縣	四二

### 第一節 農村工業調査の重要性

「農村工業化」問題は、數年來、一面に於いては疲弊困憊せる貧窮農村の救済、他面では都市工業労働者の賃銀高、労働者の思想悪化等を根因とする都市に於ける資本主義的工業の不引合と云ふことを背景として、農村移植を考へたものであつたが、近時、日本の資本主義經濟機構の統制經濟、計畫經濟への移行は、世界的傾向としての所謂全體主義思潮と相俟つて著しく濃化しつゝあり、加ふるに今や戰時體制下に入つて、この農村工業問題は更に新たなる意義と内容とを賦與されるに至つたと考へられる。而してその新たなる意義内容とは生産力の擴充と國土保護防衛とを二大内容とする國防國家の建設、更にこれを最高指導原理とする「國土計畫」との關聯に於いてある。即ち我が國に於ける工業の地理的配備は昭和十三年末現在に於いて、工場總數十一萬二千三百三十二工場中、東京一萬

昭和十三年末現在工場數

業種	東京府	神奈川縣	靜岡縣	愛知縣	京都府	大阪府	兵庫縣	福岡縣	三府五縣計	全國總計	百分率
紡織工業	1,777	1,023	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	10.0
織工業	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	10.0
金屬工業	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	10.0
機械器具工業	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	10.0
窯業	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	10.0
化學工業	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	10.0
製材及木製品工業	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	10.0
印刷及製本業	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	10.0
合計	11,232	11,232	11,232	11,232	11,232	11,232	11,232	11,232	11,232	11,232	100.0

六千二百六十六工場、神奈川九千八百五十九工場、靜岡三千九百二十七工場、愛知一萬一千九百九十七工場、京都四千四百二十工場、大阪一萬九千四百八十一工場、兵庫五千六百七十九工場、福岡千八百十工場、合計六萬五千四百三十九工場で、全體の五八%は四大工業地域（京濱・中京・京阪神・北九州）に集積立地され、而も極めて單純に、東京を起點として太平洋岸から瀬戸内海の半面を西に走つて北九州に至る細長い帯狀の地域に偏傾してゐる。のみならずこれを主要工業部門別に考察すれば戰争目的遂行上、最も重要な金屬工業は七九%、機械器具工業は七七%、化學工業は六五%、印刷製本業（宣傳用）六八%を占めてゐる。左表はこの間の消息を語るものである。この地帯は又、我が國文化の中核を形成する智能の集結地域であり、又人口の大半が占據し、國富の中心地でもあり、旁々我が國力の心臓部であり腦中樞部でもある。

この事は戰時に於て敵機の空襲爆撃の好目的物となるので、その



食料品工業	六三九	二九七	五三三	九〇〇
ガス及電気業	八	三〇	三七	一八
其他の工業	一三三	三〇	五三	一三三
合計	一六七	一六五	三二七	一一九七

危険や、誠に想像するに慄然たらしむるものがあるのである。

これが空爆防避の方策としては工場設備に對して各種のカムフラージュ又は施設を講ずること、例へば工場の外装を國防色に塗り替へるとか、工場の上層部に草木等を植ゑるとか、その他の被覆を施して見分け難くするか、或は進んで工場に地階を増設したり、地下に埋没せしめ、緑地帯を作る等があるが、所詮これ等は目先の應急策に過ぎず、これが根本策としては何んと云つてもこれ等の重要工業をかくの如く一定地點に密集せしめないで、地方に分散逃避移駐せしむることである。而も現代工業の技術的經濟的發展段階は、『工業立地學』の立場から見て立派に農村工業化は可能なのである。何れにせよ、現下の『農村工業化』問題はかくて新なる意味に於て重要性を加重した譯である。

## 第二節 農村工業化の可能性

元來、農村工業化は二つの異つた形態を採つて現はれてゐる。

(一)農村に於ける新工業の創設及び(二)古い都市工業の農村への移動、これである。而してこれ等工業の農村への分散のためには、次の如き經濟地理學的前提を有せざる限り、その實現は不可能である。

るだけ炭田地方に、乃至は直ぐその附近に工場の所在地を定著せしめた。さうしなくては石炭の運送費で生産費が嵩むからである。然るに高壓電流の送電線が張られることになつてから、工業は原料產地へでも、労働力の低廉な地方の附近へでも、何處へでも移動することが出来る。斯様な譯で、工業がアメリカ合衆國では東北部から南方へ、イギリスでは北部から東南隅の方へと著しく移動してゐる。従來、主として炭坑地の附近に集まつてゐた工業は分散する。個々の工業國の經濟的構成は平均して來る。純然たる農業地方と、主として工業の行はれる地方とに分離してゐた傾向性が薄らいで來る。

(b) 高壓電流送電のシステムは、蒸氣時代に於ては石炭の缺乏のためにその經濟的發展を妨げられてゐた所の個々の地方が、飛躍的な發展を遂げるための具體的な基礎を作り出した。最近十年間に於ける北伊太利の工業の飛躍的發展は、アルプスからの高壓の電流が送られなかつたならば不可能であつたに相違ない。遠隔の地に高壓電流を送ることが出来るやうになつた結果、交通技術のよく發達してゐない原料産地を工業的に利用することが可能性となつた。この事は世界的にはアフリカ及びアジアに取つて重要性を有つ。國內的には地方農村の工業化に不可缺の條件を提供したことになるのである。この電気エネルギーの重大性は大量の電気エネルギーを無線で傳送しようとするマルコニーの企てが成功したならば、より大きな規模となるであらう。蓋し現在の送電には多額の費用を要するか

食料品工業	一、三九六	四四四	六、三三三	一六、九四四	三六
ガス及電気業	一一	一〇	一〇	一〇	三〇
其他の工業	一五〇	一〇	八、一〇〇	一三、三九	六六
合計	一六六	一八四	一五、四三三	三〇、三三三	五九

第一に擧げらるべきものは電気エネルギー網が廣汎に張られたことである。

電気エネルギーは帝國主義の時代の特徴を成してゐる。エネルギーの大本の源泉(瀑布、炭坑)の所有地の巨大なる作業所で發電し、非常な遠隔の土地に高壓電流の送電をやるのが益々盛んに行はれる様になつて居る。アルプスで發電された電氣はロンバルデーの諸都市に送電され、スイスの電氣は三百軒以上も隔つたドイツに賣られてゐる。アメリカ合衆國では二十萬から四十萬ボルトの高壓電流が數百軒の遠隔地に送電されてゐる。

かくる高壓電気エネルギーへの轉變は巨大なる經濟的結果を齎したが、特に工業立地への作用性は最も注目すべきものであつて、所謂『農村の工業化』はこれが爲めに、益々盛んに行はれるやうになつてゐる。

我が國に於いても今や北陸や信州で造られた電氣が遙かに數十里を隔つた大阪・東京・名古屋神戸等の大都市は云ふ迄もなく、如何なる遠隔の農村にも送られてゐる有様で、農村工業化の可能性は之に依り與へられたのであつた。即ち

(a) 工業の場所の選が非常に自由になつたので、大工業の分擇散が可能になつた。以前の蒸氣エネルギーは多くの工業をして出來

らである。

(c) 蒸氣エネルギーが電力に置き換へられた結果、工場の姿が變化してしまつた。アメリカ合衆國では凡ゆる工場の内、七五%、ドイツでは丁度五〇%だけが電力で動いてゐる。我國でも昭和十三年度の商工省工場統計表に據れば、工場總數十一萬二千三百三十二工場中、電力原動機使用のものは九萬八千九十九工場即ち總工場數に對して、八七・三%の多數に及んでゐる。これを工業別に示せば左表の如くである。

工業	工場數	電力原動機 使用工場數	同 百分率
紡織工業	二八、〇九二	二五、六五〇	九一・三
金屬工業	一一、一三五	一〇、四一六	九三・五
機械器具工業	一七、五七〇	一六、七三五	九五・二
窯業	四、八一六	三、六四六	七五・七
化學工業	六、一四六	五、三〇二	八六・三
製材及木製品工業	一〇、六二九	九、三三四	八七・八
印刷及製本業	三、九三三	三、八二三	九七・二
食料品工業	一六、九四四	一四、四九五	八五・五
ガス及電気業	六六九	六五六	九八・一
其他工業	一一、三九九	八、〇六二	六五・〇
合計	一一二、三三二	九八、一一九	八七・三

この結果、蒸氣機關の「統一的な運動」は消え失せてしまつた。「節動輪や動軸や齒車や回轉軸や索帶や小齒車や種々な聯動機等から組立てられてゐる「配力機關」は殆んど全く廢せられてしまつた。工場全體は絶對的に「電力の供給」に依存してゐる。しかしこの事

は確かに舊式の蒸氣運轉工場より遙かに移動の自由に富み、弾力性に富んでゐる。然り、工場一般を分散せしめようといふ思想、近代的な基礎の上に新たに農村工業を建設しようといふ思想を擡頭せしめたのであつた。この事は夙にアーウィング・フィッシャーが『チャイアント・パワー』と云ふ著書の中で書いてゐるところである。

かくの如く蒸氣から電力への推移は工場の立地に、將た又工場の姿に一大變動を與へたのであるが、今や電力界にはエレクトロンの登場を見、石油界では石炭液化や海水から石油を採取する等、動力自身は非常な變貌を招來し、こゝに益々工業の立地上、農漁山村工業の出現を可能ならしめんとしてゐる。

化學工業は電化と相並んで現今の技術の上にその特殊の刻印を捺しつゝある。空氣から窒素を造つたり、石炭を溶解したり、木材から人絹や綿や羊毛を作つたり、廢物になつたゴムを再生したり、ポロを工業化したりする等。現在の發展の特徵は稀少な原料を、ウェーバーが云つてゐる様な「遍在物」に依つて、即ち何處にでも在る様な原料に依つて置換へることを目指して進んでゐる。

この發達は同時に機械に依る作業を化學の作業に依つて置き換へることを意味する。自然の儘の石炭を輸送する代りに（ドイツ及びイギリスでは貨物運輸の半分は石炭で占められてゐる。故に鐵道はガスの遠距離運送に對し頑強に反對してゐる）この石炭を電力やガスや石油に變形して、電線やパイプに依つて「機械に依る作業」を抜きにして、非常な遠隔地に送られる。材木を截り倒して鋸にか

に就いて全く何等の理解を必要としない。

勞働行程を個々の部分に分散することは、多くの部門に分れた經營の指導者をして加工の諸部分、様々な補助物及び半製品乃至最終生産物の製造を、それ／＼の場所を得られる利益に應じて様々な立地に移すことを考へさせる。近代の機械工業（特に自動車、自轉車製造業、精密機械工業（時計工業）の如き）に在つては極度に分業が行はれ、時計の如きも實に二百の工程に細分され、従つてその各工程は唯にでも出来る様な極めて簡單なる勞働に過ぎない。それ故に、従來の技術的に、所謂「精巧なる熟練勞働」なるもの、殆んど全部は機械が代つてやつて呉れる。自動車の部分品製作、自轉車のリム製作、ピストンリング、計量器の如き、これが製作には少くとも熟練勞働を必要としなくなつたのである。かくて近代勞働は如何なる素人でも容易に出来るやうになつた。かくて今日ではかゝる勞働の擔ひ手として低賃銀の農夫（農閑期に於て）の登場を許容するのである。こゝにも農村工業化の可能性が存在する次第である。

（註）分業は勞働過程合理化の極めて有效な一方法であると共に又他の一聯の合理的方法適用の前提となるものである。凡ゆる分業なるものは個々人が、その勞働期間中、少數の物に對して様々な取扱方を加へるものではなく、多數の物に對して同一の取扱方を施し行くことを特徴とする。分業は勞働者の修業の根本的低廉化と短縮とを齎す。蓋し分業では資格ある職工達を餘り使はなくて済むからである。

最後に、交通技術の發達を擧げることが出来る。鐵道の敷設は十九世紀に於ては確かに恐慌、飢饉を克服し、新しい地域を資本主義

たり、鐵道を掘つたり、鐵を熔かしたり伸ばしたりする代りに、セメントが登場してゐる。電氣分解は冶金術に於て革命を齎らしてゐる。この事は經濟的には、吾々が上に示した結果と共に、従來の工業が燃料の産地や原料の産地に集つてゐたに反し、今度は工業が全國に分散する傾向あることを意味する。こゝに「農村工業化」の可能性が生じたのである。

近代工業は熟練工を必要としない。先づ化學工業に就いて見るならば、この工業の生産手段は機械ではなくて、その中で勞働對象が變化する一而もこの場合、混合したり、搖り動かしたり、攪き廻したりするやうな、機械的な作用は單に補助的な役割を演ずるに過ぎない。所の装置—合目的々に組立てられたタンクや導管のシステム—である。生産は自動的に行はれ、多くの建築物には殆んど人間がゐない。装置に依る生産は、當該工場に於いて勞働力が著しく分れ分れることを意味する。熟練した裝置勞働者なるものは存在しない。化學工場には化學者の技師が居つて、これが傭人全體の五分の一を占めてゐる。而して常に秘密にされてゐる化學工業の技術は急速に變つて居る。I・G・塗料工業の重要な化學者は、その職を退く時には三年間俸給の全額支給を受ける。その代り、他の如何なる化學工場にも這入つてはいけないといふ條件ださうである。三年過ぎれば技術がその技師の有つてゐる程度以上に發達するから何等の心配はないのである。かゝる高級技師以外の残りの者は皆、不熟練勞働者であつて、補助勞働をやるに過ぎない。彼等は生産行程

的生産方法に開放するための重要な因素であつた。現今に至つては自動車と飛行機が指導權を握る。自動車、特にトラック運輸の經濟的意義は、従來、交通が稀少の故を以て鐵道を敷設しても引合はない様な人口稀薄な地方をして世界交通の圈内に引き入れた。例へば世界的には地中海からアラビヤを横斷してバグダッドに至る自動車線、即ちサハラ貫通線等の如き、又國內的には吾々の常に目撃する所であらう。

自動車に據る交通と飛行機に據る交通とは何よりも先づ人間の旅行に要する時間を短縮することに役立つ。自動車は先づ第一に短距離に、大鐵道への仲介者として、又都會と田舎との連絡に役立つ。それは都會に働いてゐる比較的よい地位にある人々をして田舎に住む事を可能ならしめる。

短距離の貨物輸送に於いて自動車は急速に重要性を獲得しつゝある。飛行機はこれ迄例外的に非常に高價の商品（運送に長時間を要すると非常に不利の損失となる）或は非常に速かに腐敗し易い商品の貨物輸送にのみ利用されてゐた。例へばイギリス大陸及び南阿に金を輸送したり、新鮮な草花や果物を南フランスからロンドンに運んだりするのに利用されてゐた。飛行機の眞當の重要性は、特に陸路がよく整備されてゐない場合の長距離の人間輸送（滿洲國に於ては匪賊の出没するや交通の未發達のため特に重要）に在る。かゝる場合の時間の節約は莫大なるものである。時間を節約したいといふ衝動は、大西洋は云ふ迄もなく、太平洋を横斷しようとする幾多の

企圖を生み出した。数年の内にアメリカとヨーロッパ、アメリカと東洋との間の定期空中輸送が實現さるであらうことは殆んど疑ふべくもない。

かくの如く、自動車、飛行機特にトラック運輸の進展は農村の工業品や、部分品の都市又は中央組立工場への連絡を圓滑にし、こゝにも「農村工業化」の成立を可能ならしめる。

かくの如き經濟地理的可能性があるが故に、都市工業は安價な原料、安い動力、低い勞銀等を目指して農村に移殖され、又農村には原料利用の擴大強化に依つて新工業の創設となり、所謂農村工業は、所謂合理的計劃的經濟の上に配備整頓されつゝある。

## 第二章 本調査の概要

## 第一節 總括

### 一、解題

農村工業は原則として農業地域を立地とするものであつて、原料・労働力・資本の孰れかを農村より受けて成立する工業と考へられる。そこで農村工業化の程度を確認せんがためには、先づ我が國土を幾つかの農業地域に區分し、その地域内に於いて、既存工業は如何なる形態に於いて如何に分布されて居るかの點から發足せねばならない。

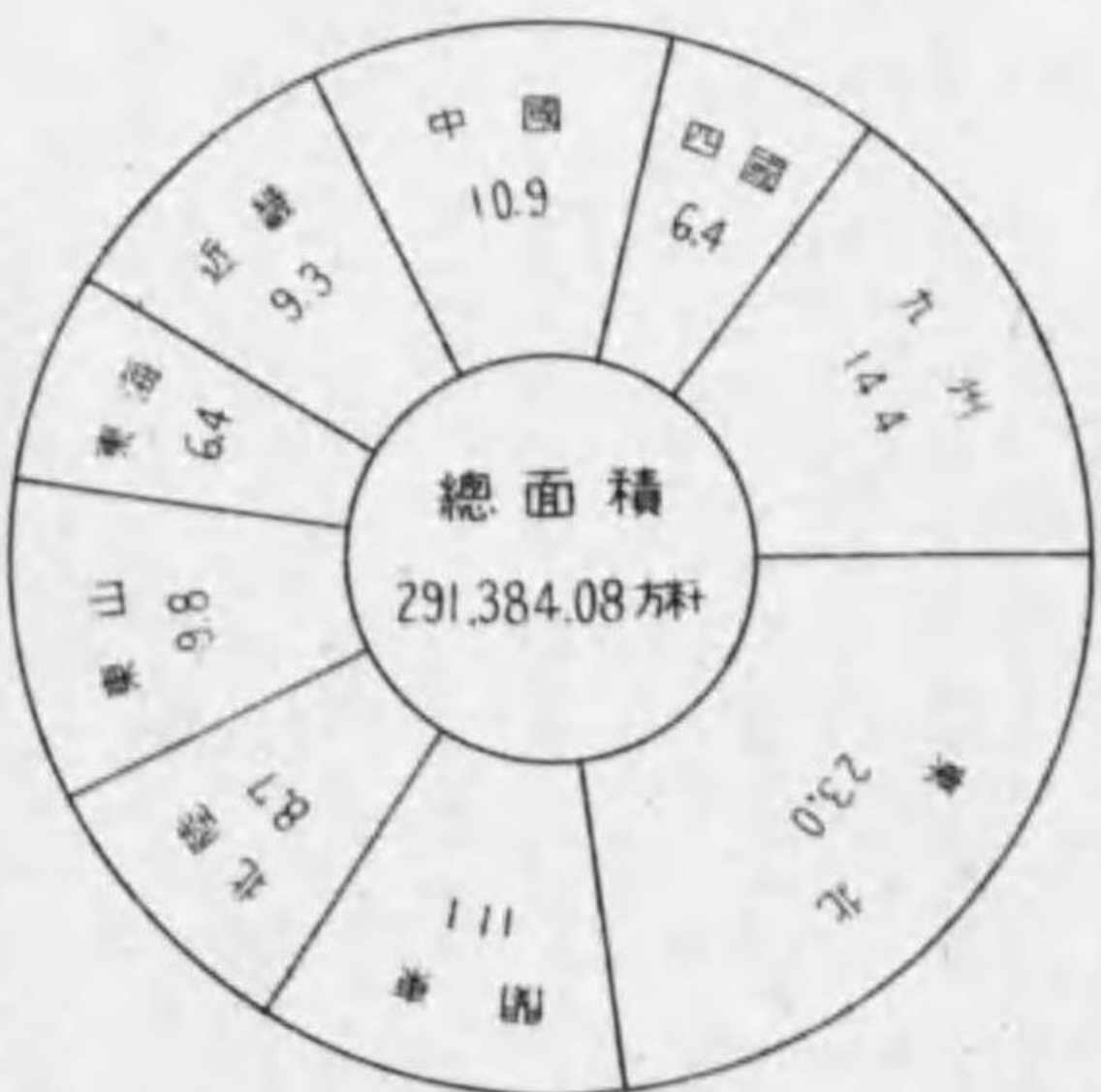
次に重要な事柄は幾つかに分割せる地點の經濟活動（工業經營活動）の分布範圍を相互に比較對照せしむることである。更に、この比較對照が地域別乃至は經營（工業種類）別單位を採りて行はれた結果の分析（當該工業の存否及分布密度の大小）が肝要である。蓋しこの事は相關的に新設工業の吸引・既設工業の擴充・都市工業の分散等の問題解明への指針となるものであるからである。

吾々はこの研究を進めるに當り次の如き分析の方法を採用することにした。即ち先づ農村工業の調査地域は東北、關東、北陸、東山、東海、近畿、中國、四國、九州の九地區に又、調査工業は纖維工業、金屬工業、機械器具工業、化學工業、窯業、木工業、製炭業、食品工業、雜工業の九種とした。（尚ほ、グラフを以つて示した地域別面積比が常に比較基礎となることは注意を要する點である。）

農村工業の調査地域

- 東北地域…青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島の六縣
- 關東地域…茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川の七縣
- 北陸地域…新潟、富山、石川、福井の四縣
- 東山地域…山梨、長野、岐阜の三縣
- 東海地域…静岡、愛知、三重の三縣
- 近畿地域…滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の六縣
- 中國地域…鳥取、島根、岡山、廣島、山口の五縣
- 四國地域…徳島、香川、愛媛、高知の四縣
- 九州地域…福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、鹿兒島の八縣

地域別面積比



地域	面積(方町)	面積比(%)
東北	六六、九一一・二一	二二・〇
關東	三二、二二五・八三	一一・一
北陸	二五、二九二・三七	八・七
東海	二八、五八六・六四	九・八
近畿	一八、六一六・三三	六・四
中國	二七、二二〇・六九	九・三
四國	三一、六七九・一九	一〇・九
九州	一八、七七二・八三	六・四
計	四二、〇七八・九九	一四・四
農村工業種類別	二九一、三八四・〇八	

農村工業種類別

- 1、織維工業
- 2、金屬工業
- 3、機械器具工業
- 4、化學工業
- 5、窯業
- 6、木工工業
- 7、製炭業
- 8、食料品工業
- 9、雜工業

本調査は叙上の方法に基きて行はれたのである。

二、調査の経過

先づ調査の経過を述べれば左の如き、  
 拜啓愈々御清適之段奉欣賀候陳者農村經濟を豊かにする事が我が國策上最も重要事たるは申す迄もなく就中農業生産品の加工を高度化すること、農業以外の産業殊に工業に使用せらるる、労働賃金を農村に潤及せしむること、に關し當工業調査部に於て

は工業技術上並に經濟上の見地より夙に調査研究に従事致居候て是れこそは我國唯一の官立工業大學たる本學の當さに勉むべき事項なりとの信念に邁進罷在候而て今回別紙の通りの調査を遂げその成果を公表して指導の一助たらしめ度候に就ては御察忙中恐入候得共右研究調査御援助の意味に於て各項御記入の上御送被成下度候數字其他概略にて結構に候間可成至急御回示御願申上度先は御依頼迄如斯に御座候 敬具

昭和十一年十二月一日  
 東京工業大學工業調査部長 奥田寛太郎

(御注意)

本調査に於て農村工業と稱するは、通例工業地に於て行はるゝが如き諸種の工業は勿論、農産物、林産物、畜産物、水産物等を原料として、これに加工するものを謂ふ。即ち例へば農産物たる小麦を原料とする製粉業その他の製造業、林産物たる樹木を原料とする木材、木炭その他の製造業、牛乳を原料とするバターその他の製造業、水産物を原料とする罐詰工業その他の製造業、其他以上に準すべき廣範圍のものを謂ふ。

調査報告の依頼狀を、昭和十一年十二月より昭和十二年四月に亘つて、全國(沖縄縣を除く三府四十二縣)の一萬一千五百三十三町村に發送した。

その結果、同年十二月末日迄に到着した回答數は實に三千九百九十八町村に達した。

その後、その得たる報告に基き左記要項に依る統計を作成したのである。

農村工業調査票 (縣 郡 村(町)分)

如何なる種類の工業があるか	何年頃から始めたか	村内の全戸數は何戸か	この内上記の工業を営む戸數は何戸か	上記工業經營主は村か 會社か 組合か 個人か	原料は何處から來るか (自村内か 他から來るか)	製品の販賣方法はどうか その販賣先は何處か	将来に對して何か希望があるか	最近一ヶ年間の生産金額は凡そどの位か	村内の全人口數はどの位か	備考
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	
業		戸	戸					約	約	

統計作成要項 (××工業の分)

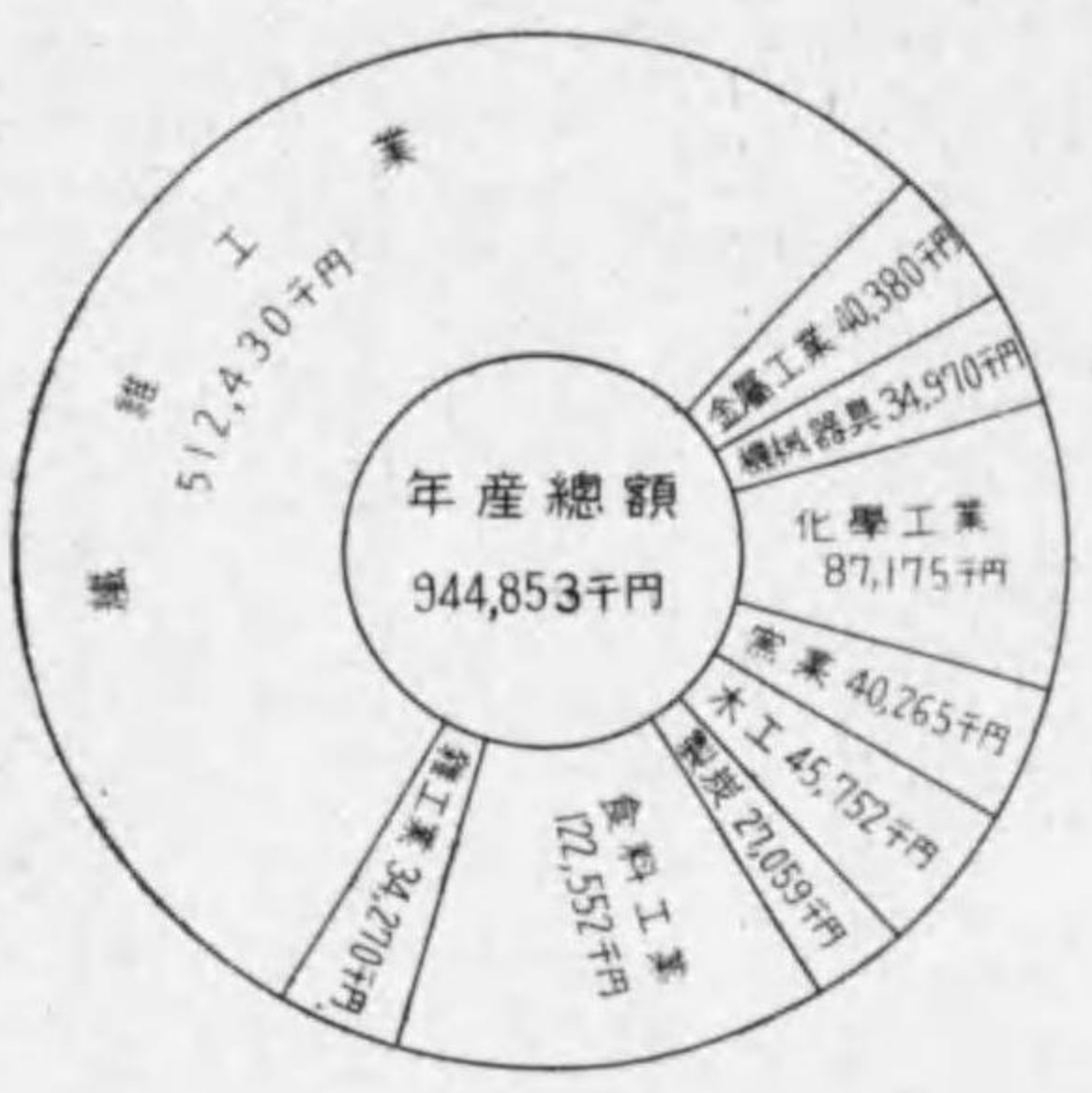
- 1、該當工業發生に就きその新舊の別 (昭和六年を限界とするその數)
- 2、その縣には該當工業を經營して居る町村が幾つあるか (生産町村數)
- 3、郡別による該當工業の經營町村數
- 4、その縣には該當工業を經營する戸數が幾つあるか (工場數)
- 5、郡別による生産戸數
- 6、その縣に於ける該當工業の生産額
- 7、郡別による該當工業の生産額
- 8、その縣に於ける該當工業の經營主別 (個人、組合、會社の別)
- 9、郡別による該當工業の經營主別
- 10、該當工業に用ふる原料の產地 (イ、該當地方  
ロ、他地方)
- 11、該當工業製品の販賣先 (イ、地方  
ロ、都會地)

三、總體的觀察

既述の要目に依り作成された統計に據り調査地域全般に亘る總體的觀察をなさねばならない。この總體的觀察に於いては以下の如き諸項目が取扱はれる。

- (1) 各工業の分布比較  
イ、生産場數より觀た場合 (經營數分布)

工業別	實數	百分比
織維工業	二二、三四八	七・〇八
金屬工業	四、一〇四	一・三〇
機械器具工業	六八七	〇・二二
化學工業	一一、二二三	三・八七
窯業	五、九四九	一・八八
木工業	一一、七〇八	四・〇二
製炭業	七六、九七六	二四・三八
食料品工業	六〇、〇〇三	一九・〇〇
雜工業	一一〇、八〇二	三八・二五



工業別	實數 (千圓單位)	百分比
織維工業	五二、四三〇	五四・二三
金屬工業	四〇、三八〇	四二・八
機械器具工業	三四、九七〇	三六・九
化學工業	八七、一七五	九・二三
窯業	四〇、二六五	四・二五
木工業	四五、七五二	四・八五
製炭業	二七、〇五九	二・八五
食料品工業	一一二、五五二	一二・九八
雜工業	三四、二七〇	三・六四

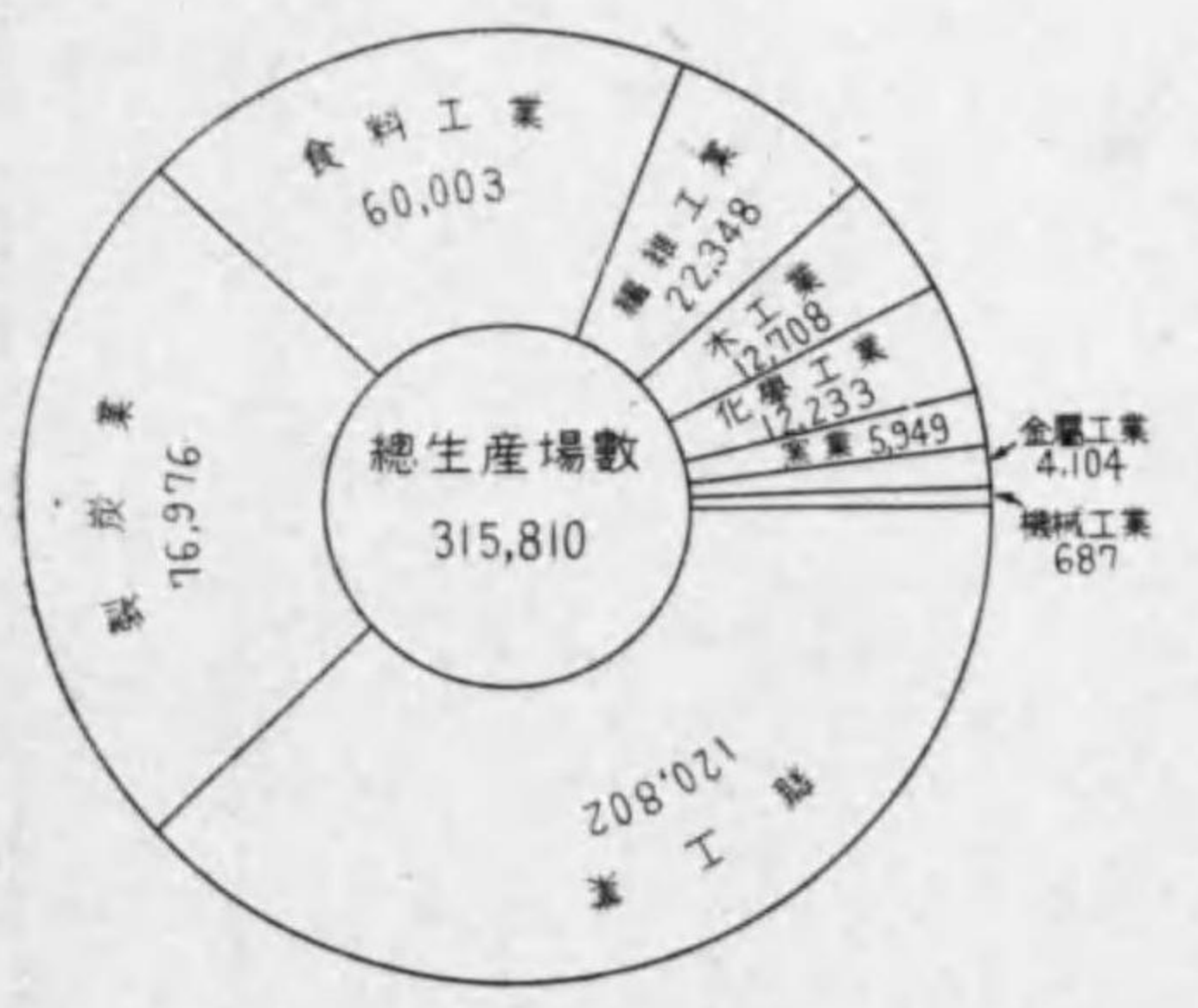
生産場數より見た場合——生産場數即ち經營に依る分布は次の如き順位に依りて構成されて居る。

- 一、雜工業 (三八・二五%)
- 二、製炭業 (二四・三八%)
- 三、食料品工業 (一九・〇〇%)
- 四、織維工業 (七・〇八%)
- 五、木工業 (四・〇二%)
- 六、化學工業 (三・八七%)
- 七、窯業 (一・八八%)
- 八、金屬工業 (一・三〇%)
- 九、機械器具工業 (〇・二二%)

以上に於いて高率を示すものは、雜工業、製炭業、食料品工業の三つであり。就中、食料品工業に於いては主としてその製品が自家消費用品若くは、局所的消費性即ち配給範圍が一郡一町村の如く限定されて居り、市場性製品を含まぬことが原則である。斯かる傾向は亦、雜工業に於いても認められる。製炭業に於いては農業の季節的制約に依る降雪期間に於いて農耕勞力が製炭勞力に向替られて營業するのである。農家の副業的乃至は兼業的である點に於いては前二者と同様であるが、その製品は専ら市場性を持ち、都市に於ける消

- ロ、生産額より觀た場合 (産額分布)
- (2) 各工業に見出される特性
  - (3) 工業の經營規模
  - (4) 地域別分布比較

\*農村工業に於いては工場制工業を採らざる生産單位が多分に包含されて居る爲めに以下本文に於いては生産場數なる語を使用することにした。



生産場數比較

費市場を目標けて輸送される點に於いて異なるものである。これに反し、化學工業、金屬工業、機械器具工業の如きは専門的經營を要し、専ら工場制工業に屬し近代的工業都市發展に於ける原動力的存在であり。その生成が原料産地、消費地、交通の樞要地點に於いてなされた結果、農村工業圏内に於ける分布は極めて低率を示して居る。中間的分布率を示すものには纖維工業と木工業とがある。纖維工業も亦、家内工業的發生から大量生産の形態に集約された工業であり、農村工業に於いては原料工業及び副業的小規模な機械經營乃至は都市工業の下請的存在を示すに過ぎない。木工業は主に製材業（約七六%）であり、山林地帯に於ける兼業的存在である。窯業は原料に牽引される性質を持つ工業であつて、産地が小都邑を生成せしむる結果、農村工業に於ける分布率は僅かに一・八八%である。

**産額による分布及經營規模**——經營數に依る分布が必ずしも産額に依る分布に一致するものではない。以下に産額による分布順位を掲げ兩分布率に依りて經營規模の比較を試みるであらう。

- 一、纖維工業（五四・二三%）
- 二、食品工業（二二・九八%）
- 三、化學工業（九・二三%）
- 四、木工業（四・八五%）
- 五、金屬工業（四・二八%）
- 六、窯業（四・二五%）
- 七、機械器具工業（三・六九%）
- 八、雜工業（三・六四%）
- 九、製炭業（二・八四%）

經營數に於いて第四位を占むる纖維工業が第一位を占め、第三位を占むる化學工業が經營數に於いて第六位を占め、經營數に於いて第二位を占むる製炭業が最下位を占めて居る。

次に經營規模を一經營單位當り 年産額Ⅱ 産額密度 に依りて、求むるならば、次の如き結果を示す。（次掲表参照）

- 一、機械器具工業
- 二、纖維工業
- 三、金屬工業
- 四、化學工業
- 五、窯業
- 六、木工業
- 七、食品工業
- 八、製炭業
- 九、雜工業

これ等經營規模の大小は專業的經營と副業的經營の孰れに屬するか或は家内工業的經營と工場制經營の孰れを採るかに依つて異なる。

一經營當り五〇、九〇二圓の年産額を示す機械器具工業及び、二二、九二九圓を示す纖維工業には小規模な工場制經營を含み、年産額四〇〇圓未満を示す製炭業及び雜工業は兼業的副業的經營に依ることが立證される。

**經營規模**

工業別	經營數	年産額	一經營當り
纖維工業	二二、三四八	五一一、四三〇	二二、九二九
金屬工業	四、一〇一	四〇、三八〇	九、八三九
機械器具工業	六八七	三四、九七〇	五〇、九〇二
化學工業	一一、二三三	八七、一七五	七、一二六
窯業	五、九四九	四〇、二六五	六、七六八
木工業	一一、七〇八	四五、七五二	三、五二六
製炭業	七六、九七六	二七、〇五九	三五二
食品工業	六〇、〇〇三	一一二、五五二	二、〇四二
雜工業	一一〇、八〇二	三四、二七〇	二、八四

**地域による分布比較**——以下に示す表は地域に依る經營數と生産

に就いて、總數に依るものと工業別に依る比較表とである。

地域	經營總數	地域	經營總數
東北	四、九四二	近畿	三、七、三〇五
關東	三、八、四九四	中國	四、九、二八一
北陸	三、三、一〇八	關西	二、五、〇三七
東海	二、三、六三三	九州	四、五、五八七
東山	二、七、四二三		

**工業別經營數比較**

地域	纖維	金屬	機械器具	化學	窯業	木工	製炭	食品	雜工業
東北	七、七	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
關東	七、七	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
北陸	七、七	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
東海	七、七	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
東山	七、七	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
近畿	七、七	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
中國	七、七	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
關西	七、七	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
九州	七、七	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一

**總生産額比較**

地域	總生産額	地域	總生産額
東北	三、三、九〇五	近畿	二、一、七、五二六
關東	一、〇、三、六二二	中國	一、四、七、四二二
北陸	八、六、四九四	關西	七、〇、二、六七
東海	五、七、九五一	九州	五、四、五〇六
東山	一、七、三、一一〇		

**工業別産額比較**（千圓單位）

地域	纖維	金屬	機械器具	化學	窯業	木工	製炭	食品	雜工業
東北	一、〇〇〇	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五
關東	一、〇〇〇	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五
北陸	一、〇〇〇	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五
東海	一、〇〇〇	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五
東山	一、〇〇〇	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五
近畿	一、〇〇〇	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五
中國	一、〇〇〇	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五
關西	一、〇〇〇	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五
九州	一、〇〇〇	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五	三、五

今、この諸表から各地域に於ける經營規模及び一方軒當り經營密度並びに産額密度を求むれば、

**東北地域** 面積比に第一位を占め二割三分（地域別面積比参照）に當り經營數に於いては第二位、産額に於いては第九位に位し、經營規模（一經營數當り年産額）七三六圓、經營密度〇・六八、産額密度五〇六圓を示して居る。

**關東地域** 面積比に第三位を占め、一割一分に當り經營數に於いては第四位、産額も又第四位を占めて居り、經營規模二、六九七圓、經營密度一・一九、産額密度三、二一七圓を示して居る。

**北陸地域** 面積比に於いて第七位を占め八分七厘に當り、經營數に於いては第九位、産額は第五位を占めて居り、經營規模三、七四〇圓、經營密度〇・九一、産額密度三、四二八圓を示して居る。

**東山地域** 面積比に第五位を占め九分八厘に當り、經營數に於いては第八位、産額は第七位を占めて居り、經營規模二、四五三圓、經營密度〇・八二、産額密度二、〇三一圓を示して居る。

**東海地域** 面積比に於いて第九位を占め六分四厘に當り、經營數に於いては第六位、産額は第二位を占めて居り、經營規模六、三二七圓、經營密度一・四二、産額密度九、三〇六圓を示して居る。

**近畿地域** 面積比に於いて第六位を占め九分三厘に當り、經營數に於いては第五位、産額は第一位を占めて居り、經營規模五、八三一圓、經營密度一・三七、産額密度七、九九六圓を示して居る。

**中國地域** 面積比に於いて第四位を占め一割九厘に當り、經營數に於いては第一位、産額は第三位を占めて居り、經營規模二、九九五圓、經營密度一・五五、産額密度四、六六四圓を示して居る。

**四國地域** 面積比に於いて第八位を占め六分四厘に當り、經營數に於いては第七位、産額は第六位を占めて居り、經營規模二、八〇八圓、經營密度一・三三、産額密度三、七五四圓を示して居る。

**九州地域** 面積比に於いて第二位を占め一割四分四厘に當り、經營數に於いては第三位、産額は第八位を占めて居り、經營規模一、一九七圓、經營密度一・〇八、産額密度一、二九七圓を示して居る。

以上に於ける各地域の分布比較の結果を集約せるものが左の「各地域に於ける分布密度」である。

地域	經營規模 (一經營當り産額圓)	經營數密度 (一平方軒當り經營數)	産額密度 (一平方軒當り産額圓)
東海	六、三二七	中	一・五五
近畿	五、八三一	東	一・四二
中國	二、九九五	東	九、三〇六
四國	二、八〇八	近	七、九九六
九州	一、一九七	東	七、九九六

地域	經營數	産額	經營規模
北陸	三、七四〇	一、三三七	四、六六四
中國	二、九九五	一、三三三	三、七五四
關東	二、八〇八	一、一九九	三、四二八
東山	二、六九七	一、〇〇八	三、二一七
九州	二、四五三	〇・九一	二、〇三一
東山	一、一九七	〇・八二	一、二九七
北陸	七三六	〇・六八	五〇六

### 第二節 纖維工業

#### 一、概 説

我が國に於ける工業全産額の約四分の一(二四・五%)を占むる纖維工業は農村工業に於いても重要な地位—經營數に於いて第四位(七・〇八%)、産額に於いて第一位(五四・二三%)、經營規模に於いて第二位(一經營當り年産額二二、九九九圓)を占めて居る。

昭和十年工場統計に依る生産額百分比中より紡織工業の總比率に人造絹絲、足袋、帽子の比率を加へて纖維工業の二四・五%を算出せるものである。

次に農村工業に於ける地域別分布に就きて纖維工業を經營數、産額、經營規模の三點より觀察するならばA表の如き結果が表され、又その密度順に示せばB表の如くである。

**纖維工業 A 表**

地域	經營數	産額 (千圓)	經營規模
東北	二、二二九	一一、〇〇〇	四、九三五
關東	七、二七一	四一、三四五	五、六八六
北陸	二、一六六	六二、二九七	二九、四四一
東山	三、〇七八	二二、一六〇	七、一九九
東海	一、八八七	一〇六、八九三	五四、九七八
近畿	二、九三六	一四五、〇八四	四九、四一六
中國	一、三一五	七九、八七三	六〇、七四一
四國	一、一六二	三五、九九九	三〇、九八一
九州	三五四	七、七七五	二一、九七六

**纖維工業 B 表**

經營數	産額	經營規模
第一位 關東	東	中
第二位 東山	東	東
第三位 北陸	中	東
第四位 東海	東	東
第五位 東山	東	東
第六位 近畿	東	東
第七位 中國	東	東
第八位 四國	東	東
第九位 九州	東	東



都市工業をも含む全般的な纖維工業の分布に於いて愛知縣の五一



五、七、二、四、千圓、大阪府の四七〇、三九二千圓（昭和十一年工場統計）の二府縣が著しき産額を示して居る。これに對する農村工業に於いてもこれ等の二府縣を繞ぐる地域（近畿・東海の産額参照）に著しき分布が認められる。従つて纖維工業より觀て農村工業は都會工業と別個に發達するものではなく、都會工業に吸引され、相關的關係を保持しつゝ分布されて居る點が窺はれる。

二、府縣別分布

調査地域三府四十二縣に涉る年産額に就きて二百萬圓に達せざる縣は一七を數へる。これに對し二百萬圓を超える府縣を五段階に分ちて表示せば以下の如くである。

- 1、五千萬圓以上の産額を示す府縣
  - (1) 大 阪
- 2、三千萬圓以上の産額を示す府縣
  - (2) 靜 岡
  - (3) 愛 知
  - (4) 石 川
  - (5) 京 都
- 3、一千萬圓以上の産額を示す府縣
  - (6) 岡 山
  - (7) 兵 庫
  - (9) 埼 玉
  - (10) 三 重
  - (12) 福 井
  - (13) 德 島
  - (16) 廣 島
  - (18) 栃 木
- 4、五百萬圓以上の縣
  - (19) 長 野
  - (20) 愛 媛
  - (21) 岐 阜
  - (22) 山 形

5、二百萬圓以上の府縣

府縣名	年産額	一地域を100とし此に對する各府の割合
(23) 福 島	11,000,000	100
(24) 山 梨	10,000,000	90.9
(26) 和 歌 山	9,000,000	81.8
(27) 福 岡	8,000,000	72.7
(25) 東 京	7,000,000	63.6
(28) 群 馬	6,000,000	54.5
青 森	5,000,000	45.5
岩 手	4,000,000	36.4
宮 城	3,000,000	27.3
秋 田	2,000,000	18.2
山 形	1,500,000	13.6
福 島	1,000,000	9.1
關 東	800,000	7.3
茨 城	700,000	6.4
栃 木	600,000	5.5
群 馬	500,000	4.5
埼 玉	400,000	3.6
千 葉	300,000	2.7
東 京	200,000	1.8
神 奈 川	100,000	0.9
北 陸	100,000	0.9
新 潟	100,000	0.9
富 山	100,000	0.9
石 川	100,000	0.9
福 井	100,000	0.9
東 山	100,000	0.9
山 梨	100,000	0.9
長 野	100,000	0.9

次に三千萬圓以上の産額を収むる府縣の生産額は如何なる製品の生産より構成されて居るかを見れば、

- 一、大 阪
  - 綿織物（五割八分）
  - 毛織及毛織物（一割四分）
- 二、靜 岡
  - 綿織物（七割九分）
  - 綿紡績（一割六分）
- 三、愛 知
  - 綿織物（四割二分）
  - 毛織及毛織物（三割一分）
- 四、石 川
  - 絹織物（九割七分）
- 五、京 都
  - 絹織物（八割八分）

府縣名	年産額	一地域を100とし此に對する割合
東 海	10,000,000	90.9
靜 岡	9,000,000	81.8
愛 知	8,000,000	72.7
三 重	7,000,000	63.6
近 畿	6,000,000	54.5
滋 賀	5,000,000	45.5
京 都	4,000,000	36.4
大 阪	3,000,000	27.3
兵 庫	2,000,000	18.2
奈 良	1,500,000	13.6
和 歌 山	1,000,000	9.1
中 國	1,000,000	9.1
鳥 取	1,000,000	9.1
島 根	1,000,000	9.1
島 山	1,000,000	9.1
岡 山	1,000,000	9.1
廣 島	1,000,000	9.1
山 口	1,000,000	9.1
德 島	1,000,000	9.1
香 川	1,000,000	9.1
愛 媛	1,000,000	9.1
高 知	1,000,000	9.1
九 州	1,000,000	9.1
福 岡	1,000,000	9.1
佐 賀	1,000,000	9.1
長 門	1,000,000	9.1
熊 本	1,000,000	9.1

織維工業D表	産 額	一地域を100とし此に對する割合
大 阪	10,000,000	90.9
宮 城	9,000,000	81.8
鹿 兒 島	8,000,000	72.7
合 計	3,330,000,000	100
一、大 阪	1,500,000,000	45.0
二、靜 岡	1,200,000,000	36.0
三、愛 知	800,000,000	24.0
四、石 川	200,000,000	6.0
五、京 都	100,000,000	3.0
生 産 額	10,000,000,000	100
燃 料	1,000,000,000	10.0
絹 織 物	1,000,000,000	10.0
綿 紡 績	1,000,000,000	10.0
綿 織 物	1,000,000,000	10.0
人 絹 及 同 織 物	1,000,000,000	10.0
人 造 織 維	1,000,000,000	10.0
麻 及 同 織 物	1,000,000,000	10.0
毛 織 及 同 織 物	1,000,000,000	10.0

織物	5,566,600
莫大	2,050,100
製粗	1,940,900
製色	896,300
染子	10,330,100
帽	3,930,000
既製洋服	1,100,000
足袋	13,900,000
合計	52,210,000

\*織物とは織物とのみ回答して何れに属するか不明のものを含ましむ。  
右に於いて産額構成品種は綿織物三、絹織物二、毛絲織物二、を示して居る。

綿織物は總産額の二割五分に當り第一位を占めて居り（表参照）絹織物も亦一割九分に當り、第二位に見出される。兩者は共に農村工業としての分布性を持ち、廣く散在して居る。綿織物に於いて大なる産額を示す（年産額一〇〇萬圓以上）諸縣には前記三府縣（大阪・静岡・愛知）の外、兵庫・岡山・三重・福岡・廣島・愛媛があり、又、絹織物に於いては前記二府縣（石川・京都）の外に滋賀・福井・新潟・福島・埼玉・栃木・愛知・群馬・山梨の諸縣が擧げられる。（各府縣の産額に就きてはE表参照）

綿織物の生産分布は全工業生産額（昭和十一年度工場統計表参照）から見て優位乃至は中位を占むる工業化地域に分布されるに反し、絹織物の生産分布は全生産額から見て中位乃至は下位的地域に分布されて居る點に於いて異なる傾向が認められる。

農村工業としての分布性を持ちその生産分布に於いて第四位（總産額に對する一割）を數へるものに生絲がある。この工業は絹織物の分布と相關的に廣く散在して居るが、必ずしも同一な分布形態を示すものではない。試みに八九五萬圓の産額を示す長野縣を首位に一〇〇萬圓以上の年産額の地域を産額順に示せば以下の如くである。

長野	山形	埼玉	徳島
愛媛	京都	三重	島根
山梨	東京	大分	高知
愛知	長崎	鹿児島	岡山

以上農村工業としての著しき分布性を示す業種に就きて述べたのであるが、こゝには寧ろ都市工業としての分布性を持つ織維工業の農村工業に於ける分布位置に就きて言及せねばならない。

その一つは綿絲紡績である。綿絲紡績は我が國に於ける國際的商品として産業部門に於いて重要な地位（昭和十一年の工場統計によれば總紡績工業の約四分の一の産を示してゐる）を確保して居るが、生産分布に於ては寧ろ都市工業に屬せしむべきであり、農村工業としての著しき分布性が認められない。

農村工業に於ける綿絲紡績業は調査地域の中一府十一縣に分散して居る。産額に於いては織維工業中第三位（總産額に對する一割一分を占めて居り、年産額一〇〇萬圓以上を持つ府縣には鳥取・香川・静岡・徳島・大阪・廣島・愛媛・愛知・岡山・兵庫がある。（E表参照）

織維工業表（其の一）

順位	府縣	生絲	綿織物	綿絲紡績	絹織物	人絹及織物	人造織維	麻及同織物
1	青森	100,114	103	—	—	—	—	100
2	岩手	100,000	—	—	—	—	—	100,000
3	宮城	—	—	—	—	—	—	100,000
4	秋田	—	—	—	—	—	—	—
5	山形	101,000	—	—	—	—	—	—
6	福島	101,000	—	—	—	—	—	—
7	茨城	101,000	—	—	—	—	—	—
8	栃木	101,000	—	—	—	—	—	—
9	群馬	101,000	—	—	—	—	—	—
10	埼玉	101,000	—	—	—	—	—	—
11	千葉	101,000	—	—	—	—	—	—
12	東京	101,000	—	—	—	—	—	—
13	神奈川	101,000	—	—	—	—	—	—
14	新潟	101,000	—	—	—	—	—	—
15	富山	101,000	—	—	—	—	—	—
16	石川	101,000	—	—	—	—	—	—
17	福井	101,000	—	—	—	—	—	—
18	山梨	101,000	—	—	—	—	—	—
19	長野	101,000	—	—	—	—	—	—
20	岐阜	101,000	—	—	—	—	—	—
21	静岡	101,000	—	—	—	—	—	—
22	愛知	101,000	—	—	—	—	—	—

22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
愛	静	岐	長	山	福	石	富	新	神	東	千	埼	群	栃	茨	福	山	秋	宮	岩	青
知	岡	阜	野	梨	井	川	山	湯	川	京	葉	玉	馬	木	城	島	形	田	城	手	森
0.000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000

二五

織 工 業

毛絲及同織物

織物

莫大小

製

製

綿

染

色

帽

子

既製洋服

足

袋

45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	
總	鹿	宮	大	熊	長	佐	福	高	愛	香	德	山	廣	岡	島	島	和	奈	兵	大	京	滋	三
兒	島	崎	分	本	崎	賀	岡	知	媛	川	島	口	島	山	根	取	山	良	庫	阪	都	賀	重
0.000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000	000,000,000

五二

総計	33 山口	32 島根	31 岡山	30 広島	29 香取	28 秋田	27 佐賀	26 大分	25 京都	24 滋賀	23 三重
1,500,000	100,000	100,000	200,000	1,000,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

其他、主なるものには人絹及び同織物、毛糸及び同織物、染色、足袋等がある。

人絹産額の一〇〇萬圓以上の府縣には山口・福井・岐阜・栃木・大阪があり、染色は大阪・愛知の一府一縣で産額の殆んどを占めて居る。毛織及び足袋の生産は極めて局地的であり、毛糸及び同織物は愛知一縣に於いて全産額の約半数を含み、足袋は埼玉が全産額の九割強を占めてゐる。

三、結 語

以上、農村工業に於ける織維工業の分布形態に就きて述べた。その結果を分散傾向から見れば、農村牽引型工業と非牽引型工業に分類することが出来る。綿織、絹織物、生糸は前者に属し、人絹及び毛織物・染色・足袋等は後者に属して居る。  
農村工業としての分布性を著しく示して居る綿織物は分布構成上、労働力因子によりて吸引されて居る。これは綿布生産の諸都市に隸屬して農業餘剩労働力が副業的家内工業的經營に利用され、都市工業の助成的存在たる下請工業を形成せしめて居るものと観ることが出来る。

生糸及び絹織物の生産は専ら農家の副業たる養蠶と密接な分布的關係を持つことは云ふ迄もない。従つてこれ等は分布構成上、原料因子と労働力因子に基き、原料生産に附帶して農業餘剩労働力が利用される副業或は兼業經營に據る家内工業的存在である。

綿布工業が工業都市接續地帯に分散されるに反し、斯業が農耕地帯に分布せる點に注意せねばならない。

綿布工業が生産都市を中心とし、農村工業形態を探りて分散して居るに反し、同様な條件にて分散さるべき人絹及び毛織工業の分布に稀少性を認むることは、後者が技術的・經營的に兼業乃至は家内工業としての下請的經營に適切ではないと云ふ點に歸せしむることが出来るであらう。

又染色業の如きは機業地—紡織工業の關聯地帯に分散さるべきであり、經營上、農村工業に適しない。足袋に就きては局地的に且つ傳承的に生産都市の支配下に於いて農村工業を成立せしめて居るに過ぎない。これは足袋の生産の大部分が大規模な既製品生産に移され、殘餘の小規模經營が消費都市に分散されて居るためである。

最後に掲げたF表及びG表は分布地圖の基礎をなす統計であつて、G表は五萬圓以上の産額を六クラスに分ち郡單位を探る分布状態の觀察であり、F表に於いては地域別に於いて、當該分類に屬する郡の數をクラス別に示した。従つて兩表は分布圖と關聯して参照されんことを望む。

織維工業 F表

地 域	100-200萬	200-500萬	500-1,000萬	1,000-2,000萬	2,000-5,000萬	5,000萬以上
北 陸	二	七	七	五	二	二
關 東	二	九	五	五	二	一
東 北	一	一	一	一	一	一
地 中	一	一	一	一	一	一
北 海	一	一	一	一	一	一

⑨	③	⑫	⑤	④	⑦	①	⑮	⑪	⑨	⑫	⑧	⑤	⑨	⑬	⑩	⑥	③	⑮	⑧	⑥	②	①	⑧	⑪	⑫	⑩	
磯	添	節	多	武	中	泉	豐	中	何	船	高	坂	神	名	度	一	河	員	寶	知	中	東	濱	庵	駿	惠	本
城	上	磨	可	庫	内	南	能	郡	鹿	井	島	田	崎	賀	會	志	藝	辨	飯	多	島	名	原	東	那	巢	
三,五七,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	三,六六,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	六,一七,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	五,五五,〇〇〇	五,五五,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	九,九〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	
⑧	④	③	⑨	③	⑤	⑥	⑮	⑮	⑮	⑮	⑨	⑥	⑮	⑧	⑮	⑦	④	⑮	⑮	⑨	⑦	⑤	②	③	⑦	⑮	
高	生	加	加	北	南	泉	竹	與	天	東	愛	南	阿	飯	安	三	渥	碧	海	葉	引	磐	富	可	兒		
市	駒	古	東	内	北	野	謝	田	井	東	愛	南	阿	飯	安	三	渥	碧	海	葉	引	磐	富	可	兒		
一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇		

②	⑤	⑦	③	⑮	⑥	⑨	④	⑮	④	①	⑮	①	⑮	⑦
南	大	比	北	山	佐	甘	群	足	上	結	大	伊	西	志
崎	大	比	北	山	佐	甘	群	足	上	結	大	伊	西	志
王	里	企	立	田	波	樂	馬	利	賀	城	沼	達	置	田
〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇
④	⑧	⑨	⑦	⑤	⑮	②	⑧	⑨	⑧	⑨	⑧	⑨	⑧	⑨
北	秩	入	新	確	多	安	安	東	東	東	東	東	東	東
崎	秩	入	新	確	多	安	安	東	東	東	東	東	東	東
王	父	間	田	水	野	蘇	蘇	置	置	置	置	置	置	置
一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇	一,一〇,〇〇〇

G表 繊維工業に於て年産額五萬圓以上を示す郡  
 (数字は圓單位であり○の中の数字は分布圖に表されたる数字を指す)

⑤	④	⑮	⑧	⑮	④	①	⑦	④	⑦	⑮	⑧	④	⑥	⑧	③	⑤	④	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮	
稻	地	南	上	小	南	北	北	西	教	丹	坂	足	羽	石	江	西	婦	西	中	北	三	中	橋	高	北	西	東
葉	科	安	伊	那	佐	都	巨	八	賀	生	井	羽	昨	川	沼	波	負	浦	魚	魚	浦	浦	橋	多	多	葛	飾
三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇
③	③	⑥	⑮	⑮	⑨	⑧	②	⑤	⑥	⑨	③	⑤	⑦	④	②	⑥	⑮	⑦	⑥	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
羽	上	北	下	諏	北	南	南	遠	南	今	吉	鹿	河	能	東	北	刘	南	古	南	津	津	津	津	津	津	津
鳥	高	安	伊	那	佐	都	巨	八	賀	生	井	羽	昨	川	沼	波	負	浦	魚	魚	浦	浦	橋	多	多	葛	飾
三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇	三,三三,〇〇〇

大分	①	館	150,000
鹿兒島	②	大分	34,500
川邊	③	遼	26,500
	④	北海道	1,100,000
	⑤	薩摩	50,000

### 第三節 金屬工業

#### 一、概 説

近代工業の發展に基礎的な役割を演じた金屬工業は、大別して金屬材料(精練)及び金屬製品の生産に分類される。金屬精練は經營上、技術的・經濟的に農村工業のカテゴリーとは異つた大規模經營に依る生産組織を必要とする。又これの生産設備の地理的條件としては、原礦精練材料の存在、交通の便益等を前提とする。

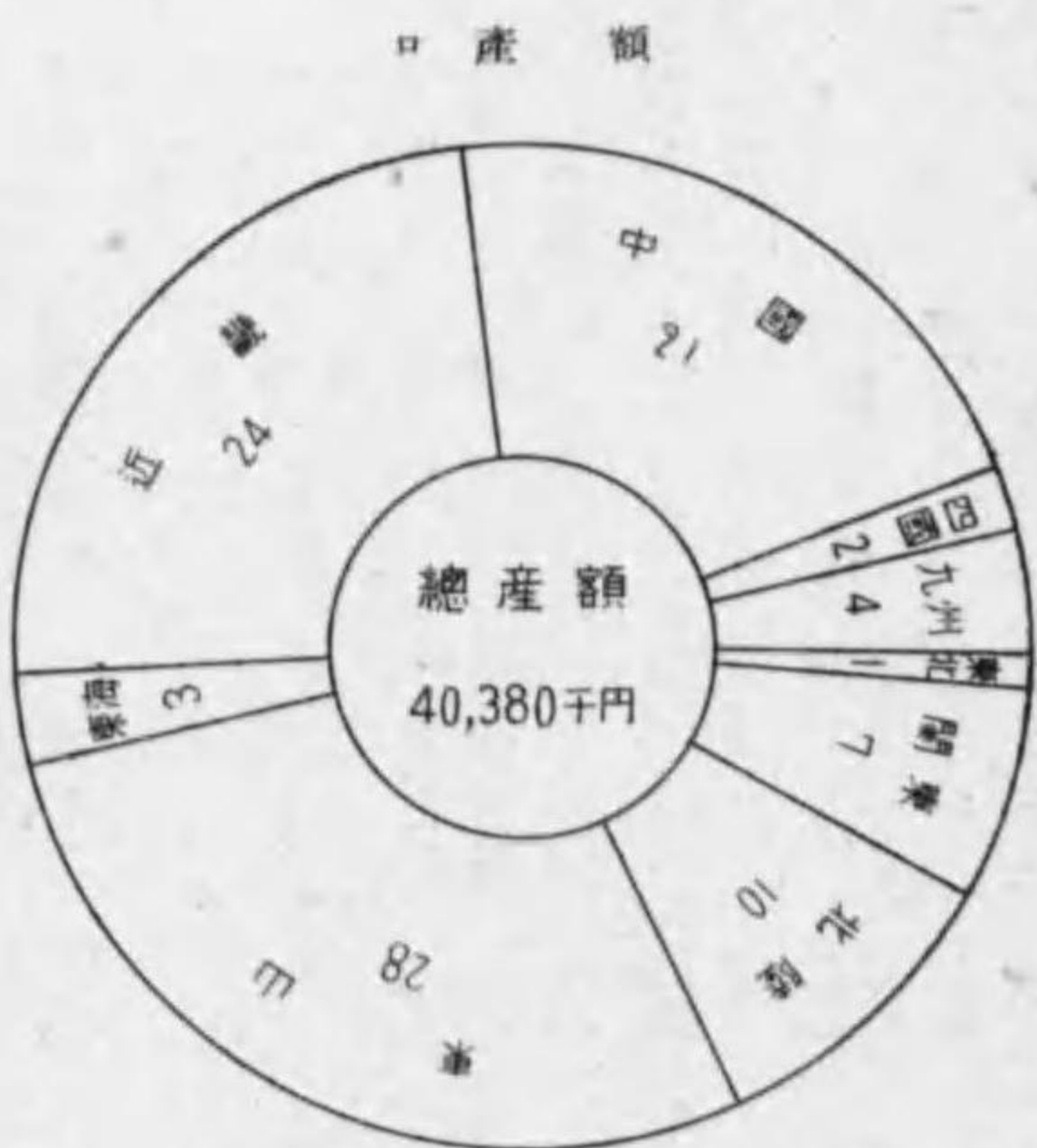
金屬製品の生産分布は専門的經營に依りて工業都市に牽引される。斯くの如く金屬工業は技術並びに經濟上より専門的經營に依る都市工業への分布的特質を示す結果、農村工業に於ける分布密度は經營數に於いて一分三厘(第八位)、産額に於いて約四分三厘(第五位)を示すに過ぎない。

地域別分布を示せば左の如し。

經營數		産 額	
一位	近畿	一位	關東
二位	東山	二位	關東
三位	北陸	三位	關東

經營數		産 額	
位 次	地 域	位 次	地 域
四位	東關	四位	東關
五位	東海	五位	東關
六位	九州	六位	東關
七位	關東	七位	東關
八位	關東	八位	東關
九位	東關	九位	東關

金屬工業 A 表



#### 二、府縣別分布

調査地域中百萬圓以上の産額を示すものに八府縣がある。最高産額を示す大阪府が僅かに八一二萬圓に過ぎない。次に五百萬圓を限界としてこれ等府縣の産額を挙げれば次の如くである。

- 1、五〇〇萬圓以上の府縣
    - (1) 大阪
    - (2) 長野
    - (3) 広島
  - 2、五〇〇萬圓以下の諸縣
    - (4) 新潟
    - (5) 岐阜
    - (6) 福岡
    - (7) 兵庫
    - (8) 埼玉
- 大阪・広島・岐阜・福岡・兵庫・埼玉に於いて分布率に著しき傾

向が認められることは、新興或は既存の工業都市に對し農村工業の牽引乃至は從屬的分布である。長野縣及び新潟縣に於ける分布は新しき農村工業化運動に於ける表現の一證左であると云ひ得る。

府縣名	年産額 (千円)	一地域を1000とし此に對する各府縣の割合
東 京	11,101	11
北 海 道	7,777	11
青 島	3,111	11
岩 手 縣	2,444	11
宮 城 縣	1,077	11
秋 田 縣	777	11
山 形 縣	444	11

福島	1,000,000	1,000
茨城	1,000,000	1,000
栃木	1,000,000	1,000
群馬	1,000,000	1,000
埼玉	1,000,000	1,000
千葉	1,000,000	1,000
東京	1,000,000	1,000
神奈川	1,000,000	1,000
北陸	1,000,000	1,000
新潟	1,000,000	1,000
富山	1,000,000	1,000
石川	1,000,000	1,000
福井	1,000,000	1,000
山梨	1,000,000	1,000
長野	1,000,000	1,000
岐阜	1,000,000	1,000
愛知	1,000,000	1,000
三重	1,000,000	1,000
滋賀	1,000,000	1,000
京都	1,000,000	1,000
大阪	1,000,000	1,000
兵庫	1,000,000	1,000
奈良	1,000,000	1,000

五〇〇萬圓以上の産額を示す大阪・長野・廣島の府縣が必ずしも同一製品の生産を行ふものではない。試みに産額構成の製品割合を見出すならば次の如くである。

中和	1,000,000	1,000
中山	1,000,000	1,000
四国	1,000,000	1,000
徳島	1,000,000	1,000
香川	1,000,000	1,000
愛媛	1,000,000	1,000
高知	1,000,000	1,000
九州	1,000,000	1,000
福岡	1,000,000	1,000
佐賀	1,000,000	1,000
長門	1,000,000	1,000
熊本	1,000,000	1,000
大分	1,000,000	1,000
宮崎	1,000,000	1,000
鹿児島	1,000,000	1,000
鹿兒	1,000,000	1,000
合計	10,000,000	10,000

一、大阪  
 鐵工・鐵製品・鑄物・其他金屬製品(九分)  
 アルミニウム製品(一分)  
 其他金屬精練及材料品(七割九分)

二、長野  
 アルミニウム製品(九割九分)  
 鐵工・鐵製品・鑄物(一分)

三、廣島  
 其他金屬製品(七分)  
 鐵製品・鑄物・其他金屬精練及材料品(五分)

以上に於いて産額構成品種の主なるものは鐵工・アルミニウム製品・其他金屬精練である。又全般的に見た種別割合に於いても同様な結果を見出すことが出来る。

種別	産額	總額を100とし 其に對する割合
鐵工	11,825,000	26.8
鐵製品	4,040,000	9.3
鑄物	1,313,000	3.0
アルミニウム製品	8,951,000	20.3
其他金屬精練及材料品	7,623,000	17.4
其他金屬製品	4,241,000	9.7
合計	40,000,000	100.0

三、結語

戦時經濟下に於ける軍需品生産は金屬工業・機械工業・化學工業部門に於ける著しき生産増加を示してゐる。斯かる需要に應ずるためには國內工業の全機能を擧げてこれに當らなければならぬことは勿論であるが、農村殊に農村工業が時局工業の擔當者としての登

場が求められる。

金屬工業D表

地域	10,000萬	5,000萬	100-100萬	100-100萬	100-100萬	100-100萬	500萬以上
東	1	1	1	1	1	1	1
關	1	1	1	1	1	1	1
北	1	1	1	1	1	1	1
東	1	1	1	1	1	1	1
東	1	1	1	1	1	1	1
近	1	1	1	1	1	1	1
中	1	1	1	1	1	1	1
四	1	1	1	1	1	1	1
九	1	1	1	1	1	1	1

金屬工業E表

府縣名	鐵工	鐵製品	鑄物	アルミニウム製品	其他金屬精練及材料品	其他金屬製品
1 青森	3,000,000	3,500,000	4,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
2 岩手	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
3 宮城	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
4 秋田	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
5 山形	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
6 福島	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
7 茨城	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
8 栃木	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
9 群馬	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
10 埼玉	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

33 廣島	32 岡山	31 鳥根	30 鳥取	29 和歌山	28 奈良	27 兵庫	26 大阪	25 京都	24 滋賀	23 三重	22 愛知	21 静岡	20 岐阜	19 長野	18 山梨	17 福島	16 石川	15 富山	14 新潟	13 神奈川	12 東京	11 千葉
野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨
100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000

34 山口	35 徳島	36 香川	37 愛媛	38 高知	39 福岡	40 佐賀	41 長崎	42 熊本	43 大分	44 宮崎	45 鹿児島	総計
山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	総計
100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000

F表 金属工業に於て年産額五萬圓以上を示す郡 (数字は圓單位であり○の中の数字は分布圖に表されたる数字を指す)

業に局限せられて居る。換言すればこれ等工業の發達が工業都市を育成せしめて文化的に異なる都市と農村とを遊離せしめたと云ふことが出来る。

斯かる時流に抗して文化的・經濟的に對立せる都市と農村の接觸融合、都市労働者の衛生・保健・農民離村・集中生産に對する部分生産等・都市・人口問題・合理的生産・統制經濟等の角度から科學的農村工業の樹立運動が提唱されるに至つた點は既述せる所である。

一位 中 國	二位 近 東	三位 東 山	四位 東 海	五位 東 北	六位 東 州	七位 東 陸	八位 東 北	九位 東 東
經營數	經營數	經營數	經營數	經營數	經營數	經營數	經營數	經營數
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

調査に依る産額は經營數六八七に對して三四九萬圓である。農村工業構成順位を求むれば經營數(總數の○・二%)第九位、産額(三%)第七位に當る。更に我が國工場總産額(昭和十一年工場統計機械器具年産額)十七億に比較すれば農村機械器具工業が「曉の星」の如き存在であることが認められる。

### 第四節 機械器具工業

#### 一、概 說

工業發展の樞軸部門たる金属・機械化學工業の分布は専ら都市工

山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	大 阪	兵 庫	和 歌	鳥 根	岡 山	廣 島	香 川	愛 媛	高 知	福 島	佐 賀
野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨
100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000



東青岩宮秋山福關茨桐群埼東千神北新富石福山東長岐東靜  
府縣名

機械工業 B 表

府縣名	年産額	一地城を1000とし此に對する各府縣の割合
東青	1,146,100	0.0001
岩宮	1,146,100	0.0001
秋山	1,146,100	0.0001
山福	1,146,100	0.0001
關東	1,146,100	0.0001
茨城	1,146,100	0.0001
桐生	1,146,100	0.0001
群馬	1,146,100	0.0001
埼東	1,146,100	0.0001
東千	1,146,100	0.0001
神北	1,146,100	0.0001
北新	1,146,100	0.0001
富山	1,146,100	0.0001
石川	1,146,100	0.0001
福井	1,146,100	0.0001
山東	1,146,100	0.0001
長崎	1,146,100	0.0001
岐ノ	1,146,100	0.0001
東靜	1,146,100	0.0001
計	1,146,100	1.0000

近畿京大兵奈和中山島島岡廣山四徳香愛高九福佐長熊大宮鹿  
合

機械工業 A 表

府縣名	年産額	一地城を1000とし此に對する各府縣の割合
近畿	3,240,000	0.0004
京大	3,240,000	0.0004
兵奈	3,240,000	0.0004
和山	3,240,000	0.0004
中山	3,240,000	0.0004
島島	3,240,000	0.0004
岡廣	3,240,000	0.0004
山四	3,240,000	0.0004
徳香	3,240,000	0.0004
愛高	3,240,000	0.0004
九福	3,240,000	0.0004
福井	3,240,000	0.0004
佐長	3,240,000	0.0004
熊大	3,240,000	0.0004
宮鹿	3,240,000	0.0004
計	3,240,000	0.0004

IV 機械器具工業 (1) 經營數

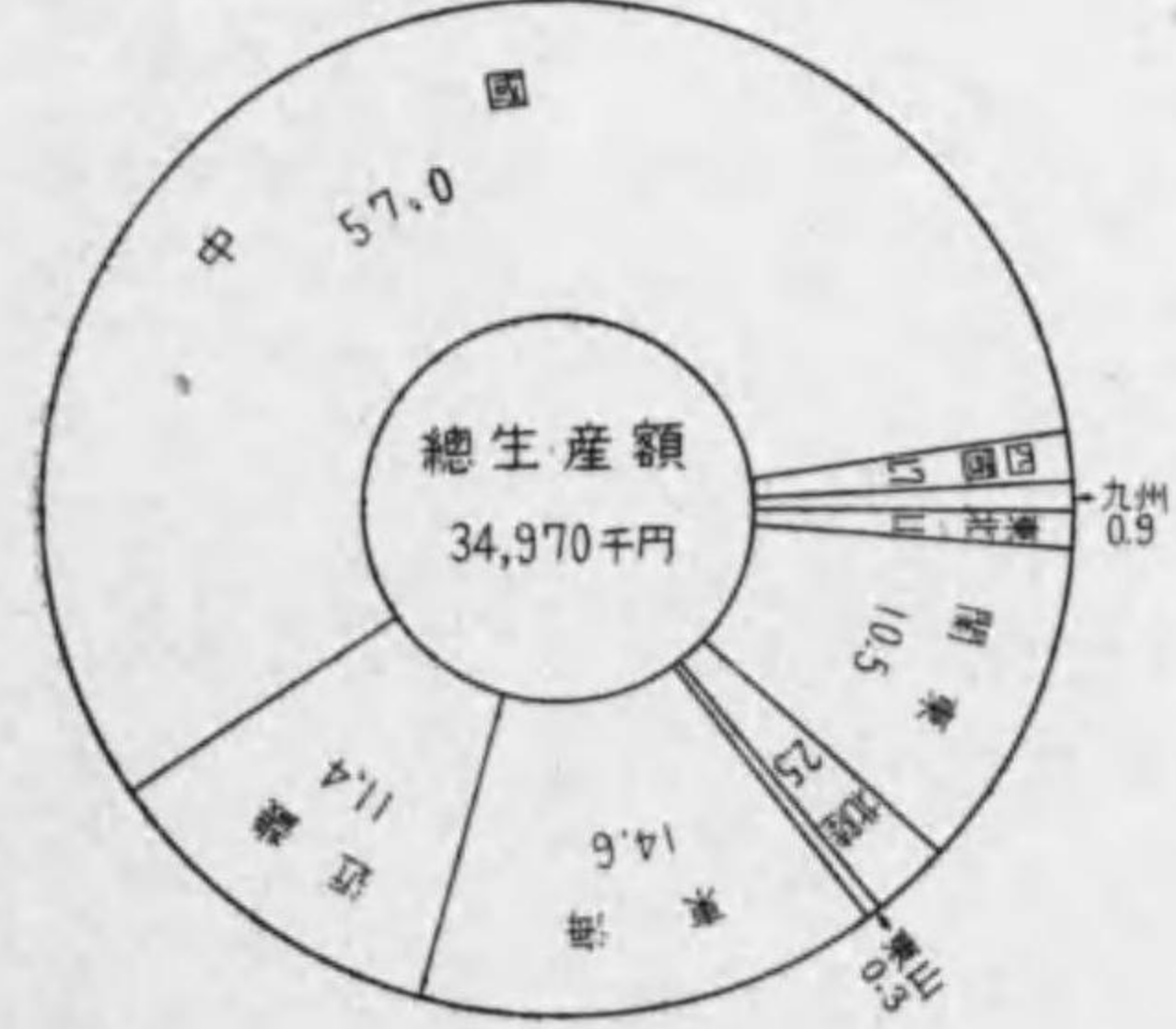


東關東北東近中四九

機械器具工業 A 表

地域	經營數	産額	經營規模
東關	21	3,170	1,150
東北	3	1,200	4,800
東近	6	3,100	2,500
東中	13	3,100	2,500
東四	12	3,100	2,500
東九	9	3,100	2,500
計	687	34,970	2,500

(ロ) 産額



調査地域中五十萬圓以上を示す府縣が七つある。最高産額は岡山縣の一九九二萬圓である。以下に百萬圓を限界とするもの及び各府縣の産額を掲げる。

1、一〇〇萬圓以上の府縣  
 (1) 岡山 (2) 静岡 (3) 兵庫  
 (4) 東京 (5) 栃木  
 2、一〇〇萬圓以下の府縣  
 (6) 石川 (7) 大阪

二、府縣別分布

三、結 語

農村機械工業の成立は機械工業が技術的に組立製品（工程の連結に依り高次の最終工程に於いて完成される工程製品に對して部分品が組立完成される性質を指す）に屬し、部分的に専門的機械に依り簡易なる技術の習得に依つて生産が可能である點である。農村餘

剩労働力の収益化を目標として提唱される。這種の工業は勿論、工業労働が農業労働と有機的關聯を保ち得る點に於いて、都市工業の地方分散化とは異なるものである。

しかし乍ら斯かる企圖は未だ試験的段階を示すに過ぎず、農村自體が技術的訓練及び資本的設備に能動的な能力を缺き、良き誘導底護を俟ちて今後の發展に期待せねばならぬ現狀にある。

機械器具工業 C 表

地域	5-10萬	10-50萬	50-100萬	100-500萬	500萬以上	計
東 北	—	—	—	—	—	—
關 東	—	—	—	—	—	—
北 陸	—	—	—	—	—	—
東 山	—	—	—	—	—	—
東 海	—	—	—	—	—	—
近 畿	—	—	—	—	—	—
中 國	—	—	—	—	—	—
四 國	—	—	—	—	—	—
九 州	—	—	—	—	—	—
府 縣	—	—	—	—	—	—
1 青 島	—	—	—	—	—	—
2 岩 手	—	—	—	—	—	—
3 宮 城	—	—	—	—	—	—
4 秋 田	—	—	—	—	—	—
5 山 形	—	—	—	—	—	—

機械器具工業 D 表

種 別	原 動 機	農 具 及 機 械	一 般 機 械 器 具	部 分 品	ボ ン	計	車 輛	船 舶	雜 貨	總額を1000とし 其に對する割合
合 計	37,400	8,122	2,107,526	1,228,000	1,228,000	1,228,000	1,228,000	1,228,000	1,228,000	10
原 動 機	37,400	—	—	—	—	—	—	—	—	37
農 具 及 機 械	—	8,122	—	—	—	—	—	—	—	21
一 般 機 械 器 具	—	—	2,107,526	—	—	—	—	—	—	17
部 分 品	—	—	—	1,228,000	—	—	—	—	—	10
ボ ン	—	—	—	—	1,228,000	—	—	—	—	10
計	37,400	8,122	2,107,526	1,228,000	1,228,000	1,228,000	1,228,000	1,228,000	1,228,000	100

機械器具工業 E 表

府 縣 名	原 動 機	農 具 及 機 械	一 般 機 械 器 具	部 分 品	ボ ン	計	車 輛	船 舶	雜 貨
6 福 島	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7 茨 城	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8 栃 木	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9 馬 場	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10 群 馬	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11 千 葉	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12 東 京	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13 神 奈 川	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14 新 潟	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15 富 山	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16 石 川	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17 福 井	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18 山 梨	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19 長 野	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20 岐 阜	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21 靜 岡	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 愛 知	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23 三 重	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24 滋 賀	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25 京 都	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 大 阪	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27 兵 庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—

種計	45鹿島	44宮崎	43大分	42熊本	41長崎	40佐賀	39福岡	38高知	37愛媛	36香川	35徳島	34山形	33廣島	32岡山	31鳥取	30島根	29和歌山	28奈良
産額	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
経営数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
産額	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
経営数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

F 表 機械器具工業に於ける年産額五萬圓以上を示す郡 (数字は圓單位であり○の中の数字は分布圖に表されたる数字を指す)

府縣名	郡名及年産額	産額	経営数
山形	西田川	10,000	10
福島	石城	10,000	10
栃木	上都賀	10,000	10
東京	北多摩	10,000	10

石川	静岡	三重	大坂	兵庫	和歌山	岡山	廣島	徳島	香川	愛媛	熊本	宮崎
⑧	⑩	⑬	⑥	④	⑬	④	④	④	④	②	⑨	⑭
江沼	小笠	北会	泉北	中河	加神	海草	氣草	兒和	豊田	海部	綾歌	喜多
七九,一五六	一三,二〇〇	四三,〇〇〇	六九,〇〇〇	一六,三三六	二,〇〇〇,〇〇〇	六,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一八,六六六,六六六	二〇,〇〇〇,〇〇〇	七五,五五五	一三,〇〇〇,〇〇〇
濱名	濱名	市河内	市河内	北河内	飾磨	西牟婁	邑久	双三	双三	双三	双三	双三
四,三三〇,〇〇〇	四,三三〇,〇〇〇	五,三三〇,〇〇〇	五,三三〇,〇〇〇	五,三三〇,〇〇〇	二七五,〇〇〇	三三〇,〇〇〇	三三〇,〇〇〇	六〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇

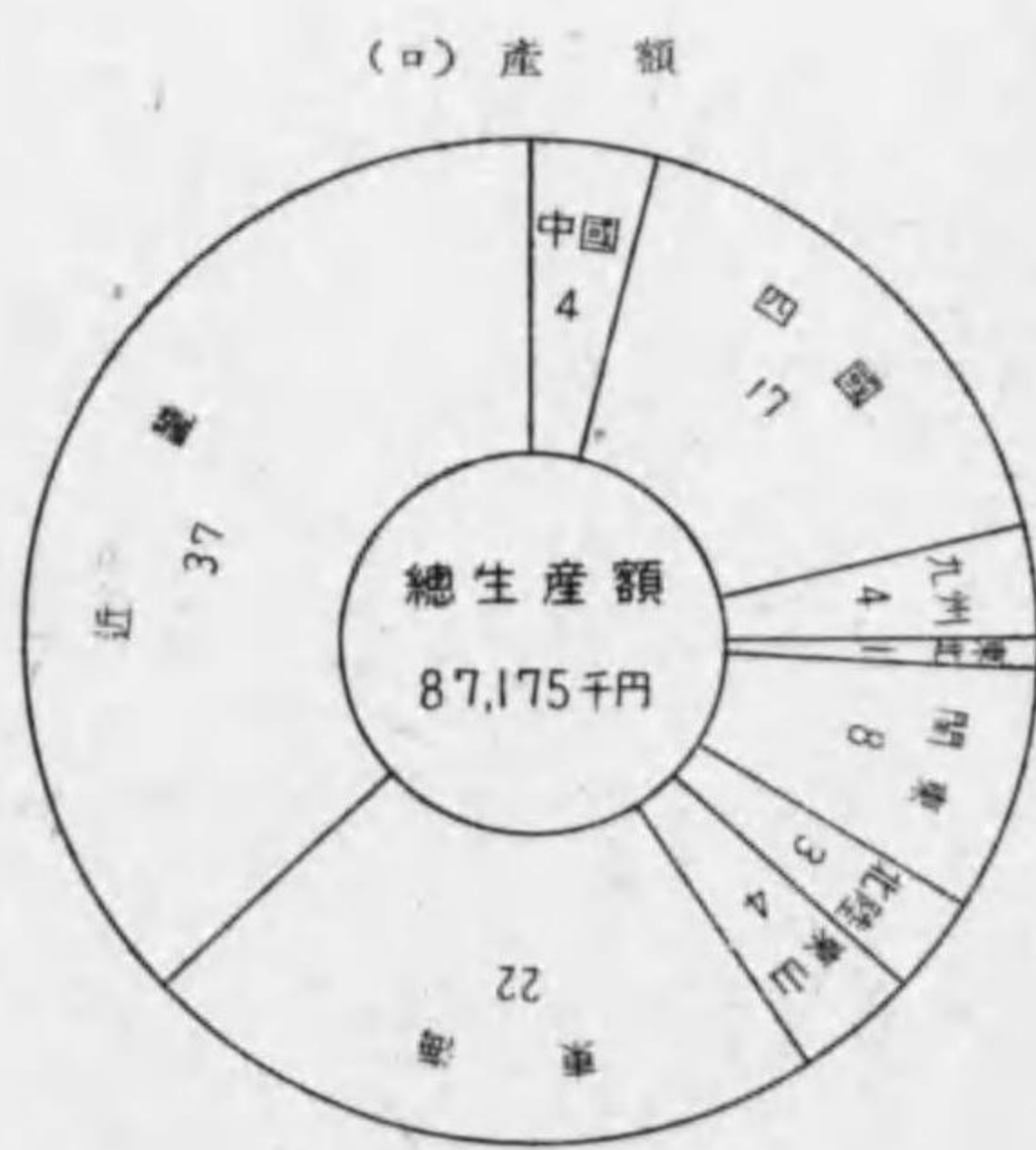
第五節 化學工業

一、概 説

工業生産を假りに原始的生産と科學的生産とに分類するならば農村工業は比較的原始的生産方法を探るものが多い。従つて農村工業の分野には文化的發展に伴ひ生成進展したと云はれる金屬工業、機械工業、化學工業、部門の分布が著しき低率を示して居る。農村工業調査の結果に依る化學工業の地位は、經營數に於いて第六位(三・八七%)、産額に於いて第三位(九・三三%)である。

産額分布に於いて總體の三分の一強を占むる近畿地域の産額は主に以下の如きものから構成されて居る。

地域	經營數	産額	經營規模
東 北	一七	一,〇〇〇,〇〇〇	一八二萬圓
東 海	一六	一,〇〇〇,〇〇〇	七二萬圓
東 山	一五	一,〇〇〇,〇〇〇	二五萬圓
東 陸	一四	一,〇〇〇,〇〇〇	二六四萬圓
東 北	一三	一,〇〇〇,〇〇〇	一八二萬圓
東 海	一二	一,〇〇〇,〇〇〇	七二萬圓
東 山	一一	一,〇〇〇,〇〇〇	二五萬圓
東 陸	一〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二六四萬圓
東 北	九	一,〇〇〇,〇〇〇	一八二萬圓
東 海	八	一,〇〇〇,〇〇〇	七二萬圓
東 山	七	一,〇〇〇,〇〇〇	二五萬圓
東 陸	六	一,〇〇〇,〇〇〇	二六四萬圓
東 北	五	一,〇〇〇,〇〇〇	一八二萬圓
東 海	四	一,〇〇〇,〇〇〇	七二萬圓
東 山	三	一,〇〇〇,〇〇〇	二五萬圓
東 陸	二	一,〇〇〇,〇〇〇	二六四萬圓
東 北	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一八二萬圓



二、府県別分布

調査地域中一〇〇萬圓以上の産額を示すものに十四府県がある。二、二二二萬圓の大府府が最高産額を示して居る。百萬圓以上の産額を四グループに分ちて該府縣名を示すならば左の如くである。

- 1、二十萬圓以上
- 2、一千五百萬圓以上
- 3、五百萬圓以上一千萬圓以下
- 4、百萬圓以上五百萬圓以下

(1) 大阪	(2) 静岡	(3) 兵庫	(4) 高知
(5) 徳島	(6) 愛媛	(7) 香川	(8) 岐阜
(9) 岡山	(10) 石川		

化学工業B表

府縣名	年産額	一地域を1000とし此に對する各府縣の割合
大阪	1,821,820	1,000
中国	1,821,820	1,000
兵庫	1,821,820	1,000
徳島	1,821,820	1,000
香川	1,821,820	1,000
岡山	1,821,820	1,000
石川	1,821,820	1,000
福山	1,821,820	1,000
秋田	1,821,820	1,000
宮城	1,821,820	1,000
岩手	1,821,820	1,000
青森	1,821,820	1,000
東	1,821,820	1,000
北	1,821,820	1,000
山根	1,821,820	1,000
取	1,821,820	1,000
合	1,821,820	1,000
計	1,821,820	1,000

府縣名	年産額	一地域を1000とし此に對する各府縣の割合
大阪	1,821,820	1,000
中国	1,821,820	1,000
兵庫	1,821,820	1,000
徳島	1,821,820	1,000
香川	1,821,820	1,000
岡山	1,821,820	1,000
石川	1,821,820	1,000
福山	1,821,820	1,000
秋田	1,821,820	1,000
宮城	1,821,820	1,000
岩手	1,821,820	1,000
青森	1,821,820	1,000
東	1,821,820	1,000
北	1,821,820	1,000
山根	1,821,820	1,000
取	1,821,820	1,000
合	1,821,820	1,000
計	1,821,820	1,000

三、結語

我國の化学工業産額(昭和十一年工場統計に據る)二、一一〇、九一五千圓の約四分一厘にしか當らぬ農村工業産額八七、一七五千圓しか見出せない事實は斯業が都市牽引性工業である爲である。其理由として近代的装置に俟つ装置産業が擧げられる。従つて工場制工業によらねばならないから農村工業の成立は原材料的製品のみに限定される。

府縣名	製 藥	工業藥品及原料	製 鹽	石 灰	煉 灰	魚油及魚肥	製油(植物性油脂)	肥 料	紙	ゴム及製品	其 他
9 群馬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8 栃 木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7 茨 城	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6 福 山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5 山 形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 秋 田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3 宮 城	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 岩 手	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1 青 森	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13 神奈川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12 東 京	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11 千 葉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10 埼 玉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14 新 潟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15 富 山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16 石 川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17 福 井	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18 山 梨	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19 長 野	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20 岐 阜	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21 静 岡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 愛 知	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23 三 重	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24 滋 賀	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25 京 都	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 大 阪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27 兵 庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28 奈 良	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29 和 歌 山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30 鳥 取	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
31 島 根	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
32 岡 山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

この点から、組立製品との機械工業よりも分散化され得ないであらう。

化学工業 C 表

地域	1000万円以下	1000万円-10000万円	10000万円-100000万円	100000万円以上
東 北	—	—	—	—
關 東	—	—	—	—
北 陸	—	—	—	—
東 山	—	—	—	—
東 海	—	—	—	—
近 畿	—	—	—	—
中 國	—	—	—	—
四 國	—	—	—	—
九 州	—	—	—	—
合 計	—	—	—	—

化学工業 D 表

種 別	額	其に對する割合
製 藥	—	—
工業藥品及原料	—	—
製 鹽	—	—
石 灰	—	—
煉 灰	—	—
魚油及魚肥	—	—
製油(植物性油脂)	—	—
肥 料	—	—
紙	—	—
ゴム及製品	—	—
其 他	—	—
合 計	—	—

德島	廣島	岡山	鳥取	和歌山	奈良	兵庫	大坂	京都	滋賀	三重	愛知	岐阜	長野
③	⑤	①	③	①	⑬	②	③	④	⑤	①	⑧	⑭	⑦
麻那	加安	勝都	邑久	高草	赤神	印南	川邊	豐能	中河	三島	坂田	河知	濱原
110,000	140,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
②	④	④	⑤	⑧	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
板野	勝浦	豊田	佐伯	小島	有田	吉野	多紀	掛保	磨古	加古	北河	南河	勢田
110,000	140,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000

香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	鹿兒	大分	鹿児島
⑦	④	④	⑧	⑤	②	④	⑧	⑤	②
大川	綾歌	宇摩	香智	吾美	筑紫	八女	三基	西浦	北松
110,000	140,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
⑧	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
小豆	喜多	長岡	高岡	浮羽	山門	小島	南松	肝屬	始良
110,000	140,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000

第六節 窯業

一、概説  
農村工業としての窯業の地位は、我が國窯業産額（昭和十一年工場統計三二九、三一六千圓）の八分の一強に當る生産を擔當して居り、農村工業中經營數に於いて第七位（總數の一・八八%）及び産額に於いて第六位（四・二五%）を占めて居る。

經營數 一 位 東 海 東 海 北 陸

岩手	宮城	福島	茨城	栃木
④	⑩	⑩	⑩	⑩
下閉伊	牡鹿	石城	東茨城	河内
110,000	140,000	300,000	300,000	300,000
①	①	①	①	①
九戸	本吉	久慈	下都賀	下都賀
110,000	140,000	300,000	300,000	300,000

群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨
⑦	④	④	④	④	④	④	④	④	④
那須	北群	北足	海上	北多	橋原	中蒲	東礪	南鹿	西八
110,000	140,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
安蘇	北埼玉	北埼玉	北埼玉	北埼玉	北埼玉	北埼玉	北埼玉	北埼玉	北埼玉
110,000	140,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000

F表 化學工業に於る年産額五萬圓以上を示す郡  
（數字は圓單位であり○の中の數字は分布圖に表されたる數字を指す）

産額分布に於いて最高位(総額の四分の一強)を占むる東海地域の産額は、主に以下の如きものから構成されて居る。

二位 近畿  
三位 中国  
四位 東山  
五位 四國  
六位 九州  
七位 關東  
八位 北陸  
九位 東北

東四關近東北中九  
北國東畿山陸國州  
四近東關東東中九  
國畿北東海山國州

窯業 A 表  
陶磁器 七六七萬圓  
煉瓦及屋根瓦 五七萬圓  
セメント及製品 二四五萬圓

地域	経営数	産額(千円)	経営規模(千円)
東 北	132	1,311	10,000
關 東	129	1,131	8,723
北 陸	100	1,000	7,723
東 海	90	900	6,723
東 北	80	800	6,723
東 山	70	700	6,723
陸 奥	60	600	6,723
中 國	50	500	6,723
近 畿	40	400	6,723
四 國	30	300	6,723
東 北	20	200	6,723
東 山	10	100	6,723
陸 奥	...	...	...

## 二、府縣別分布

農村工業調査に依り五十萬圓以上の産額を示す府縣は十一を數へ  
愛知・岐阜・三重の地域に集約分布が見出される。

1、五百萬圓以上の産出縣  
(1) 愛知 (2) 岡 山  
2、五百萬以下一百萬圓以上の産出縣  
(3) 岐阜 (4) 三 重  
(6) 福 岡 (7) 大 分  
3、一百萬以下五十萬圓以上の産出府縣  
(8) 島 根 (9) 大 阪 (10) 栃 木  
(11) 和 歌 山



府 名	年 産 額
東 北	1,110,000,000
青 森	110,000,000
岩 手	100,000,000
宮 城	200,000,000
秋 田	150,000,000
山 形	120,000,000
福 島	130,000,000
關 東	1,100,000,000
茨 城	100,000,000
栃 木	110,000,000

對一地域を1000とし此に對する各府縣の割合

群 島	東 北	關 東	北 陸	東 海	東 山	陸 奥	中 國	近 畿	三 重	愛 知	靜 岡	東 岐	長 崎	山 梨	東 山	福 山	石 川	富 山	新 潟	北 陸	神 奈 川	東 京	千 葉	埼 群
馬 玉	11,420																							
京 川	3,220																							
陸 川	2,320																							
湯 山	1,000																							
新潟	1,000																							
富 山	1,000																							
石 川	1,000																							
福 山	1,000																							
東 山	1,000																							
山 梨	1,000																							
長 崎	1,000																							
東 岐	1,000																							
靜 岡	1,000																							
愛 知	1,000																							
三 重	1,000																							
近 畿	1,000																							
畿 賀	1,000																							
都 賀	1,000																							
阪 都	1,000																							
庫 都	1,000																							
兵 庫	1,000																							
奈 良	1,000																							
和 歌	1,000																							
中 國	1,000																							
島 根	1,000																							
鳥 取	1,000																							

種別	産額	其の割合を1000としに對する割合
陶磁器	1,377,996	100
煉瓦及屋根瓦	1,016,767	73.8
セメント及製品	1,111,333	80.7
土管	1,000,000	72.7
其他	1,000,000	72.7
合計	5,312,993	385.1

三、結語

農村工業に於ける窯業は陶磁器によりて代表せられる。斯業の發生は古く、封建時代に於ては各藩の庇護の許に家内工業乃至は地方工業として維持せしめられてゐたが、明治維新以後に於ては其他の諸工業と同様に生産方法及組織の變革によりて製品の消費が國內品より輸出品に仕向けられるに至り、亦、品質に於ては愛玩的商品より生活必需的商品にまで展開せしめられるに至つた。斯かる事情は生産形態を手工業的經營より工場制工業へ推移せしめたことは云ふまでもない。

従つて農村工業に認められる分布は集積工場地域に隸屬せる小規模經營と、技術的に幼稚なる傳承的經營による存在であると考へられる。

窯業 D 表

地域	1000萬以下	1000萬-1000萬	1000萬-5000萬	5000萬以上
東北	—	—	—	—
關東	—	—	—	—
北陸	—	—	—	—
東海	—	—	—	—
近畿	—	—	—	—
中國	—	—	—	—
四國	—	—	—	—
九州	—	—	—	—

府縣名	陶磁器	煉瓦及屋根瓦	セメント及製品	土管	其他	總計
1 青森	—	—	—	—	—	—
2 岩手	—	—	—	—	—	—
3 宮城	—	—	—	—	—	—
4 秋田	—	—	—	—	—	—
5 山形	—	—	—	—	—	—
6 福島	—	—	—	—	—	—
7 茨城	—	—	—	—	—	—
8 栃木	—	—	—	—	—	—
9 群馬	—	—	—	—	—	—
10 埼玉	—	—	—	—	—	—
11 千葉	—	—	—	—	—	—
12 東京	—	—	—	—	—	—
13 神奈川	—	—	—	—	—	—
14 新潟	—	—	—	—	—	—
15 富山	—	—	—	—	—	—
16 石川	—	—	—	—	—	—
17 福井	—	—	—	—	—	—
18 山梨	—	—	—	—	—	—
19 長野	—	—	—	—	—	—
20 岐阜	—	—	—	—	—	—
21 静岡	—	—	—	—	—	—
22 愛知	—	—	—	—	—	—
23 三重	—	—	—	—	—	—
24 滋賀	—	—	—	—	—	—
25 京都	—	—	—	—	—	—
26 大阪	—	—	—	—	—	—
27 兵庫	—	—	—	—	—	—
28 奈良	—	—	—	—	—	—
29 和歌山	—	—	—	—	—	—
30 鳥取	—	—	—	—	—	—
31 島根	—	—	—	—	—	—
32 岡山	—	—	—	—	—	—
33 広島	—	—	—	—	—	—
34 山口	—	—	—	—	—	—
35 徳島	—	—	—	—	—	—
36 香川	—	—	—	—	—	—
37 愛媛	—	—	—	—	—	—
38 高知	—	—	—	—	—	—
39 福岡	—	—	—	—	—	—
40 佐賀	—	—	—	—	—	—
41 長門	—	—	—	—	—	—
42 熊本	—	—	—	—	—	—
43 大分	—	—	—	—	—	—
44 宮崎	—	—	—	—	—	—
45 鹿児島	—	—	—	—	—	—
總計	—	—	—	—	—	—



F表 窯業に於て年産額五萬圓以上を示す郡

(数字は圓單位であり○の中の数字は分布圖に表されたる数字を指す)

府縣名	郡名	年産額
山形	東田川	五、六、〇〇〇
福島	双葉	五、〇〇〇
栃馬	芳賀	四、〇〇〇
群馬	大里	三、二、〇〇〇
埼玉	西武	三、〇〇〇
石川	河内	二、五、〇〇〇
富山	北波	二、〇〇〇
岐阜	今立	一、五、〇〇〇
静岡	那原	一、三、五、〇〇〇
愛知	東春日井	一、〇〇、〇〇〇
三重	海部	六、五、〇〇〇
滋賀	名賀	三、七、〇〇〇
大坂	北賀	一、〇、〇〇〇
兵庫	津飾	六、五、〇〇〇
奈良	高島	三、〇〇〇
和歌山	日高	一、〇〇〇
鳥取	美高	二、五、〇〇〇

府縣名	郡名	年産額
岡山	根氣	五、〇〇〇
廣島	佐伯	六、八、〇〇〇
徳島	勝浦	五、〇、〇〇〇
香川	香川	九、五、〇〇〇
愛媛	美濃	一、〇、〇〇〇
高知	香美	一、〇、〇〇〇
福岡	精池	六、〇〇〇
佐賀	三基	一、〇〇〇
熊本	八津	二、三、〇〇〇
大分	南海部	一、〇〇〇

### 第七節 木工業

#### 一、概説

木材の需要は人口の増加と共に増加し、人間生活とは密接不可分の關係にあるものである。我國現在の木材需給關係より見るならば不足情況に置かれてゐる。

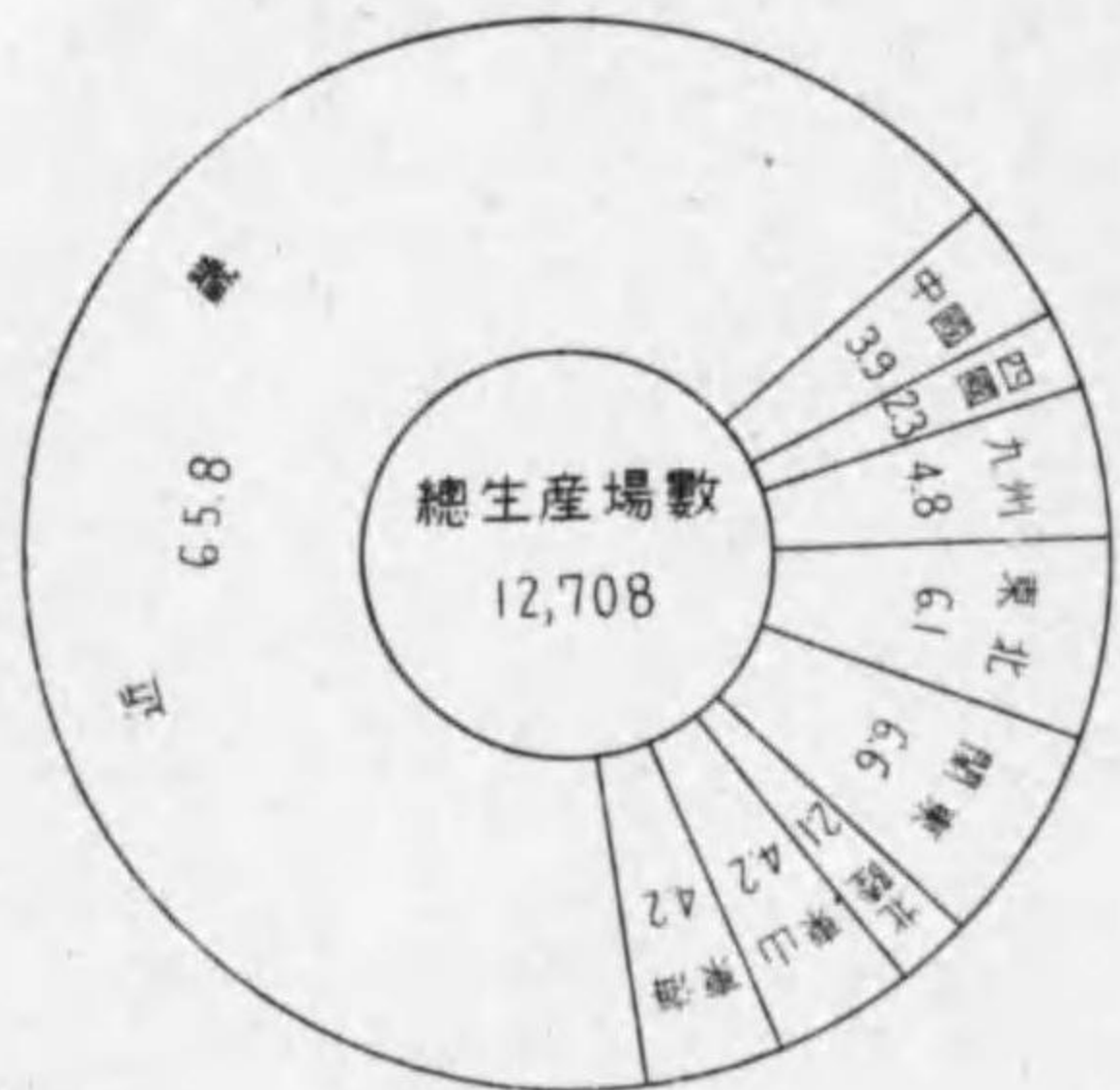
木材原料の分布は明かに農山村地帯に限られて居るものであつて、農村工業としての特質が認められねばならないが、消費地たる都市圏内に吸引せられ、中、小資本組織に依りて營まれる至り、農村工業の産額は製材及木製品工業産額(昭和十一年工場統計二八

二二七千圓)に比較するならば一六%の分布を留むるに過ぎない。

木工業 A表

位	府縣名	産額	經營規模
一位	關東	一、〇、〇〇〇	一、〇、〇〇〇
二位	關東	九、〇〇〇	九、〇〇〇
三位	關東	八、〇〇〇	八、〇〇〇
四位	關東	七、〇〇〇	七、〇〇〇
五位	關東	六、〇〇〇	六、〇〇〇
六位	關東	五、〇〇〇	五、〇〇〇
七位	關東	四、〇〇〇	四、〇〇〇
八位	關東	三、〇〇〇	三、〇〇〇
九位	關東	二、〇〇〇	二、〇〇〇

VI 木工 (イ) 生産場數



地域別産額

地域	經營數	産額	經營規模
關東	一、〇、〇〇〇	一、〇、〇〇〇	一、〇、〇〇〇
關東	九、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇
關東	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇
關東	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇
關東	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
關東	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇
關東	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
關東	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
關東	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇

(ロ) 産額



#### 二、府縣別分布

斯業に於ける一縣當り産額は比較的少なく、三百萬圓程度から百萬圓以上の産額は十六縣を數へるに過ぎないが、詳細は左の如くである。

府縣名	年産額		一地域を100としに 對する各府縣の割合
	木工業	B表	
東 北	1,000,000	1,000	(3) 三 重
青 森	1,000,000	1,000	(7) 千 葉
岩 手	1,000,000	1,000	(10) 高 知
宮 城	1,000,000	1,000	(13) 愛 媛
秋 田	1,000,000	1,000	(16) 石 川
山 形	1,000,000	1,000	(19) 島 根
福 島	1,000,000	1,000	(22) 鳥 取
關 東	1,000,000	1,000	(25) 奈 良
茨 城	1,000,000	1,000	(28) 福 岡
群 馬	1,000,000	1,000	(29) 廣 島
新 潟	1,000,000	1,000	(30) 青 森
北 海 道	1,000,000	1,000	(31) 廣 島
東 北	1,000,000	1,000	(32) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(33) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(34) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(35) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(36) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(37) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(38) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(39) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(40) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(41) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(42) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(43) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(44) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(45) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(46) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(47) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(48) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(49) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(50) 青 森

府縣名	年産額		一地域を100としに 對する各府縣の割合
	木工業	B表	
東 北	1,000,000	1,000	(3) 三 重
青 森	1,000,000	1,000	(7) 千 葉
岩 手	1,000,000	1,000	(10) 高 知
宮 城	1,000,000	1,000	(13) 愛 媛
秋 田	1,000,000	1,000	(16) 石 川
山 形	1,000,000	1,000	(19) 島 根
福 島	1,000,000	1,000	(22) 鳥 取
關 東	1,000,000	1,000	(25) 奈 良
茨 城	1,000,000	1,000	(28) 福 岡
群 馬	1,000,000	1,000	(29) 廣 島
新 潟	1,000,000	1,000	(30) 青 森
北 海 道	1,000,000	1,000	(31) 廣 島
東 北	1,000,000	1,000	(32) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(33) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(34) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(35) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(36) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(37) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(38) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(39) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(40) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(41) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(42) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(43) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(44) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(45) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(46) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(47) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(48) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(49) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(50) 青 森

木材品需要は従来よりの建築用消費のみならず化学的原材料—  
人絹材用—としてのパルプ工業に著しき用途が見出されるに至つ  
た。斯くの如き木工業の新傾向に對しては農政上の植林保護奨励と  
相俟つて資源所在地に斯業の發展が劃されることは妥當であるが故  
に、斯かる方向に於いて農村工業の成立進展が期待される。

府縣名	年産額		一地域を100としに 對する各府縣の割合
	木工業	B表	
東 北	1,000,000	1,000	(3) 三 重
青 森	1,000,000	1,000	(7) 千 葉
岩 手	1,000,000	1,000	(10) 高 知
宮 城	1,000,000	1,000	(13) 愛 媛
秋 田	1,000,000	1,000	(16) 石 川
山 形	1,000,000	1,000	(19) 島 根
福 島	1,000,000	1,000	(22) 鳥 取
關 東	1,000,000	1,000	(25) 奈 良
茨 城	1,000,000	1,000	(28) 福 岡
群 馬	1,000,000	1,000	(29) 廣 島
新 潟	1,000,000	1,000	(30) 青 森
北 海 道	1,000,000	1,000	(31) 廣 島
東 北	1,000,000	1,000	(32) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(33) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(34) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(35) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(36) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(37) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(38) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(39) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(40) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(41) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(42) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(43) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(44) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(45) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(46) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(47) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(48) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(49) 青 森
東 北	1,000,000	1,000	(50) 青 森

長野	山梨	福井	石川	富山	新潟	神奈川	東京	千葉	埼玉	群馬	栃木	茨城	福島	山形													
⑧	⑬	①	⑧	⑩	⑥	⑧	④	④	⑤	⑩	②	③	②	①	⑤	⑧	①	②	⑥	⑤	⑦	⑫	⑭	⑭	⑩	⑥	
小南	北南	坂南	石江	東東	中中	足鎌	西西	東東	北北	大秩	利利	安安	澁澁	河河	新新	久久	西西	大大	南南	西西	西西	山山	山山	山山	山山	山山	
縣縣	久久	摩摩	井井	川川	沼沼	波波	城城	原原	下下	倉倉	摩摩	多多	葛葛	飾飾	北北	大秩	利利	安安	澁澁	河河	新新	久久	西西	大大	南南	西西	西西
000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000
⑬	⑨	⑨	⑥	⑦	④	⑦	③	①	⑧	⑤	④	⑧	②	⑨	⑦	④	①	⑩	⑬	⑩	⑬	②	②	②	②	②	
上伊	北佐	南都	中五	丹生	羽咋	能美	西磯	岩船	三島	高座	北多	山武	南玉	入間	那須	上野	結城	多賀	那珂	西白	河沼	河沼	河沼	河沼	河沼	河沼	河沼
000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000
和歌	奈良																										
⑦	⑤	③	①	⑩	⑨	⑤	②	②	⑥	⑬	③	⑨	⑥	⑬	⑦	①	⑬	⑩	⑬	②	④	④	④	④	④	④	
東牟	日高	伊都	海草	吉野	磯城	津名	城崎	保古	加東	加北	泉北	甲賀	愛宕	中北	大岩	京賀	滋賀	三重	愛知	靜岡	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜
000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000
⑥	④	②	⑩	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
西牟	有田	那賀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀
000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000

34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13					
山廣	岡島	島島	和奈	兵大	京滋	三重	愛知	靜岡	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜					
歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌				
口島	山根	取	山良	庫阪	都賀	重知	同	阜	阜	阜	阜	阜	阜	阜	阜	阜	阜	阜	阜	阜	阜					
000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000					
秋宮	岩手	青森																								
⑨	⑦	④	⑦	②	①	⑬	③	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
雄北	仙本	山志	二志	九志	東磐	上北	南津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津
000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000
①	⑧																									
平由	氣下	仙伊	三戸	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津	北津
000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000	000,000

E表 木工業に於て年産額五萬圓以上を示す郡 (数字は圓單位であり○の中の番號は分布圖に表されたる番號を指す)

Ⅷ 製 炭  
經營數  
(イ) 生産場數



地域	生産場數	産額 (千円)	經營規模
関東	15	5,630	三六〇
東北	9	5,630	三六〇
北海道	8	5,630	三六〇
中部	8	5,630	三六〇
四国	7	5,630	三六〇
近畿	6	5,630	三六〇
中国	6	5,630	三六〇
山陽	6	5,630	三六〇
山陰	6	5,630	三六〇
北陸	6	5,630	三六〇
東海	6	5,630	三六〇
九州	6	5,630	三六〇
その他	01	5,630	三六〇

二、府縣別分布



府縣	總生産額 (千円)	經營規模
東北	10	三六〇
関東	9	三六〇
北海道	8	三六〇
中部	8	三六〇
四国	7	三六〇
近畿	6	三六〇
中国	6	三六〇
山陽	6	三六〇
山陰	6	三六〇
北陸	6	三六〇
東海	6	三六〇
九州	6	三六〇
その他	01	三六〇

農村工業に於いてのみ見出される製炭業の地位も、産額は極めて少く總額の二・八四%を示すに過ぎず、又、産出縣別に觀ても百萬以上の産出縣は、左の五縣を數へるのみである。

- 1、百萬圓以上の産出縣
  - (1) 岩手
  - (2) 長野
  - (3) 千葉
  - (4) 福島
  - (5) 群馬
- 2、百萬以下五十萬圓以上の産出縣

縣	生産場數	産額 (千円)	經營規模
鳥取	⑥	10,420	一〇、七二五
島根	⑦	11,000	一〇、七二五
岡山	⑧	11,000	一〇、七二五
広島	⑨	11,000	一〇、七二五
徳山	⑩	11,000	一〇、七二五
香取	⑪	11,000	一〇、七二五
高知	⑫	11,000	一〇、七二五
福岡	⑬	11,000	一〇、七二五
佐賀	⑭	11,000	一〇、七二五
長門	⑮	11,000	一〇、七二五
熊本	⑯	11,000	一〇、七二五
鹿儿岛	⑰	11,000	一〇、七二五
上益城	⑱	11,000	一〇、七二五
上鹿	⑲	11,000	一〇、七二五
上神	⑳	11,000	一〇、七二五
山精	㉑	11,000	一〇、七二五
山崎	㉒	11,000	一〇、七二五
山崎	㉓	11,000	一〇、七二五
山崎	㉔	11,000	一〇、七二五
山崎	㉕	11,000	一〇、七二五
山崎	㉖	11,000	一〇、七二五
山崎	㉗	11,000	一〇、七二五
山崎	㉘	11,000	一〇、七二五
山崎	㉙	11,000	一〇、七二五
山崎	㉚	11,000	一〇、七二五
山崎	㉛	11,000	一〇、七二五
山崎	㉜	11,000	一〇、七二五
山崎	㉝	11,000	一〇、七二五
山崎	㉞	11,000	一〇、七二五
山崎	㉟	11,000	一〇、七二五
山崎	㊱	11,000	一〇、七二五
山崎	㊲	11,000	一〇、七二五
山崎	㊳	11,000	一〇、七二五
山崎	㊴	11,000	一〇、七二五
山崎	㊵	11,000	一〇、七二五
山崎	㊶	11,000	一〇、七二五
山崎	㊷	11,000	一〇、七二五
山崎	㊸	11,000	一〇、七二五
山崎	㊹	11,000	一〇、七二五
山崎	㊺	11,000	一〇、七二五
山崎	㊻	11,000	一〇、七二五
山崎	㊼	11,000	一〇、七二五
山崎	㊽	11,000	一〇、七二五
山崎	㊾	11,000	一〇、七二五
山崎	㊿	11,000	一〇、七二五

第八節 製炭業

一、概 説

調査に於ける生産戸數の第二位を占め兼業乃至副業的經營の典型的農村工業であつて、農業經營とは不可分の關係に置かれるものである。即ち農業經營の季節的制約に依り専ら降雪期間に於ける農耕餘剩勞力が斯業に振向けられて營まれるものであることは云ふ迄もない。

經營數及び産額に就いて見れば、常に劣位に置かれる東北が首位を占めてゐる。この事は同地域の氣候及び木炭原料に當む山村が多いためであると考へられる。

府縣	生産戸數	産額 (千円)
天草	⑫	1,100
東海	⑬	1,100
南海	⑭	1,100
宮崎	⑮	1,100
川崎	⑯	1,100
薩摩	⑰	1,100
日田	⑱	1,100
日置	⑲	1,100
北海	⑳	1,100
北海道	㉑	1,100

製炭業C表

地域 五千円以上 一千万以上 一億以上 二億以上 五億以上

東	三	—	—	—	—	—	—
關	三	—	—	—	—	—	—
北	七	—	—	—	—	—	—
東	七	—	—	—	—	—	—
北	九	—	—	—	—	—	—
東	七	—	—	—	—	—	—
東	七	—	—	—	—	—	—
近	七	—	—	—	—	—	—
中	九	—	—	—	—	—	—
四	一〇	—	—	—	—	—	—
州	七	—	—	—	—	—	—

製炭業は傳承的な極めて幼稚なる生産方法に依りて山村農民の剩餘勞力に依る副業的形態その儘に經營されつつあるが、家庭用消費必需品として漸増的需要の傾向が認められるから、今後には於いては原料の増殖法と相俟つて生産的經營的改善が促されねばならないと考へられる。

三、結 語

福	河	三
佐	賀	三
長	本	一
熊	分	一〇
大	崎	一〇
宮	島	一
鹿	計	一
合	兒	一

D表 製炭業に於ける年産額五萬圓以上を示す郡

府縣名	郡名	年産額
青	東	五、八〇〇
	東	五、八〇〇
	上	五、八〇〇
岩	上	一〇〇、〇〇〇
	東	一〇〇、〇〇〇
	北	一〇〇、〇〇〇
宮	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
山	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
東	一、〇〇〇	
秋	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
福	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
茨	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇
	東	一、〇〇〇

府縣名	年産額	一地城を1000とし此に對する各府縣の割合
東	五、八〇〇	(6)
青	五、八〇〇	(7)
岩	一、〇〇〇	(8)
宮	一、〇〇〇	(9)
秋	一、〇〇〇	(10)
山	一、〇〇〇	(11)
福	一、〇〇〇	(12)
關	一、〇〇〇	(13)
茨	一、〇〇〇	(14)
栃	一、〇〇〇	(15)
群	一、〇〇〇	(16)
千	一、〇〇〇	(17)
東	一、〇〇〇	(18)
神	一、〇〇〇	(19)
北	一、〇〇〇	(20)
新	一、〇〇〇	(21)
北	一、〇〇〇	(22)
石	一、〇〇〇	(23)
富	一、〇〇〇	(24)
山	一、〇〇〇	(25)
川	一、〇〇〇	(26)

府縣名	年産額	一地城を1000とし此に對する各府縣の割合
福	四、七六六	(8)
東	三、七六一	(7)
山	三、三二五	(6)
長	三、三二五	(5)
岐	二、五七二	(4)
東	二、五七二	(3)
靜	二、五七二	(2)
三	一、五二六	(1)
近	一、五二六	(1)
滋	一、五二六	(1)
京	一、五二六	(1)
大	一、五二六	(1)
兵	一、五二六	(1)
奈	一、五二六	(1)
和	一、五二六	(1)
中	一、五二六	(1)
島	一、五二六	(1)
島	一、五二六	(1)
廣	一、五二六	(1)
山	一、五二六	(1)
廣	一、五二六	(1)
四	一、五二六	(1)
德	一、五二六	(1)
香	一、五二六	(1)
愛	一、五二六	(1)
高	一、五二六	(1)
九	一、五二六	(1)

群馬	⑦	那須	②	33,350,000	安	④	5,000,000	周	④	12,400,000
栃木	②	那須	①	26,500,000	利	⑩	3,000,000	東	⑩	13,700,000
山梨	③	山梨	⑧	21,500,000	根	⑩	2,000,000	加	③	7,500,000
茨城	④	北足立	⑧	18,500,000	父	⑩	1,500,000	智	④	11,000,000
群馬	⑤	北足立	⑧	16,500,000	大	⑩	1,000,000	會	⑤	10,000,000
栃木	⑥	南多摩	⑧	14,500,000	鳥	⑩	500,000	志	⑥	10,000,000
群馬	⑦	八多摩	⑧	12,500,000	東	⑩	500,000	東	⑦	10,000,000
群馬	⑧	足柄上	⑧	11,500,000	大	⑩	500,000	東	⑧	10,000,000
群馬	⑨	足柄上	⑧	10,500,000	東	⑩	500,000	東	⑨	10,000,000
群馬	⑩	北浦原	⑧	9,500,000	東	⑩	500,000	東	⑩	10,000,000
群馬	⑪	北浦原	⑧	8,500,000	東	⑩	500,000	東	⑪	10,000,000
群馬	⑫	北浦原	⑧	7,500,000	東	⑩	500,000	東	⑫	10,000,000
群馬	⑬	北浦原	⑧	6,500,000	東	⑩	500,000	東	⑬	10,000,000
群馬	⑭	北浦原	⑧	5,500,000	東	⑩	500,000	東	⑭	10,000,000
群馬	⑮	北浦原	⑧	4,500,000	東	⑩	500,000	東	⑮	10,000,000
群馬	⑯	北浦原	⑧	3,500,000	東	⑩	500,000	東	⑯	10,000,000
群馬	⑰	北浦原	⑧	2,500,000	東	⑩	500,000	東	⑰	10,000,000
群馬	⑱	北浦原	⑧	1,500,000	東	⑩	500,000	東	⑱	10,000,000
群馬	⑲	北浦原	⑧	500,000	東	⑩	500,000	東	⑲	10,000,000

群馬	①	那須	②	10,600,000	東	⑩	6,000,000	東	①	10,000,000
群馬	②	北宇和	⑩	10,200,000	南	⑩	5,000,000	宇	②	10,000,000
群馬	③	安藝	⑩	9,800,000	香	⑩	4,000,000	多	③	10,000,000
群馬	④	高岡	⑩	9,400,000	橋	⑩	3,000,000	美	④	10,000,000
群馬	⑤	藤津	⑩	9,000,000	多	⑩	2,000,000	七	⑤	10,000,000
群馬	⑥	南松浦	⑩	8,600,000	上	⑩	1,000,000	七	⑥	10,000,000
群馬	⑦	南松浦	⑩	8,200,000	球	⑩	500,000	七	⑦	10,000,000
群馬	⑧	鹿本	⑩	7,800,000	鹿	⑩	500,000	七	⑧	10,000,000
群馬	⑨	天草	⑩	7,400,000	球	⑩	500,000	七	⑨	10,000,000
群馬	⑩	北海部	⑩	7,000,000	球	⑩	500,000	七	⑩	10,000,000
群馬	⑪	北浦原	⑩	6,600,000	球	⑩	500,000	七	⑪	10,000,000
群馬	⑫	北浦原	⑩	6,200,000	球	⑩	500,000	七	⑫	10,000,000
群馬	⑬	北浦原	⑩	5,800,000	球	⑩	500,000	七	⑬	10,000,000
群馬	⑭	北浦原	⑩	5,400,000	球	⑩	500,000	七	⑭	10,000,000
群馬	⑮	北浦原	⑩	5,000,000	球	⑩	500,000	七	⑮	10,000,000
群馬	⑯	北浦原	⑩	4,600,000	球	⑩	500,000	七	⑯	10,000,000
群馬	⑰	北浦原	⑩	4,200,000	球	⑩	500,000	七	⑰	10,000,000
群馬	⑱	北浦原	⑩	3,800,000	球	⑩	500,000	七	⑱	10,000,000
群馬	⑲	北浦原	⑩	3,400,000	球	⑩	500,000	七	⑲	10,000,000
群馬	⑳	北浦原	⑩	3,000,000	球	⑩	500,000	七	⑳	10,000,000

### 第九節 食料品工業

#### 一、概説

農村工業調査に依る食料品工業は、經營數に於いては總數の一九%、産額に於いては二・九%を示す優位に置かれるが經營自體が自家消費若しくは一郡一町村の如く限定されたる局所的消費を目標として營まれてゐる。

更に工場統計表に依る斯業の産額一二五億（昭和十一年）と對比するならば、産額の一二億は僅かに一割に當るに過ぎない。

經營數	産額	經營規模
一位 九州	九州	關東
二位 關東	關東	關東
三位 關東	關東	關東

#### 二、府縣別分布

調査地域中百萬圓以上の産額を示す府縣は二九を算へ、更に百萬圓を産し優位に置かれる六縣は左の如くである。一、七八五萬餘圓を表し第一位を占むる千葉縣の産額中には大規模經營に依る醬油醸造二會社の産額が含まれてゐる。

1、千萬圓以上の産出縣

地 域	位 数	府 縣	經營數	産 額	經營規模
東 北	三位	東 北	7,611	9,150	1,100
東 北	四位	東 北	7,611	9,150	1,100
東 北	五位	東 北	7,611	9,150	1,100
東 北	六位	東 北	7,611	9,150	1,100
東 北	七位	東 北	7,611	9,150	1,100
東 北	八位	東 北	7,611	9,150	1,100
東 北	九位	東 北	7,611	9,150	1,100
東 北	四位	東 北	7,611	9,150	1,100
東 北	五位	東 北	7,611	9,150	1,100
東 北	六位	東 北	7,611	9,150	1,100
東 北	七位	東 北	7,611	9,150	1,100
東 北	八位	東 北	7,611	9,150	1,100
東 北	九位	東 北	7,611	9,150	1,100

品名	単位	数量	金額	品名	単位	数量	金額
17 福井	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
16 石川	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
15 富山	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
14 新潟	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
13 神奈川	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
12 東京	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
11 千葉	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
10 埼玉	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
9 群馬	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
8 栃木	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
7 茨城	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
6 福島	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
5 山形	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
4 秋田	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
3 宮城	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
2 岩手	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000
1 青森	千石	11,715	1,171,500	製粉及澱粉	千石	10,110	1,011,000

- 2、千萬以下五百萬圓以上の産出縣
- (2) 愛知
  - (5) 鹿児島
  - (3) 島根
  - (6) 長野
  - (4) 神奈川
- 3、五百萬以下百萬圓以上の産出府縣
- (7) 福岡
  - (10) 佐賀
  - (13) 山形
  - (16) 香川
  - (19) 長崎
  - (22) 広島
  - (25) 岐阜
  - (28) 埼玉
  - (8) 岡山
  - (11) 三重
  - (14) 愛媛
  - (17) 大阪
  - (20) 秋田
  - (23) 熊本
  - (26) 高知
  - (29) 岩手
  - (9) 静岡
  - (12) 兵衛
  - (15) 新潟
  - (18) 大分
  - (21) 茨城
  - (24) 京都
  - (27) 福島

VII 食料 (1) 生産場数



- 4、百萬以下五十萬圓以上の産出府縣
- (30) 群馬
  - (33) 宮城
  - (36) 富山
  - (37) 山梨
  - (31) 和歌山
  - (34) 山口
  - (38) 青森
  - (32) 奈良
  - (35) 東京

(2) 産額







富山	新潟	神奈川	東京	千葉	埼玉	群馬	栃木	
⑦	①⑫⑧②⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	
下新川	岩船城島	東頸城島	北蒲原	足柄下	中倉	鎌倉	三宅島	
④	⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	
東磯波	佐渡	中頸城	古志	西蒲原	足柄上	高座	八丈島	
④	⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	④⑩⑧②⑥④③③⑦④③⑨④⑦③⑦⑤④⑥⑧⑤③③⑥	
京	滋賀	三重	愛知	静岡	岐阜	長野	山梨	
⑪	⑥②③①⑬⑨③④④⑨⑦①④⑤⑥⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑪⑥②③①⑬⑨③④④⑨⑦①④⑤⑥⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑪⑥②③①⑬⑨③④④⑨⑦①④⑤⑥⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑪⑥②③①⑬⑨③④④⑨⑦①④⑤⑥⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑪⑥②③①⑬⑨③④④⑨⑦①④⑤⑥⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑪⑥②③①⑬⑨③④④⑨⑦①④⑤⑥⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑪⑥②③①⑬⑨③④④⑨⑦①④⑤⑥⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑪⑥②③①⑬⑨③④④⑨⑦①④⑤⑥⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
河	丹	北	北	北	北	北	北	
⑤	⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑤⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑤⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑤⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑤⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑤⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑤⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑤⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

農村工業としての食料品工業は他種類の工業に比較して著しく牽引性を示すものと思惟せられる。既存の状態に於ては清酒及醬油類の醸造製品が割合に於て五二・六%を占めて居るが、更には原材料の分布及び要する技術及設備の簡易な點から其他適性な適地製品の生産が新設、擴張せらるべきことが期待される。

三、結語

食料工業

地域	50-100萬	100-200萬	200-300萬	300-400萬	400-500萬	500萬以上
關東	1	1	1	1	1	1
東北	1	1	1	1	1	1
關東	1	1	1	1	1	1

E表 食料工業に於ける年産額五萬圓以上を示す郡 (数字は圓單位であり○の中の数字は分布圖に表はしたる数字を指す)

山	四	德	香	愛	高	九	福	佐	長	熊	大	宮	鹿
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
山口	島	川	媛	知	州	岡	賀	崎	本	分	崎	島	計
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

大	兵	奈	和	島	島	岡	廣	山	島	熊	長	佐	福	高	愛	香	德	山
阪	庫	良	山	取	根	山	島	口	島	本	崎	賀	岡	知	媛	川	島	口
②	⑤	④	②	③	⑦	⑥	①	⑩	⑨	③	④	⑥	⑧	⑤	④	⑦	④	⑨
三	南	美	西	東	八	那	阿	大	勝	鹿	北	西	三	浮	宇	周	温	綾
島	河	東	半	伯	川	賀	吉	島	西	本	高	松	松	羽	多	川	泉	歌
1,100,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	600,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑩	⑨	③	④	⑥	⑧	⑤	④	⑦	④	⑨
豐	泉	北	東	高	仁	周	赤	攻	厚	池	女	井	島	高	香	美	同	香
能	南	河	半	多	吉	濃	譽	河	狭	蘇	浦	松	島	島	同	美	同	香
3,700,000	3,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

大	宮	鹿	分	崎	島
⑥	②	③	④	⑤	⑧
上	日	東	日	日	肝
益	海	海	海	海	海
城	部	部	部	部	部
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
八	東	東	東	東	東
代	東	東	東	東	東
2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000

第十節 雜工業

一、概説

農村工業に於ける雜工業は經營數に於いては總數の三八・二五%であつて、著しき分布率を示してゐるが、産額率は總數の三六・四でしかない。この事は極めて零細な生産規模（年産額一戸當り二八四圓）を示すことは當然であつて、斯業は農村の副業的經營より成り立してゐる。

又、製品は蠶表・英産・花産の如き産品として市場性を持つものを除いては自給自足乃至は地方的製品を目的とする點に注意を要する。

經營數 産額 經營規模

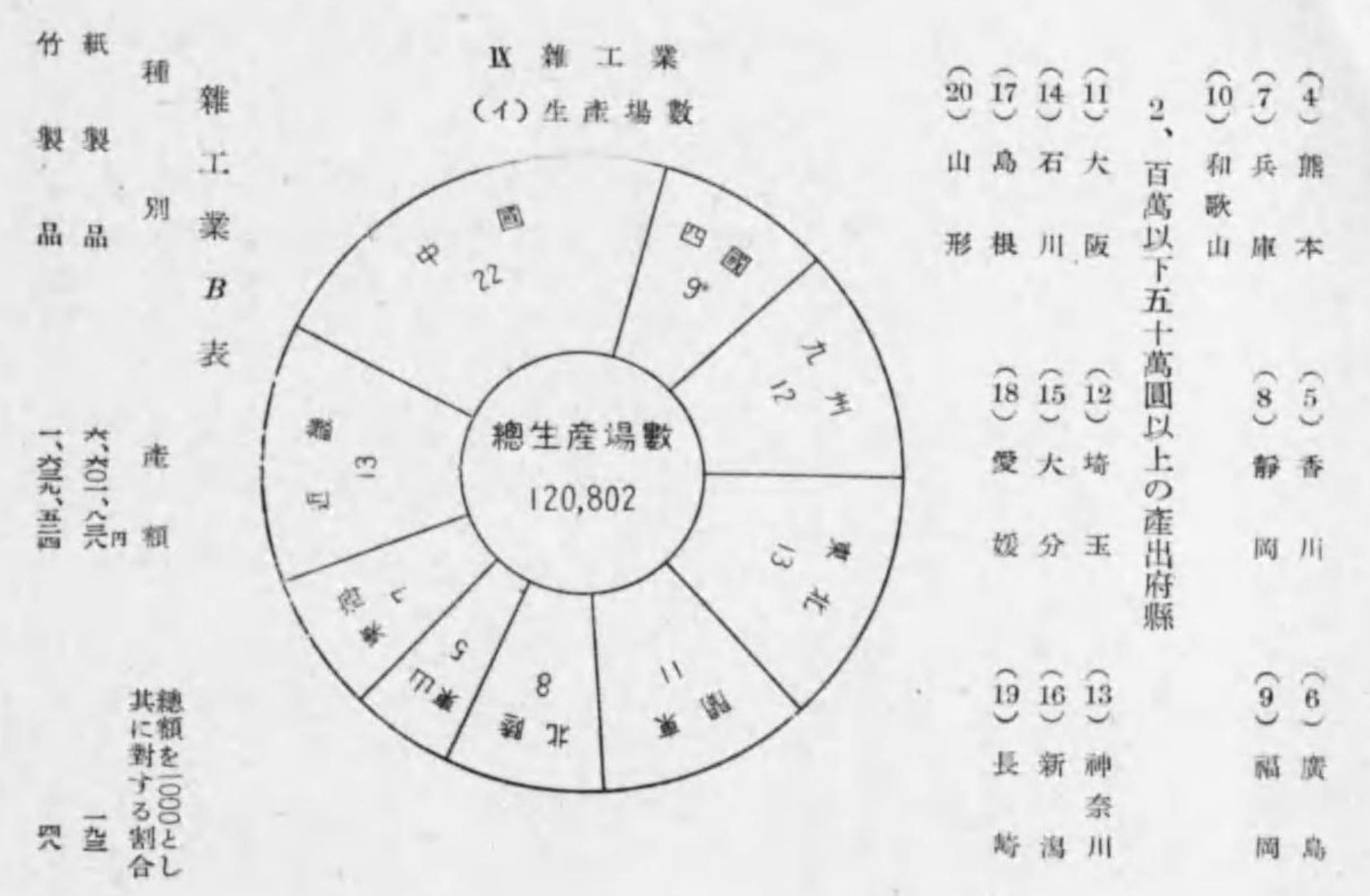
九	四	中	近	東	東	北	關	東	地	九	八	七	六	五	四	三	二
州	國	國	畿	海	山	陸	東	北	東	位	位	位	位	位	位	位	位
1,500,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	東	東	北	四	關	九	近	東
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	山	海	陸	國	東	州	畿	北
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	東	北	關	四	東	近	東	九
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	北	陸	東	國	海	畿	山	州
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	東	北	關	近	中	九	東	東
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	海	陸	東	畿	國	州	海	山

二、府縣別分布

岡山縣は五百五拾八萬圓の年産額を擧げてゐるが、此は特産品（花産類）によるものであつて其他は尠い。五十萬以上の産額を収むる府縣は右の如くである。

1、百萬圓以上の産出縣 (1) 岡山 (2) 岐阜 (3) 三重

青森	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	千叶	東京	神奈川	北陸	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	愛知	静岡	三重	近畿	
製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品	製品
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000



農村に行はれる雑工業中、竹製品、莖葉製品類、葉製品等が廣く分

布されて居る。これ等の生産よりの収益が比較的に少く過勞的傾向が認められる。従つて技術的な改善に基く斯業の發展が望ましい。

三、結 語

總計	6,949,133	4,747,915	6,364,400	5,763,640	4,149,910	3,311,100	2,102,000	1,030,000
26 大阪	1,100,000	710,000	1,000,000	700,000	500,000	400,000	300,000	200,000
27 兵庫	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
28 奈良	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
29 和歌山	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
30 鳥取	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
31 島根	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
32 岡山	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
33 広島	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
34 山口	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
35 徳島	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
36 香川	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
37 愛媛	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
38 高松	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
39 福岡	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
40 佐賀	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
41 長門	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
42 熊本	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
43 大分	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
44 宮崎	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
45 鹿児島	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000

25 京都	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
24 滋賀	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
23 三重	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
22 愛知	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
21 静岡	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
20 岐阜	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
19 長山	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
18 山梨	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
17 福石	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
16 石川	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
15 富山	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
14 新潟	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
13 神奈川	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
12 東京	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
11 千葉	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
10 埼玉	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
9 群馬	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
8 栃木	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
7 茨城	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
6 福山	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
5 山形	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
4 秋田	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
3 宮城	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000
2 岩手	1,000,000	600,000	800,000	600,000	400,000	300,000	200,000	100,000

岡山	御津	⑥	一七七,〇〇〇	④	和氣	一四一,〇〇〇
廣島	安藝	①	六三七,〇七五	⑦	吉備	二七九,〇〇〇
徳島	那賀	⑧	四〇四,〇〇〇	②	沼佐	一八五,一六六
香川	大川	⑦	四〇四,〇〇〇	⑥	板野	四八七,三四四
愛媛	新居	②	一四四,六〇〇	①	仲多度	一三,〇七五
福岡	三浦	③	二二九,七五七	⑧	宇摩	三三〇,一三二
佐賀	小門	④	七六五,六五五	④	八女	一六六,三六六
長崎	北高	⑥	四四九,〇〇〇	⑦	杵島	五七三,〇〇〇
熊本	鹿本	③	一,〇〇〇,〇〇〇	⑨	八代	三三二,八八八
大分	球磨	⑪	三〇,一〇〇	①	速見	一五三,〇〇〇
鹿児島	大東	②	一八五,五〇〇	③	北海	一〇一,〇〇〇
鹿児島	日置	④	二五八,九二九	⑧	給良	七〇〇,〇〇〇

雑工業 E 表

地域 平均 100 万 100 万 500 万 1000 万 2000 万 5000 万以上

府県名 郡名及年産額

F 表雑工業に於て年産額五萬圓以上を示す郡 (数字は圓単位であり○の中の数字は分布圖に表されたる数字を指す)

青森	⑤	五,一五〇	⑥	南洋	一六,三五六
山形	⑦	六三,一〇〇	⑥	西村山	八四,七七八
福島	⑥	五,二〇〇	③	下都賀	二六,二五〇
茨城	⑩	五,〇〇〇	②	南埼玉	一五,一八〇
栃木	④	二四,三三三	⑨	海上	六〇,〇七五
埼玉	④	三六,二〇〇	⑤	高座	一〇,七五〇
千葉	⑩	八七,五七五			
神奈川	②	四七,二〇〇			
神奈川	⑥	六八,五〇〇			

新潟	⑤	二六,二〇〇	④	西蒲原	一三,七六六
富山	⑧	五,五〇〇	①	氷見	一〇四,〇〇〇
石川	③	二七,〇〇〇	⑥	石川	四〇,〇〇〇
山梨	④	六四,九八八	③	鹿島	〇
長野	⑨	五九,七九	①	下高井	一一,五五五
岐阜	②	二六,四七〇	④	養老	三三,八三三
静岡	⑤	七六,五〇〇	②	磐田	五,三二九
三重	⑩	二,八八,三三〇	③	引佐	六〇,五九五
滋賀	①	一〇,五五〇			
京都	④	二〇,五五〇			
大阪	⑧	六六,二〇〇			
奈良	③	六,〇〇〇			
和歌山	⑦	八,一四〇			
和歌山	②	一〇,一五〇			
和歌山	①	二,〇〇〇			
和歌山	⑧	一〇,〇〇〇			
和歌山	⑩	一〇,〇〇〇			
和歌山	⑨	一〇,〇〇〇			
和歌山	⑥	一〇,〇〇〇			
和歌山	⑤	一〇,〇〇〇			
和歌山	④	一〇,〇〇〇			
和歌山	③	一〇,〇〇〇			
和歌山	②	一〇,〇〇〇			
和歌山	①	一〇,〇〇〇			

第三章 農村工業調査票に基きて  
作成せる統計資料

凡例

- 一、統計は府縣別に、一、概観 二、纖維工業 三、金屬工業 四、機械器具工業
  - 五、化學工業 六、窯業 七、木工業 八、製炭業 九、食料品工業 十、雜工業
- の順序で示した。

二、内容別の記號は左の如き意味を表す。

- a.....昭和六年を境とする該當工業の發生時新舊の別)
- b.....町村數
- c.....郡別町村數
- d.....生産戸數
- e.....郡別生産戸數單位戸)
- f.....年産額
- g.....郡別年産額單位圓)
- h.....經營種類(例、會社、組合、個人)
- i.....郡別經營種類
- j.....原料購入先(イ)當該地方(或は隣接地域)(ロ)他地方(ハ)外國
- k.....製品販賣先(イ)當該地方(ロ)他地方(ハ)外國

第一節 青森縣

一、概観

纖維工業	生産戸數	年産額
金屬工業	六九八	三二、〇〇〇圓
化學工業	四五	五八、五四〇圓
機械工業	四五七	一八、〇〇〇圓
窯業	七	一九、二九〇圓
木工業	一九六	六〇〇圓
食料工業	二、三二四	七〇七、四八〇圓
雜業	二、八八五	五五五、七五〇圓
製炭業	一、三七二	二〇六、八七八圓
合計	七、九八五	四六一、一四〇圓

二、纖維工業

絹織物	生産戸數	年産額
綿織物	一	一、五〇〇圓
麻及麻織物	一	一五、〇〇〇圓
毛織物(ホームズパン)	六八六	一五、三〇〇圓
合計	一〇	二〇〇圓
絹織物別	六九八	三二、〇〇〇圓

青森縣

綿織物

g 同	一、五〇〇圓
i 同	個人
j (イ)	一
a 新	一町
c 上北	一戸
e 同	一五、〇〇〇圓
g 同	組合
i 同	一
j (ロ)	一

麻及麻織物

a 新	一
c 上北	一
e 同	一
g 同	一
i 同	一
j (イ)	一
a 新	一
c 上北	一
e 同	一
g 同	一
i 同	一
j (イ)	一

毛織物

a 新	一
c 上北	一
e 同	一
g 同	一
i 同	一
j (イ)	一
a 新	一
c 上北	一
e 同	一
g 同	一
i 同	一
j (イ)	一

三、金屬工業

內容別	生産戸數	年産額
a 舊一〇	九村	三五、〇〇〇圓
b 一町	二村	二五、四〇〇圓
c 東津輕	中津輕	五八、五四〇圓
d 北津輕	上北	
e 東津輕	二村	
f 北津輕	二村	
g 東津輕	中津輕	
h 北津輕	上北	
i 東津輕	中津輕	
j (イ) 一〇	南津輕	
k (イ) 一〇	南津輕	
計	七	一九、二九〇圓

五、化學工業

內容別	生産戸數	年産額
a 新	三村	三、〇〇〇圓
b 一町	二村	一〇、〇〇〇圓
c 東津輕	北津輕	五、〇〇〇圓
d 北津輕	北津輕	一八、〇〇〇圓
e 東津輕	北津輕	
f 北津輕	北津輕	
g 東津輕	北津輕	
h 北津輕	北津輕	
i 東津輕	北津輕	
j (イ) 一五	北津輕	
k (イ) 一五	北津輕	
計	七	三三、〇〇〇圓

四、機械工業

內容別	生産戸數	年産額
a 新	三村	一、七九〇圓
b 一町	二村	二、五〇〇圓
c 東津輕	北津輕	一五、〇〇〇圓
d 北津輕	北津輕	一九、二九〇圓
e 東津輕	北津輕	
f 北津輕	北津輕	
g 東津輕	北津輕	
h 北津輕	北津輕	
i 東津輕	北津輕	
j (イ) 一〇	北津輕	
k (イ) 一〇	北津輕	
計	七	四九、〇〇〇圓

六、窯業

內容別	生産戸數	年産額
a 新	一戸	六〇〇圓
b 一町	一戸	
c 東津輕	一戸	
d 北津輕	一戸	
e 東津輕	一戸	
f 北津輕	一戸	
g 東津輕	一戸	
h 北津輕	一戸	
i 東津輕	一戸	
j (イ) 一〇	一戸	
k (イ) 一〇	一戸	
計	一	六〇〇圓

八、製炭業

內容別	生産戸數	年産額
a 新	一三村	四六一、一四〇圓
b 一町	四村	
c 東津輕	一町	
d 北津輕	三戸	
e 東津輕	一町	
f 北津輕	三戸	
g 東津輕	一町	
h 北津輕	三戸	
i 東津輕	一町	
j (イ) 一五	三戸	
k (イ) 一五	三戸	
計	一三	四六一、一四〇圓

七、木工業

內容別	生産戸數	年産額
a 新	一九	五八三、六四〇圓
b 一町	一	一二三、八四〇圓
c 東津輕	一	七〇七、四八〇圓
d 北津輕	一	
e 東津輕	一	
f 北津輕	一	
g 東津輕	一	
h 北津輕	一	
i 東津輕	一	
j (イ) 一〇	一	
k (イ) 一〇	一	
計	二二	一、〇一四、〇〇〇圓



九、食料工業

內容別	生產戶數	年產額
酒類	三	九一、五〇〇圓
醬油及味噌類	四〇七	四六、五五〇圓
製粉	三六九	二七、八〇〇圓
澱粉	六六一	六、七〇〇圓
菓子	五	九、〇〇〇圓
菓子加工	五一	四三、八〇〇圓
水產物加工	七二六	三〇二、〇〇〇圓
農產物加工	九八	一六、〇〇〇圓
製氷	一	二、〇〇〇圓
其他	三	一一、〇二〇圓
計	二、三二四	五五五、七五〇圓

十、雜工業

內容別	生產戶數	年產額
竹製品	二一〇	二八、五〇〇圓
蓆及蓆製品	二一	二五、一〇〇圓
蓆製品	一	一五一、二八圓
皮革(靴)	一	四五〇圓
其他	六	一、六〇〇圓
計	二、八八五	二〇六、八七八圓

內容別	生產戶數	年產額
新三	一五	
a 一八村	一	
b 東津輕	二	
c 北津輕	二	
d 三戸	五	
e 東津輕	一	
f 北津輕	一	
g 三戸	一	
h 東津輕	一	
i 北津輕	一	
j 三戸	一	
計	二、三二四	

內容別	生產戶數	年產額
a 三町	一	
b 東津輕	一	
c 北津輕	一	
d 東津輕	三	
e 北津輕	三	
f 東津輕	三	
g 北津輕	三	
h 工場個人・組合	一	
i 東津輕	一	
j 北津輕	一	
計	一四	

第二節 岩手縣

一、概観

內容別	生產戶數	年產額
織維工業	五五三	一七、五五六圓
金屬工業	七	三、五〇〇圓
化學工業	一	五二二、八九九圓
窯業	一	三、〇〇〇圓
木工業	四三九	九二八、四三四圓
食料工業	一〇九三	一、二〇九、九二七圓
雜工業	二、七三二	六九、八四二圓
製炭業	三、八六四	一、八三九、〇四一圓
合計	九、一九〇	四、五九四、一九九圓

二、織維工業

內容別	生產戶數	年產額
製絲	三〇	四、〇〇〇圓
絹織物	六	二〇〇圓
羊毛加工及毛織	九一	五、二〇〇圓
麻織	四一二	一、五〇〇圓
莫大色	一〇	二、七七九圓
染小色	四	三、八七四圓
計	五五三	一七、五五六圓

內容別	生產戶數	年產額
a 舊一	一	
b 二村	一	
c 和賀	一	
d 九戸	九〇	
e 和賀	一	
f 五、二〇〇圓	五、〇〇〇	
g 和賀	一	
h 組合	一	
i 和賀	一	
j (イ)	一	
k (イ)	一	
計	一一	





毛織  
 a 舊一 一町  
 e 志田 一町  
 g 〃 〃 一戸  
 i 〃 〃 二〇〇、五一五圓  
 j (イ) 一 會社 (ロ) 一

新三  
 a 柴田 一町  
 b 柴田 一町  
 c 柴田 一町  
 d 柴田 一工場  
 e 柴田 一工場  
 f 柴田 一工場  
 g 柴田 一工場  
 h 柴田 一工場  
 i 柴田 一工場  
 j (イ) 一 會社 (ロ) 一

### 三、機械工業

生產戶數 一  
 內容別  
 a 舊一 一町  
 e 志田 一町  
 g 〃 〃 一、六九八圓  
 i 〃 〃 組合  
 j (イ) 一 組合 (ロ) 一

### 四、化學工業

動物油脂(魚肥)  
 紙(和紙)  
 生產戶數 二〇六  
 年產額 一九三、九五六圓  
 一〇、四〇〇圓  
 二〇四、三五六圓

內容別  
 a 舊七 一六村  
 b 名取 一町一村  
 c 本吉 一村  
 d 二六九戸 六五  
 e 名取 五九  
 f 本吉 五九  
 g 名取 一六、〇〇〇  
 h 本吉 五四、九五六  
 i 組合・個人  
 j (イ) 七 個人 (ロ) 三

### 五、窯業(瓦)

生產戶數 五戸  
 內容別  
 a 舊二 二  
 b 二村  
 c 栗原 二

### 六、木工業

木製材  
 生產戶數 二六  
 年產額 一〇〇、一五〇圓  
 一八、七六〇圓  
 一一八、九一〇圓

內容別  
 a 舊一六 一四村  
 b 柴田 一村  
 c 柴田 一村  
 d 柴田 一村  
 e 柴田 一村  
 f 柴田 一村  
 g 柴田 一村  
 h 柴田 一村  
 i 柴田 一村  
 j (イ) 二 個人 (ロ) 二

### 七、製炭業

生產戶數 二、六八九  
 內容別  
 a 舊一八 一六村  
 b 名取 二村  
 c 志田 一村  
 d 志田 一村  
 e 志田 一村  
 f 志田 一村  
 g 志田 一村  
 h 志田 一村  
 i 志田 一村  
 j (イ) 七〇 個人 (ロ) 三

八、食料工業

岩手縣	志田 個人	玉造 組合	栗原 組合	個人
登米 組合	個人	桃生 個人	本吉 個人	個人
劉田 個人	個人	劉田 個人	劉田 個人	劉田 個人
生産戸數	一八	一八	一八	一八
年産額	三	三	三	三
酒類(清酒)	三	三	三	三
醬油	二	二	二	二
製粉	六	六	六	六
菓子(菓子種ヲ含ム)	一六	一六	一六	一六
罐詰(農産品)	二〇	二〇	二〇	二〇
水産品加工	九四	九四	九四	九四
製麵	三	三	三	三
其他	七一	七一	七一	七一
計	一一二	一一二	一一二	一一二
其他ニ含マル、主ナルモノ凍豆腐デアル	七四六	七四六	七四六	七四六
內容別	新三 舊一六	新三 舊一六	新三 舊一六	新三 舊一六
a 新三	一五	一五	一五	一五
b 舊一六	一五	一五	一五	一五
c 柴田 一町	宮城 一町	宮城 一町	宮城 一町	宮城 一町
d 志田 一町	玉造 一町	玉造 一町	玉造 一町	玉造 一町
e 登米 一町	桃生 一町	桃生 一町	桃生 一町	桃生 一町
f 本吉 一村	劉田 一村	劉田 一村	劉田 一村	劉田 一村
g 柴田 一村	名取 一村	名取 一村	名取 一村	名取 一村
h 志田 一村	玉造 一村	玉造 一村	玉造 一村	玉造 一村
i 登米 一村	桃生 一村	桃生 一村	桃生 一村	桃生 一村
j 本吉 一村	劉田 一村	劉田 一村	劉田 一村	劉田 一村
生産戸數	一、二六	一、二六	一、二六	一、二六
年産額	八八五	八八五	八八五	八八五

九、雜工業

本吉 四八	劉田 四六	劉田 九二
柴田 五〇九〇	名取 二、二〇〇	宮城 一、二二〇
志田 一四四、九七八	玉造 五、六〇〇	栗原 三、〇九三
登米 九三、六五〇	桃生 二六、一五二	牡鹿 三六二、九〇〇
本吉 九八、〇八〇	劉田 三、三六八	
會社・組合・個人	劉田 個人	宮城 個人
柴田 組合	名取 個人	栗原 個人
志田 個人	玉造 個人	桃生 個人
登米 個人	桃生 個人	劉田 個人
本吉 個人	劉田 個人	
生産戸數	一二	一二
年産額	四、〇〇〇圓	四、〇〇〇圓
紙製品(製面)	一	一
竹製品	七六	七六
製表	三七五	三七五
製藥品	一、三四六	一、三四六
皮革(兔毛皮)	三	三
毛筆	二	二
其他(荷馬車挾)	五〇	五〇
計	一、八六四	一、八六四
內容別	新三 舊一六	新三 舊一六
a 新三	一三	一三
b 舊一六	一三	一三
c 柴田 一町	宮城 一町	宮城 一町
d 志田 一町	玉造 一町	玉造 一町
e 登米 一町	桃生 一町	桃生 一町
f 本吉 一村	劉田 一村	劉田 一村
g 柴田 一村	名取 一村	名取 一村
h 志田 一村	玉造 一村	玉造 一村
i 登米 一村	桃生 一村	桃生 一村
j 本吉 一村	劉田 一村	劉田 一村
生産戸數	一、八六四	一、八六四
年産額	九一、三三五圓	九一、三三五圓

第四節 秋田縣

一、概観

織維工業	生産戸數 三	年産額 一、七八〇圓
金屬工業	生産戸數 二二	年産額 九、一三〇圓
化學工業	生産戸數 二二	年産額 二、〇〇〇圓
窯業	生産戸數 六	年産額 二六、〇〇〇圓
木工業	生産戸數 五九三	年産額 一、五〇五、四五八圓
食料工業	生産戸數 一、〇五〇	年産額 三、四〇〇、九七二圓
雜工業	生産戸數 一、七四九	年産額 六五、四四七圓
製炭業	生産戸數 三、二〇八	年産額 七〇〇、四六三圓
岩手縣・秋田縣		

二、織維工業

合計	生産戸數 三	年産額 一、七八〇圓
內容別	新三 舊一六	新三 舊一六
a 新三	一三	一三
b 舊一六	一三	一三
c 北秋田 一村	仙北 一町	
d 三戸	仙北 一	
e 北秋田 二	仙北 一	
f 一、七八〇圓	仙北 一	
g 北秋田 二八〇	仙北 一、五〇〇	
h 組合・個人	仙北 組合	
i 北秋田 個人	仙北 組合	
j 北秋田 個人	仙北 組合	
生産戸數	二二	年産額 九、一三〇圓

三、金屬工業

合計	生産戸數 二二	年産額 九、一三〇圓
內容別	新三 舊一六	新三 舊一六
a 新三	一三	一三
b 舊一六	一三	一三
c 山本 一村	仙北 三村	雄勝 二村
d 二戸	仙北 一五	雄勝 四
e 山本 三	仙北 一五	雄勝 四
f 九、一三〇圓	仙北 六、六〇〇	雄勝 七三〇
g 山本 一、八〇〇	仙北 六、六〇〇	雄勝 七三〇
h 個人	仙北 六、六〇〇	雄勝 七三〇
生産戸數	二二	年産額 九、一三〇圓

四、化學工業

生産戸數	年産額
二二	二、〇〇〇圓
内 容 別	
a 舊一	
b 一 村	
c 山本	
d 二 村	
e 同	
f 同	
g 同	
h 同	
i 同	
j (イ)	

六、木工業

生産戸數	年産額
二二	一、三三三、四四〇圓
木 製 材	二七四
木 製 品	三一九
計	五九三
内 容 別	
a 新七	
b 八 町	
c 南秋田	
d 河邊	
e 平鹿	
f 五八七戸	
g 南秋田	
h 河邊	
i 平鹿	
j (イ)	

五、窯業

生産戸數	年産額
六	二六、〇〇〇圓
陶 磁 器	一六、〇〇〇圓
土 管	五、〇〇〇圓
セメント製品	五、〇〇〇圓
計	二六、〇〇〇圓
内 容 別	
a 舊四	
b 四 村	
c 由利	
d 六 戸	
e 由利	
f 二六、〇〇〇圓	
g 由利	

七、製炭業

生産戸數	年産額
三、二七八	七〇〇、四六三圓
内 容 別	
a 新四	
b 一 町	
c 南秋田	
d 河邊	
e 平鹿	
f 七〇〇、四六三圓	
g 南秋田	
h 河邊	
i 平鹿	
j (イ)	

生産戸數	年産額
二〇八	三九一、五九一圓
醬油及味噌及麴	一八、〇〇〇圓
製 粉	一、二〇〇圓
澱 粉	一五、〇〇〇圓
製 麵	一九、三六一圓
製 子	三〇、一〇〇圓
菓 子	三六三、九六七圓
罐 詰	六〇、九五〇圓
水産物加工	四九、一〇〇圓
農産物加工	二、四〇〇、九七二圓
其 他	
計	

八、食料工業

生産戸數	年産額
四四	一、四四一、〇九三圓
酒 類 (清酒)	一〇、六一〇圓
清 涼 飲 料	
計	

生産戸數	年産額
九四	九五
内 容 別	
a 新五	
b 八 町	
c 南秋田	
d 河邊	
e 平鹿	
f 二、四〇〇、九七二圓	
g 南秋田	
h 河邊	
i 平鹿	
j (イ)	

九、雜工業

紙製品(傘提燈)	生產戶數	年産額
竹製品	一	三、〇〇〇圓
葦及藁製品(漁業用實子繩)	四	一、〇〇〇圓
藥製品	一	一五、〇〇〇圓
皮革及革製品	四	四〇、五四七圓
眞綿加工	二五	三、〇〇〇圓
製綿	二	二、〇〇〇圓
計	一七四九	九〇〇圓

內容別	生産戶數	年産額
新四	一〇	三、〇〇〇圓
五町	一	一、〇〇〇圓
南秋田	一	一五、〇〇〇圓
河邊	一	四〇、五四七圓
平鹿	一	三、〇〇〇圓
計	一七四九	九〇〇圓

第五節 山形縣

一、概観

業種	生産戶數	年産額
織工業	九〇	五、八〇七、八四一圓
金工工業	二	二八四、四五六圓
機械工業	二	一〇〇、〇〇〇圓
窯業	二七	一一四、〇九二圓
木工工業	四六五	四二〇、七四二圓
食料工業	一、六二〇	二、九四七、三六一圓
雜工業	四、四七八	五三九、三〇四圓
製炭業	一、九八五	八一八、四五〇圓
計	八、六六九	一一、〇三二、二四六圓

一、織維工業

業種	生産戶數	年産額
製絲	二二	五、三六〇、〇八九圓
絹織	一四	一〇三、〇〇〇圓
綿織	一四	一一、一九六圓
其他	一〇	一五、五〇〇圓
計	九〇	五、八〇七、八四一圓

製絲

a 舊四	一 村	東置賜	二町一村	一五
b 三町	一 町	東置賜	二町一村	一五
c 西置賜	一 町	東置賜	二町一村	一五
d 二戸	一 町	東置賜	二町一村	一五
e 西置賜	七	東置賜	二町一村	一五
f 五、三六〇、〇八九圓		東置賜	二町一村	一五
g 西置賜	二〇〇、〇〇〇	東置賜	二町一村	一五
h 會社(株式)・個人		東置賜	二町一村	一五
i 西置賜	會社・個人	東置賜	二町一村	一五
j (イ) 四		東置賜	二町一村	一五

絹織物

a 舊二	一 村	西置賜	一町	一一
b 南村山	一 村	西置賜	一町	一一
c 南村山	一 村	西置賜	一町	一一
d 一四戸	三	西置賜	一町	一一
e 南村山	三、〇〇〇	西置賜	一町	一一
f 一〇三、〇〇〇圓		西置賜	一町	一一
g 南村山	三、〇〇〇	西置賜	一町	一一
h 個人		西置賜	一町	一一
i 南村山	個人	西置賜	一町	一一
j (イ) 二		西置賜	一町	一一

綿織物

a 舊二	一 村	東置賜	一町	三
b 一町	一 村	東置賜	一町	三
c 東田川	一 村	東置賜	一町	三
d 四戸	一 村	東置賜	一町	三
e 東田川	一 村	東置賜	一町	三
f 東田川	一 村	東置賜	一町	三
g 東田川	一 村	東置賜	一町	三
h 東田川	一 村	東置賜	一町	三
i 東田川	一 村	東置賜	一町	三
j (イ) 二		東置賜	一町	三

麻織

a 舊二	一 村	南置賜	一町	一
b 一町	一 村	南置賜	一町	一
c 東置賜	一 町	南置賜	一町	一
d 一〇戸	一 町	南置賜	一町	一
e 東置賜	七	南置賜	一町	一
f 一五、五〇〇圓		南置賜	一町	一
g 東置賜	一五〇、〇〇〇	南置賜	一町	一
h 個人		南置賜	一町	一
i 東置賜	個人	南置賜	一町	一
j (イ) 一		南置賜	一町	一

其他

a 新一	二 村	東置賜	一町	一
b 一町	二 村	東置賜	一町	一
c 西村山	一 村	東置賜	一町	一
d 四〇戸	三	東置賜	一町	一
e 西村山	三	東置賜	一町	一
f 西村山	三	東置賜	一町	一
g 西村山	三	東置賜	一町	一
h 西村山	三	東置賜	一町	一
i 西村山	三	東置賜	一町	一
j (イ) 一		東置賜	一町	一

一八一、〇五六圓	東置賜一四〇、〇〇〇	南置賜四〇、五五六
西村山 五〇〇	個人	個人
西村山 個人	東置賜 個人	南置賜 個人
西村山 個人	東置賜 個人	南置賜 個人
西村山 個人	東置賜 個人	南置賜 個人
西村山 個人	東置賜 個人	南置賜 個人
西村山 個人	東置賜 個人	南置賜 個人
西村山 個人	東置賜 個人	南置賜 個人
西村山 個人	東置賜 個人	南置賜 個人
西村山 個人	東置賜 個人	南置賜 個人
西村山 個人	東置賜 個人	南置賜 個人

二、金屬工業

金屬精鍊業及材料品製造業	生産戸數	年産額
鑄物以外ノ金屬製品製造業	一	二六四、四五六圓
計	一	二〇、〇〇〇圓
計	二	二八四、四五六圓

三、機械工業

生産戸數	年産額
二戸	一〇〇、〇〇〇圓
計	一〇〇、〇〇〇圓

一〇〇、〇〇〇圓	個人
個人	個人
個人	個人
個人	個人
個人	個人
個人	個人
個人	個人
個人	個人
個人	個人
個人	個人
個人	個人

四、窯業

生産戸數	年産額
三	二、五五〇圓
二	三九、五四二圓
二	七二、〇〇〇圓
二	一一四、〇九二圓

五、木工工業

生産戸數	年産額
八二	三一三、二九〇圓

木製品	生産戸數	年産額
計	三三三	一〇七、四五二圓
計	四六五	四二〇、七四二圓

內容別	生産戸數	年産額
a 新四 舊三一	三三	二七
b 二町 三二村	一八	一三四
c 東田川 最上	九	一五
d 東田川 西田川	三	一五二
e 東田川 西田川	三	一五二
f 東田川 西田川	三	一五二
g 東田川 西田川	三	一五二
h 東田川 西田川	三	一五二
i 東田川 西田川	三	一五二
j 東田川 西田川	三	一五二

六、製炭業

生産戸數	年産額
一、九八五	八一八、四五〇圓

內容別	生産戸數	年産額
a 新二 舊二八	二九	二八
b 一町 二九村	一〇七	一〇七
c 東田川 最上	四	四
d 東田川 西田川	二	二
e 東田川 西田川	二	二
f 東田川 西田川	二	二
g 東田川 西田川	二	二
h 東田川 西田川	二	二
i 東田川 西田川	二	二
j 東田川 西田川	二	二

六、食料工業

生産戸數	年産額
三二	二、三七二、八〇〇圓
三〇	二〇九、〇四五圓
一八	一一、一七五圓



澱粉	三〇	一、〇〇〇圓
菓子	八	四一、四五〇圓
菓實	九八〇	八四、一九二圓
水產物加工	六	八、六〇〇圓
農產物加工	四六九	七〇、六〇〇圓
畜產物加工	二	一二三、五八九圓
其他	四五	二三、九一〇圓
計	一、六二〇	二、九四七、三六一圓

\* 果實、野菜(ナメク、孟宗) 兔肉

內容別	新	舊	年產額
a 新	一〇	二六	
b 八町	二八村		
c 南村山	一	西村山	一町四村
d 最上	一町二村	飽海	三村
e 西田川	二町三村	西置賜	一町三村
f 南置賜	三村		東置賜 三町二村
g 一、六二〇戶			
h 南村山	五	西村山	一三五
i 最上	四一	飽海	五
j 西田川	八四	西置賜	一〇四
k 南置賜	五九七		東置賜 五八一
l 二、九三八、八六一圓			
m 東村山	二、五〇〇	西村山	五七六、一五〇
n 最上	三、四七五、七七五	飽海	一一、二〇〇
o 西田川	七六六、三〇〇	南置賜	二五、二〇〇
p 東置賜	九〇九、五〇一	西置賜	一四〇、九〇〇
q 東置賜	九〇九、五〇一		
r 會社・組合・個人			
s 南村山	個人	西村山	組合・個人
t 北村山	個人	飽海	個人
u 東置賜	組合	南置賜	個人
v 西田川	個人		
w 西村山	個人	北村山	個人

七、雜工業

紙製品(團扇)	一	年產額
竹製品	八八	三五〇、〇〇〇圓
菅製品	一	六、二〇〇圓
草製品	一	三、〇〇〇圓
製履	一	一、六六四、二二圓
製表	一	一、六八二圓
製藥品	一	二、〇〇〇圓
其他(菊のり)	一	五三九、三〇四圓
計	四、四七八	

內容別	新	舊	年產額
a 新	五	一四	
b 三町	一六村		
c 南村山	一	東村山	四村
d 北村山	二	最上	一町二村
e 西田川	一	東置賜	一町二村
f 南置賜	一		南置賜 一村
g 四、四七八戶			
h 南村山	一	東村山	一、四一九
i 北村山	一、〇七〇	最上	二
j 西田川	一八	東置賜	一三九
k 南置賜	五三、九三〇、四四圓		南置賜 二〇〇
l 南村山	二、〇〇〇	東村山	六三、一〇〇
m 北村山	二、〇〇〇	最上	三、五〇〇、六〇〇
n 西田川	二、〇〇〇	飽海	二七〇
o 南置賜	八〇〇	東置賜	九、七〇〇
p 東置賜	八〇〇		南置賜 七、〇〇〇

第六節 福島縣

一、概観

纖維工業	八八一	年產額
化學工業	二二〇	四、八六六、四〇五圓
窯業	五二	九四五、四一〇圓
機械工業	九	八六、五四〇圓
木工業	一二七	二五一、〇〇〇圓
食料工業	四六八	七〇七、九九五圓
雜工業	二、一六六	一、二七五、五八八圓
製炭業	三、五一六	八五、一九二圓
計	七、四〇九	一、〇五九、一八八圓

二、纖維工業

製絲	二一九(工場六)	年產額
絹織物	一八八	四〇四、八〇〇圓
人絹織物	一八	三、四九八、八九三圓
綿織物	五	八四八、九一六圓
毛織(ホームズパン)	二四	八七、八〇〇圓
計		七、一五〇圓

山形縣・福島縣

麻及織物

計	四二七	一八、八四六圓
內容別	八八一	四、八六六、四〇五圓

製絲	一	村	大沼	三村	田村	一町
a 新	一	村				
b 一町	一	村				
c 南會津	一	村	大沼	三村	田村	一町
d 二一九戶(工場六)						
e 南會津	六〇	大沼	一五七(工場四)	田村	七	
f 四〇四、八〇〇圓						
g 南會津	三、〇〇〇	大沼	三三、〇〇〇	田村	三六八、八〇〇	
h 個人・組合・會社						
i 南會津	個人	大沼	組合・個人	田村	個人・會社	
j (イ) 五						
k (イ) 四						
l (ロ) 一						

絹織物(羽二重、節絹、袖絲紡績)

內容別	新	舊	年產額
a 新	二	四	
b 一町	五	村	
c 伊達	一町三村	安積	一村
d 一八八戶			
e 伊達	一八六	安積	一(職工三〇)
f 三、四九八、八九三圓			
g 伊達	三、四四三、八九三	安積	五〇、〇〇〇
h 會社・個人			
i 伊達	會社・個人	安積	會社
j (イ) 四			
k (イ) 三			
l (ロ) 三			
m 北會津	個人		
n 北會津	個人		
o 北會津	個人		
p 北會津	個人		
q 北會津	個人		
r 北會津	個人		
s 北會津	個人		
t 北會津	個人		
u 北會津	個人		
v 北會津	個人		
w 北會津	個人		
x 北會津	個人		
y 北會津	個人		
z 北會津	個人		

綿織物		麻及織物	
e	伊達 一	i	伊達個人・組合 南會津 個人
d	一八戸	j	(イ) 六 南會津 個人
c	伊達 一八	a	新二 舊一
b	八四八、九一六圓	b	三村 一
a	伊達 八四八、九一六圓	c	信夫 一村 安達 一村 大沼 一村
g	伊達 八四八、九一六圓	d	四二七戸
f	八四八、九一六圓	e	信夫 二五 安達 五二 大沼 三五〇
e	伊達 一八	f	一八、八四六圓
d	一八戸	g	信夫 一、七〇〇 安達 一四六 大沼 一七、〇〇〇
c	伊達 一八	h	個人・組合 安達 組合 大沼 個人
b	八四八、九一六圓	i	信夫 組合 安達 組合 大沼 個人
a	伊達 一八	j	(イ) 三
g	伊達 八四八、九一六圓		
f	八四八、九一六圓		
e	伊達 一八		
d	一八戸		
c	伊達 一八		
b	八四八、九一六圓		
a	伊達 一八		

三、機械工業

原動機(内燃機關及部分品)		生產戸數		年産額	
度	量	衡	器	(メー	トル尺器)
a	九	一	八	二五〇、〇〇〇圓	
b	二五〇、〇〇〇圓			一、〇〇〇圓	
c	二五〇、〇〇〇圓			二五〇、〇〇〇圓	

毛織(ホームズパン)

a	舊二 新四	大沼 一	年産額
b	伊達 四	南會津 一	一、五〇〇圓
c	伊達 二四戸	南會津 一	四、二四三圓
d	伊達 二二	南會津 一	九〇三、〇〇〇圓
e	伊達 七、一五〇圓	南會津 一	三〇〇圓
f	伊達 七、一五〇圓	南會津 一	五、三六七圓
g	伊達 七、一五〇圓	南會津 一	六、〇〇〇圓
h	伊達 七、一五〇圓	南會津 一	九二〇、四一〇圓

四、化學工業

發火物(煙火)		生產戸數		年産額	
a	一	一	一	一、五〇〇圓	
b	一	一	一	四、二四三圓	
c	一	一	一	九〇三、〇〇〇圓	
d	一	一	一	三〇〇圓	
e	一	一	一	五、三六七圓	
f	一	一	一	六、〇〇〇圓	
g	一	一	一	九二〇、四一〇圓	

五、窯業

陶磁器(陶器)		生產戸數		年産額	
a	二	二	二	五〇、〇〇〇圓	
b	二	二	二	三六、五四〇圓	
c	二	二	二	八六、五四〇圓	

六、木工業

木材(製材)		生產戸數		年産額	
a	四	四	四	四〇一、八〇〇圓	
b	四	四	四	三〇三、一五五圓	
c	四	四	四	七〇四、九五五圓	

發火物(煙火)		生產戸數		年産額	
a	一	一	一	一、五〇〇圓	
b	一	一	一	四、二四三圓	
c	一	一	一	九〇三、〇〇〇圓	
d	一	一	一	三〇〇圓	
e	一	一	一	五、三六七圓	
f	一	一	一	六、〇〇〇圓	
g	一	一	一	九二〇、四一〇圓	

木材(製材)		生產戸數		年産額	
a	四	四	四	四〇一、八〇〇圓	
b	四	四	四	三〇三、一五五圓	
c	四	四	四	七〇四、九五五圓	

內容別

Table with columns for content type (a-j), production count, and production amount. Includes categories like '製炭業' (Charcoal Industry) and '製粉業' (Flour Industry).

七、製炭業

八、食料工業

Table with columns for content type (a-j), production count, and production amount. Includes categories like '酒類(清酒)' (Alcohol), '製粉' (Flour), and '製糖' (Sugar).

內容別

Table with columns for content type (a-j), production count, and production amount. Includes categories like '紙製(提灯、傘)' (Paper products) and '製糖' (Sugar).

九、雜工業

Table with columns for content type (a-j), production count, and production amount. Includes categories like '紙製(提灯、傘)' (Paper products), '製糖' (Sugar), and '製粉' (Flour).

福島縣・茨城縣

耶麻	四三九	西白河	一九	田村	九七九
石城	五三	双葉	五〇	相馬	二八五
八五、一九二圓					
信夫	二、九〇〇	伊達	二、五六〇	安積	二、四〇〇
耶麻	八、四六六	西白河	五九六	田村	五二、九〇〇
石城	二、六五〇	双葉	一、八五〇	相馬	一〇、八七〇
組合・個人					
信夫	組合・個人	伊達	組合・個人	安積	個人
耶麻	個人	田村	個人	石城	個人
双葉	個人	相馬	個人		
j (イ) 一六			k (イ) 一五	(ロ) 一	

第七節 茨城縣

一、概観

織	一七五	年産額	一、二〇二、八九〇圓
金	五		二四、六三八圓
化	一〇二		一〇、五一、五九五圓
機	一〇		一七、九五五圓
窯	二九		六三、二二五圓
木	二四〇		一、一四六、〇〇一圓
食	一、四九四		二、三二四、二六〇圓
雜	七九七		三八六、三九九圓
木	八〇四		五二一、三七二圓
計	三、六五六		六、七三八、三三五圓

二、纖維工業

生	一〇六	年産額	七七二、一九六圓
絹	一		六、四七〇圓
絹織物	一		八六、〇六一圓
結城紬	一五		一六、二二二圓
結城紬	一		三〇五、九七三圓
紬紡績	一四		四、七四五圓
絹織物及絹紡績	二		五、〇〇〇圓
製絲業	一		六、二二三圓
製綿業	四		一、二〇二、八九〇圓
染色業	一七五		
計			
a 一新	一町		
e 結城	一戸		
e 結城	一戸		
g 結城	七七二、一九六圓		
i 結城	株式會社		
d (ロ) 一		k (ロ) 一	横濱
a 舊四	一村		
b 三町	一町		
e 新治	一町		
d 一六九戸	一		
e 新治	一		
f 四一九、四七二圓	一		
g 新治	六、四七〇		
h 組合・個人	筑波		
e 新治	個人		
j (イ) 一	(ロ) 三		
		k (イ) 一	(ロ) 三

製	一	村	
e 舊一	一	村	
e 多賀	五、〇〇〇圓		
i 多賀	個人		
e 多賀	個人		
j (ロ) 一			

k (イ) 一

染	三	村	
a 舊三	二	村	
b 新治	一	村	
c 新治	一	村	
d 新治	三	村	
e 新治	三	村	
f 六、二二三圓			
g 新治	五、八七三		
h 新治	個人		
i 新治	個人		
j (イ) 三			

三、金屬

銀	四	年産額	二一、六三八圓
鐵	一		三、〇〇〇圓
計	五		二四、六三八圓
a 舊三	二	村	
b 一町	一	村	
c 多賀	一	村	
e 多賀	一	村	
j (イ) 一			

茨城縣

五	二	行方	三
d 多賀	二	行方	三
e 多賀	二、六三八圓		
f 多賀	二〇、〇〇〇		
g 多賀	個人		
h 個人	個人		
i 多賀	個人		
j (イ) 三			
		k (イ) 三	

四、機械

農具(稻摺器・製麵機)	五	年産額	一四、六〇〇圓
車輛(荷車・牛馬車)	三		九五五圓
船	二		二、四〇〇圓
計	一〇		一七、九五五圓
a 新一	二	村	
b 六村	一	村	
c 那珂	一	村	
d 一〇戸	四	行方	
e 那珂	一	行方	
f 直壁	一	行方	
g 一七、九五五圓			
h 那珂	一、〇五五		
i 直壁	二、〇〇〇		
j 個人	個人		
k 個人	個人		
l 個人	個人		
m 個人	個人		
n 個人	個人		
o 個人	個人		
p 個人	個人		
q 個人	個人		
r 個人	個人		
s 個人	個人		
t 個人	個人		
u 個人	個人		
v 個人	個人		
w 個人	個人		
x 個人	個人		
y 個人	個人		
z 個人	個人		

(イ)六

五、化學工業

内容別	生産戸数	年産額
魚油	四〇	三一八、〇〇〇圓
鯨油	三〇	六〇四、〇〇〇圓
鯨油	一〇	八三、〇〇〇圓
鯨油	二	六、三九一圓
鯨油	二	三〇〇圓
鯨油	一	一五四圓
鯨油	一	五、四〇〇圓
鯨油	一	三、四三〇圓
鯨油	一	一、〇五一、五九五圓
計	一〇二	

六、窯業

内容別	生産戸数	年産額
瓦	四	一、一〇〇圓
陶器	二四	四〇、四二五圓
コンクリート製品	一	二一、七〇〇圓
計	二九	六三、二二五圓

七、木工業

内容別	生産戸数	年産額
製材	一三	八〇三、九六三圓
製品	二七	三四二、〇三八圓
計	二四〇	一、一四六、〇〇一圓

内容別

内容別	生産戸数	年産額
新二	三二	
一〇町	二四	
東茨城	二	
久慈	一	
阿波	一	
北相馬	二	
一、一五二、〇〇一圓		
東茨城	一七、五八〇	
久慈	三九〇、四二三	
阿波	一五、〇〇〇	
北相馬	七、一六四	
計	三四	二四 (イ) 一〇 (ロ) 一〇

八、木炭業

内容別	生産戸数	年産額
新六	八〇四	
舊三五	三五	
計	八三九	五二一、三三二圓

九、食料工業

内容別	生産戸数	年産額
酒類	三一	一、〇七四、一八九圓
醬油及味噌	三一	三三〇、八〇三圓
麵粉	五	一、八七〇圓
澱粉	四九	一八三、八三六圓
計	一〇九	二五、〇〇〇圓

製麵	製菓子	製茶	農產加工	水產加工	製水	其他	計
二二	六	三五	九三六	五〇	二	九	一、四九四
九、九七五	一〇、二〇〇	一九、二四五	二一六、〇〇〇	三九〇、二四二	五九、五〇〇	三、四〇〇	二、三二四、二六〇

新五	一町	東茨城	久慈	行方	筑波	猿島	二、三二四、二六〇	東茨城	久慈	行方	筑波	猿島				
四〇	一町	一町	二町	三村	四村	六	二、三二四、二六〇	四〇〇〇	五〇	三二	七	六				
西茨城	多賀	稻敷	眞壁	北相馬	西茨城	多賀	久慈	行方	筑波	猿島	二、三二四、二六〇	東茨城	久慈	行方	筑波	猿島
一町一村	一町三村	三村	一町一村	二町一村	西茨城	多賀	久慈	行方	筑波	猿島	二、三二四、二六〇	四〇〇〇	五〇	三二	七	六
那珂	鹿島	新治	結城	二町三村	西茨城	多賀	久慈	行方	筑波	猿島	二、三二四、二六〇	四〇〇〇	五〇	三二	七	六
四村	二村	一町二村	二町三村	二町三村	西茨城	多賀	久慈	行方	筑波	猿島	二、三二四、二六〇	四〇〇〇	五〇	三二	七	六
九六二	九六二	九六二	九六二	九六二	九六二	九六二	九六二	九六二	九六二	九六二	九六二	九六二	九六二	九六二	九六二	九六二

十、雜工業

紙袋	紙製	竹製	貝殼製	其他	計
一	六二	五〇	五〇	二〇	七九七
六、〇〇〇	三四一、八四四	八、〇八〇	一八、四〇〇	一二、〇七五	三八六、三九九

第八節 栃木縣

一、概観

久慈	組合・個人	東茨城	久慈	稻敷	計
八、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
多賀	新治	西茨城	多賀	新治	計
六五〇	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇
行方	猿島	那珂	行方	猿島	計
三四九、三二九	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額
一〇、三四五、八七四	二、八七〇、〇〇〇	三、四一〇、一八二	一、四八〇、六〇〇	八〇〇、七〇〇	二、一七五、八五六

三、金屬

新	二町	上都賀	那須	上都賀	那須	計
一	一	一	一	一	一	一
一〇、〇〇〇	二、六八四、〇〇〇	二、三九四、〇四三	一、五〇〇	二、〇〇〇	一〇、三四五、八七四	二、七二一

二、織

織物(主二人組織物)	織物(主一人組織物)	計
九八四	三五七	一、三四一
年産額	年産額	年産額
四、〇一四、七三三	二、二〇〇、〇〇〇	六、二一四、七三三

a	舊二	二町	鹽谷	一町
b	上都賀	一町	鹽谷	一町
c	上都賀	一町	鹽谷	一町
d	上都賀	一町	鹽谷	一町
e	上都賀	一町	鹽谷	一町
f	上都賀	一町	鹽谷	一町
g	上都賀	一町	鹽谷	一町
h	上都賀	一町	鹽谷	一町
i	上都賀	一町	鹽谷	一町
j	上都賀	一町	鹽谷	一町

四、機械

ボンプ	一	一	一	一
諸機	一	一	一	一
農具	一	一	一	一
金工	一	一	一	一
器具	一	一	一	一
運搬用具	一	一	一	一

a	舊二	一町	下都賀	一町
b	上都賀	一町	下都賀	一町
c	上都賀	一町	下都賀	一町
d	上都賀	一町	下都賀	一町
e	上都賀	一町	下都賀	一町
f	上都賀	一町	下都賀	一町
g	上都賀	一町	下都賀	一町
h	上都賀	一町	下都賀	一町
i	上都賀	一町	下都賀	一町
j	上都賀	一町	下都賀	一町

五、化學

製紙	二	二	二	二
石灰	一	一	一	一
榨油	一	一	一	一
米糠	一	一	一	一
懷爐	一	一	一	一

六、窯業

陶器	一	一	一	一
土石加工	一	一	一	一
セメント製品	一	一	一	一

鐵筋コンクリート加工品	一	一	一	一
瓦	一	一	一	一

a	舊六	二村	芳賀	一町	下都賀	一町
b	上都賀	一町	芳賀	一町	下都賀	一町
c	上都賀	一町	芳賀	一町	下都賀	一町
d	上都賀	一町	芳賀	一町	下都賀	一町
e	上都賀	一町	芳賀	一町	下都賀	一町
f	上都賀	一町	芳賀	一町	下都賀	一町
g	上都賀	一町	芳賀	一町	下都賀	一町
h	上都賀	一町	芳賀	一町	下都賀	一町
i	上都賀	一町	芳賀	一町	下都賀	一町
j	上都賀	一町	芳賀	一町	下都賀	一町

七、木工

製材	一	一	一	一
木製品	一	一	一	一
漆器	一	一	一	一
計	一	一	一	一

a	新二	六村	上郡賀	一町	下都賀	二村
b	上都賀	一町	上郡賀	一町	下都賀	二村
c	上都賀	一町	上郡賀	一町	下都賀	二村
d	上都賀	一町	上郡賀	一町	下都賀	二村
e	上都賀	一町	上郡賀	一町	下都賀	二村
f	上都賀	一町	上郡賀	一町	下都賀	二村
g	上都賀	一町	上郡賀	一町	下都賀	二村
h	上都賀	一町	上郡賀	一町	下都賀	二村
i	上都賀	一町	上郡賀	一町	下都賀	二村
j	上都賀	一町	上郡賀	一町	下都賀	二村

八、製炭

煉炭	一	一	一	一
木炭	一	一	一	一
計	一	一	一	一

九、食料

内容別	生産戸数	年産額
酒類	一三	四六一、四八〇圓
醬油及味噌類	二六	六八二、二九七圓
製粉	四九	四三、一〇六圓
製麵	七三	一一、〇三〇圓
製菓子	一〇〇	三四一、〇〇〇圓
製菓	五五	二一、〇〇〇圓
製糖	七三	四〇、〇五〇圓
其他	三八九	一、六九九、九六三圓
計		
新二	二三村	
舊二九		
合計	一町五村	芳賀 一町三村

十、雜工業

内容別	生産戸数	年産額
紙	一	一〇、一〇〇圓
提燈	七	四、二〇〇圓
麵粉	一七	一六七、一二四圓
藥品	一七	一二、六五〇圓
香煙	四六	三、一〇〇圓
其他	一三〇	一〇七、六六〇圓
計	二九一五	一五〇、九〇〇圓
新二		
舊一四		
合計		四五五、七三四圓

第九節 群馬縣

一、概観

産品	生産戸数	年産額
織	一、三〇八	二、六一七、六一二圓
金	一	五〇、〇〇〇圓
化學	一一一	一、三四二、一五〇圓
機械	一一	三、〇〇〇圓
窯業	五七	一一五、九〇〇圓

二、織

内容別	生産戸数	年産額
製絲	一三三	一八一、九九四圓
製雜	一八九	九五〇、二七五圓
食料	九七五	二六、五四八圓
雜工	一、五八七	一、〇二四、七六二圓
計	五、四五二	六三三、二四一圓



g	勢多	三〇一	群馬	一、二一、五〇〇	多野	二九〇、三五〇
f	北甘樂	二五、〇〇〇	碓氷	二八〇、八六一	佐波	九八、一〇〇
e	新田	一四八、〇〇〇	山田	六〇〇、〇〇〇	邑樂	七〇、五〇〇
d	會社・組合・個人					
c	勢多	個人	群馬	會社・組合・個人		
b	多野	組合・個人	北甘樂	組合	碓氷	會社・組合
a	佐波	個人	新田	個人	山田	個人
j	邑樂	個人				
i	(イ)	二〇				
h	(ロ)	一				

### 三、金屬

g	新田	一村	年産額	五〇、〇〇〇圓
f	群馬	三戸		
e	同	五〇、〇〇〇圓		
d	同	個人		
c	同	個人		
b	同	個人		
a	同	個人		
j	(イ)	一		
i	(ロ)	一		

### 四、機械

g	新田	一村	年産額	三、〇〇〇圓
f	群馬	一村		
e	同	一村		
d	同	一村		
c	同	一村		
b	同	一村		
a	同	一村		
j	(イ)	一		
i	(ロ)	一		

### 五、化學

d	群馬	一村	年産額	九五〇圓
f	群馬	三、〇〇〇圓		
h	群馬	農事實行組合		
j	(イ)	一		
i	(ロ)	一		

### 六、窯業

g	群馬	一村	年産額	一〇〇、〇〇〇圓
f	群馬	一村		
e	群馬	一村		
d	群馬	一村		
c	群馬	一村		
b	群馬	一村		
a	群馬	一村		
j	(イ)	一		
i	(ロ)	一		

### 七、木工業

g	新田	一村	年産額	一五六、三五四圓
f	北甘樂	一村		
e	北甘樂	一村		
d	北甘樂	一村		
c	北甘樂	一村		
b	北甘樂	一村		
a	北甘樂	一村		
j	(イ)	一		
i	(ロ)	一		

### 八、製炭

g	新田	一村	年産額	一〇一八、七六二圓
f	北甘樂	一村		
e	北甘樂	一村		
d	北甘樂	一村		
c	北甘樂	一村		
b	北甘樂	一村		
a	北甘樂	一村		
j	(イ)	一		
i	(ロ)	一		

g	新田	一村	年産額	一八、九四四圓
f	北甘樂	一村		
e	北甘樂	一村		
d	北甘樂	一村		
c	北甘樂	一村		
b	北甘樂	一村		
a	北甘樂	一村		
j	(イ)	一		
i	(ロ)	一		

g	新田	一村	年産額	一、〇二四、七六二圓
f	北甘樂	一村		
e	北甘樂	一村		
d	北甘樂	一村		
c	北甘樂	一村		
b	北甘樂	一村		
a	北甘樂	一村		
j	(イ)	一		
i	(ロ)	一		





兒玉	北葛飾	北足立	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾
二	二一六、六九八圓	一〇、〇〇〇	四、六〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇
大里	比企	大里	比企	大里	比企	大里	比企	大里	比企
五〇	四四、〇〇〇	一一二、九八二	一、八〇〇	南埼玉	三九、八一六	秩父	一、八〇〇	南埼玉	一〇
南埼玉	秩父	南埼玉	秩父	南埼玉	秩父	南埼玉	秩父	南埼玉	秩父
一〇	一、八〇〇	三九、八一六	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇

七、木 工業

製材	製材	製材	製材	製材	製材	製材	製材	製材	製材
八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六
年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額
八二七、〇九七圓	六三六、二七五圓	一、四六三、三七二圓	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一

新三	六町	北足立	秩父	北埼玉	北足立	秩父	北埼玉	北足立	秩父
二二	四村	一四	二五	二	二五	二	二五	二	二五
入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間
二町五村	二町五村	比企	比企	比企	比企	比企	比企	比企	比企
一町一村	一町一村	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾
三村	三村	三村	三村	三村	三村	三村	三村	三村	三村

八、木 炭

北足立	秩父	北埼玉	北足立	秩父	北埼玉	北足立	秩父	北埼玉	北足立
八四	一三	七	八四	一三	七	八四	一三	七	八四
入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間
二八七	二〇二	一九	二八七	二〇二	一九	二八七	二〇二	一九	二八七
比企	比企	比企	比企	比企	比企	比企	比企	比企	比企
三六	一八	一九	三六	一八	一九	三六	一八	一九	三六

北足立	秩父	北埼玉	北足立	秩父	北埼玉	北足立	秩父	北埼玉	北足立
八四	一三	七	八四	一三	七	八四	一三	七	八四
入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間
二八七	二〇二	一九	二八七	二〇二	一九	二八七	二〇二	一九	二八七
比企	比企	比企	比企	比企	比企	比企	比企	比企	比企
三六	一八	一九	三六	一八	一九	三六	一八	一九	三六

九、食 料

酒類	醬油及味噌類	製粉類	麵粉類	茶類	菓子類	生煎類	菓類	食品類	農産加工類	雜糧類
一四	二〇一	一七	二〇	三四二	二五	二二	一一	一六	一四	六八五
年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額
六五八、二五〇圓	一一〇、六二五圓	六、六〇〇圓	七四、一五〇圓	四二、四七〇圓	二一、八〇七圓	一一〇、〇〇〇圓	一〇、四一〇圓	二〇、〇〇〇圓	二、六五五圓	一、五〇〇圓

新三	六町	北足立	秩父	北埼玉	北足立	秩父	北埼玉	北足立	秩父
二九	四村	一四	二五	二	二五	二	二五	二	二五
入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間	入間
二町七村	二町七村	比企	比企	比企	比企	比企	比企	比企	比企
一町三村	一町三村	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾	北葛飾
二村	二村	二村	二村	二村	二村	二村	二村	二村	二村

十、雜 工 業

紙製品(團扇其他)	靴製品	竹製品	鹿毛皮加工	皮革製品	玩具	襪製品	被服製品	製糖	製糖
二二	一	三四	一一	一一	九	七七	八〇	一一	一八七九
年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額	年産額
二〇、二九〇圓	七、〇〇〇圓	二五八、六五三圓	三二、四六〇圓	四、七〇〇圓	一四、〇〇〇圓	三三、五〇〇圓	二、四〇〇圓	一三、六〇〇圓	五〇〇、〇〇〇圓

內容別		新四		舊二四	
a	北足立	一町四村	入間	一町三村	比企
b	秩父	一町二村	大里	一町	北埼玉
c	南埼玉	一町四村	北葛飾	一町二村	北埼玉
d	一、八七九戸				
e	北足立	七四	入間	一五五	比企
f	秩父	二九	大里	七	北埼玉
g	南埼玉	六八六	北葛飾	七〇〇	北埼玉
h	八八六、九九三圓				
i	北足立	八八六、九九三圓	入間	二七、四〇〇	比企
j	秩父	七、一八〇	大里	一、〇〇〇	北埼玉
南埼玉二二五、一八〇 北葛飾二二〇、六五三					
農會・組合・個人					
i	北足立	組合・個人	入間	農會・個人	比企
h	秩父	個人	大里	個人	北埼玉
g	南埼玉	個人	北葛飾	個人	組合・個人
f	五、〇九〇圓				
e	五、〇九〇圓				
d	五、〇九〇圓				
c	五、〇九〇圓				
b	五、〇九〇圓				
a	五、〇九〇圓				
年産額					
二二七、三七七圓					
五、〇九〇圓					

### 第十一節 千葉縣

#### 一、概観

全織	生産戸數	年産額
屬維	二七	二二七、三七七圓
	二〇	五、〇九〇圓

#### 二、織

內容別		新四		舊二四	
a	北足立	一町二村	印旛	一町二村	香取
b	東葛飾	一町	安房	一村	香取
c	東葛飾	二七戸	印旛	六	香取
d	東葛飾	二七戸	安房	三	香取
e	東葛飾	二七戸	印旛	六	香取
f	東葛飾	二七、三七七圓	印旛	五三、六九〇	香取
g	東葛飾	九九、一九八	安房	三〇、〇〇〇	香取
h	東葛飾	九九、一九八			
i	東葛飾	九九、一九八			
j	東葛飾	九九、一九八			
年産額					
八〇、三八〇圓					
九五、七三四圓					
二、〇六五圓					
一、〇〇〇圓					
四八、一九八圓					
二二七、三七七圓					

#### 三、金屬

內容別		新八		舊八	
a	東葛飾	二村	印旛	一村	山武
b	東葛飾	一村	印旛	二村	山武
c	東葛飾	一村	印旛	二村	山武
d	東葛飾	一村	印旛	二村	山武
e	東葛飾	三	印旛	一	山武
f	東葛飾	五	印旛	一	山武
g	東葛飾	二	印旛	一	山武
h	東葛飾	二	印旛	一	山武
i	東葛飾	二	印旛	一	山武
j	東葛飾	二	印旛	一	山武
年産額					
一、二六〇圓					
一、二六〇圓					
五〇〇圓					
五〇〇圓					
一、五七〇圓					
五、〇九〇圓					

#### 四、機械

內容別		新六		舊六	
a	東葛飾	四村	印旛	一村	香取
b	東葛飾	一村	印旛	一村	香取
c	東葛飾	一村	印旛	一村	香取
d	東葛飾	三	印旛	三	香取
e	東葛飾	一	印旛	一	香取
f	東葛飾	三、四、二〇三圓	印旛	三、五〇〇	香取
g	東葛飾	一、〇〇三	印旛	三、五〇〇	香取
h	東葛飾	六〇〇	印旛	四、六〇〇	香取
i	東葛飾	六〇〇	印旛	四、六〇〇	香取
j	東葛飾	六〇〇	印旛	四、六〇〇	香取
年産額					
二八、〇〇〇圓					
四、六〇〇圓					
一、六〇三圓					
三四、二〇三圓					

五、化學

製油	魚油	松根油	蠟燭	肥料(イワシ)	沃度
1	50	1	20	1	74
年産額	400圓	20,526圓	480圓	150,000圓	400,000圓
				140,000圓	351,436圓

生産戸數

内容別	新	舊
a 五村	1	4
b 市原	1	1
c 安房	1	1
d 一七戸	1	1
e 市原	1	1
f 三五、七〇七圓	1	1
g 市原二七、七二二	1	1
h 安房一、五〇〇	1	1
i 市原	1	1
j (イ) 一 (ロ) 四	1	1

七、木工

製材	木製品	家具
1	50	28
年産額	233,518圓	1,262,408圓
		1,372,990圓

生産戸數

内容別	新	舊
a 五村	1	2
b 市原	1	1
c 安房	1	1
d 一七戸	1	1
e 市原	1	1
f 三五、七〇七圓	1	1
g 市原二七、七二二	1	1
h 安房一、五〇〇	1	1
i 市原	1	1
j (イ) 一 (ロ) 四	1	1

六、窯業

瓦	セメント瓦
1	1
年産額	35,207圓
	500圓
	35,707圓

生産戸數

生産戸數

内容別	新	舊
a 二八七戸	1	2
b 千葉	1	1
c 印旛	1	1
d 香取	1	1
e 安房	1	1
f 一、五〇九、六五五圓	1	1
g 千葉一六、三五五	1	1
h 印旛六三、〇三六	1	1
i 香取八、三一〇	1	1
j (イ) 三〇 (ロ) 五	1	1

八、製炭

内容別	新	舊
a 一町	1	1
b 千葉	1	1
c 印旛	1	1
d 香取	1	1
e 安房	1	1
f 一、五〇九、六五五圓	1	1
g 千葉一六、三五五	1	1
h 印旛六三、〇三六	1	1
i 香取八、三一〇	1	1
j (イ) 三〇 (ロ) 五	1	1

生産戸數

生産戸數

内容別	新	舊
a 五村	1	1
b 市原	1	1
c 安房	1	1
d 一七戸	1	1
e 市原	1	1
f 三五、七〇七圓	1	1
g 市原二七、七二二	1	1
h 安房一、五〇〇	1	1
i 市原	1	1
j (イ) 一 (ロ) 四	1	1

九、食料

酒類	醬油及味噌類	麵粉類	澱粉類(主に甘藷澱粉)	雜糧	羊羹	菓子類(主に煎餅)	茶
1	47	1	1	1	1	1	1
年産額	378,205圓	14,627,990圓	36,625圓	1,200圓	540,250圓	40,000圓	77,834圓
							14,542圓

生産戸數

類別	內容	生産戸數	年産額
農産物加工	三六、〇〇〇圓	六	三六、〇〇〇圓
	九六〇、一九五圓	三	九六〇、一九五圓
乳製品	三二二、六〇六圓	三	三二二、六〇六圓
	七、八七三圓	〇	七、八七三圓
水産物加工	四二八	〇	四二八
其他	七八八	〇	七八八

十、雜工業

類別	內容	生産戸數	年産額
紙製品(團扇)	一	一	一、二〇〇圓
	三、五四九	一	三、五四九圓
竹製品	一四〇	一	一八、八四〇圓
	九	一	五、四七二圓
革製品(製靴)	一	一	一、七〇〇圓
	五二二	一	八〇、三七〇圓
編網(漁網)	一	一	一、二〇〇圓
	四、二二四	一	三三六、五〇〇圓

類別	內容	生産戸數	年産額
新三	舊三九	三	三九
	三七村	三	三七
五町	市原	一	一
	東葛飾	一	一
千葉	二村	二	二
	山武	二	二
印旛	一町四村	四	四
	匝瑳	四	四
香取	六村	六	六
	夷隅	六	六
君津	一村	一	一
	安房	一	一
千葉	七八八戸	七	七八八
	市原	七	七八八
印旛	四三	四	四三
	長生	四	四三
香取	二二	二	二二
	海上	二	二二
君津	二	二	二
	夷隅	二	二
千葉	一七、八六四、二〇圓	一	一七、八六四、二〇圓
	四九、〇〇〇	一	四九、〇〇〇圓
東葛飾	一四、五〇七、六四七	一	一四、五〇七、六四七圓
	七三二、九八一	一	七三二、九八一圓
長生	二〇、〇〇〇	一	二〇、〇〇〇圓
	二五〇、一七一	一	二五〇、一七一圓
香取	五二二、〇八五	一	五二二、〇八五圓
	四四七、四二五	一	四四七、四二五圓
匝瑳	七〇、七一九	一	七〇、七一九圓
	五、〇〇〇	一	五、〇〇〇圓
夷隅	二二八、六四七	一	二二八、六四七圓
	九六三、一九五	一	九六三、一九五圓
千葉	會社・組合・共同・個人	一	一
	市原	一	一
印旛	個人	一	一
	東葛飾	一	一
香取	個人	一	一
	山武	一	一
君津	個人	一	一
	安房	一	一
千葉	會社・組合・共同・個人	一	一
	市原	一	一
印旛	個人	一	一
	東葛飾	一	一
香取	個人	一	一
	山武	一	一
君津	個人	一	一
	安房	一	一
千葉	會社・組合・共同・個人	一	一
	市原	一	一

類別	內容	生産戸數	年産額
新三	舊二七	二	二七
	二七村	二	二七
七町	市原	一	一
	東葛飾	一	一
千葉	一町三村	三	三
	山武	三	三
印旛	一町三村	三	三
	匝瑳	三	三
香取	二村	二	二
	海上	二	二
君津	二村	二	二
	夷隅	二	二
千葉	四二	四	四二
	長生	四	四二
印旛	一八五	一	一八五
	海上	一	一八五
香取	六八	一	六八
	夷隅	一	六八
千葉	三三六、五〇〇圓	一	三三六、五〇〇圓
	三、五〇〇	一	三、五〇〇圓
市原	一〇、九二九	一	一〇、九二九圓
	東葛飾	一	一〇、九二九圓

第十二節 東京府

一、概観

類別	內容	生産戸數	年産額
印旛	四、一八〇	四	四、一八〇
	長生	四	四、一八〇
香取	一四、六七二	一	一四、六七二圓
	海上	一	一四、六七二圓
君津	四、六五〇	一	四、六五〇圓
	夷隅	一	四、六五〇圓
千葉	市原	一	一
	東葛飾	一	一
印旛	個人	一	一
	山武	一	一
香取	個人	一	一
	匝瑳	一	一
君津	個人	一	一
	安房	一	一
千葉	會社・組合・共同・個人	一	一
	市原	一	一
印旛	個人	一	一
	東葛飾	一	一
香取	個人	一	一
	山武	一	一
君津	個人	一	一
	安房	一	一
千葉	會社・組合・共同・個人	一	一
	市原	一	一

類別	內容	生産戸數	年産額
生絲	六五	一	一、三九六、〇三六圓
	一	一	一、三九六、〇三六圓
蠶絲	一	一	七五、〇五一圓
	一	一	七五、〇五一圓
玉絲	一	一	一五五、〇八六圓
	一	一	一五五、〇八六圓
織物	一〇、〇〇〇圓	一	一〇、〇〇〇圓
	一〇、〇〇〇圓	一	一〇、〇〇〇圓
絹織物	一〇、八六〇、〇〇〇圓	一	一〇、八六〇、〇〇〇圓
	一〇、八六〇、〇〇〇圓	一	一〇、八六〇、〇〇〇圓
綿織物	五九二、〇四三圓	一	五九二、〇四三圓
	五〇〇、四五四圓	一	五〇〇、四五四圓
染色	一九三、四〇五圓	一	一九三、四〇五圓
	一〇、〇〇〇圓	一	一〇、〇〇〇圓
製綿	五五五圓	一	五五五圓
	一〇、〇〇〇圓	一	一〇、〇〇〇圓
計	四七七	一	四、一〇八、六三〇圓
	一	一	四、一〇八、六三〇圓

類別	內容	生産戸數	年産額
織	舊一二	一	一二
	一三村	一	一三
二町	南多摩	一	一
	北多摩	一	一
八丈島	三村	三	三
	南多摩	三	三
西多摩	四七七戸	四	四七
	二六〇	二	二六
八丈島	一三二	一	一三
	南多摩	一	一三
西多摩	二六〇	二	二六
	北多摩	二	二六
四、一〇八、六三〇圓	一	一	一〇八、六三〇圓
	南多摩	一	一〇八、六三〇圓
西多摩	三、〇三四、三八六	三	三、〇三四、三八六圓
	北多摩	三	三、〇三四、三八六圓
北多摩	九三二、二八七	九	九三二、二八七圓
	八丈島	九	九三二、二八七圓
組合・個人	個人	一	一
	南多摩	一	一
西多摩	個人	一	一
	北多摩	一	一
八丈島	個人	一	一
	北多摩	一	一
千葉	會社・組合・共同・個人	一	一
	市原	一	一
印旛	個人	一	一
	東葛飾	一	一
香取	個人	一	一
	山武	一	一
君津	個人	一	一
	安房	一	一
千葉	會社・組合・共同・個人	一	一
	市原	一	一

類別	內容	生産戸數	年産額
新三	舊一二	一	一二
	一三村	一	一三
二町	南多摩	一	一
	北多摩	一	一
八丈島	三村	三	三
	南多摩	三	三
西多摩	四七七戸	四	四七
	二六〇	二	二六
八丈島	一三二	一	一三
	南多摩	一	一三
西多摩	二六〇	二	二六
	北多摩	二	二六
四、一〇八、六三〇圓	一	一	一〇八、六三〇圓
	南多摩	一	一〇八、六三〇圓
西多摩	三、〇三四、三八六	三	三、〇三四、三八六圓
	北多摩	三	三、〇三四、三八六圓
北多摩	九三二、二八七	九	九三二、二八七圓
	八丈島	九	九三二、二八七圓
組合・個人	個人	一	一
	南多摩	一	一
西多摩	個人	一	一
	北多摩	一	一
八丈島	個人	一	一
	北多摩	一	一
千葉	會社・組合・共同・個人	一	一
	市原	一	一
印旛	個人	一	一
	東葛飾	一	一
香取	個人	一	一
	山武	一	一
君津	個人	一	一
	安房	一	一
千葉	會社・組合・共同・個人	一	一
	市原	一	一

二、織

三、金 屬

計		生産戸數	年産額
鐵	三	三	二五二、一四三圓
銅	二	二	三五、四八三圓
鉛	一	一	一、〇〇〇圓
錫	一	一	二〇、〇〇〇圓
鋅	一	一	三〇八、六二六圓

內容別

a	新三	三村	三
b	北多摩	三村	二
c	北多摩	三村	一
d	北多摩	八	一
e	北多摩	八	一
f	三〇八、六二六圓		
g	北多摩	三〇八、六二六	
h	北多摩	株式・合資會社・個人	
i	北多摩	株式・合資會社・個人	
j	(イ) 三	k (ロ) 三	

四、機 械

計		生産戸數	年産額
製	二	二	二、〇〇〇、〇〇〇圓
機	五	五	一五〇、〇〇〇圓
械	七	七	二、一五〇、〇〇〇圓

內容別

a	北多摩	二町	二
b	北多摩	八村	二
c	北多摩	八村	一
d	北多摩	二一戸	一
e	北多摩	八	一
f	三〇三、二三四圓		
g	北多摩	二六五、二六四	
h	北多摩	三宅島	
i	北多摩	三宅島	
j	(イ) 五	(ロ) 三	

五、化 學

計		生産戸數	年産額
化學工業	一	一	七七、二三一圓
藥品工業	一	一	五七、〇〇〇圓
工業藥品	一	一	一三一、〇三三圓
カゼイン	一	一	三、九〇〇圓
植物油、樟油	一	一	三四、〇六〇圓

內容別

新二 舊六

六、木 工

計		生産戸數	年産額
木製	四	四	一三、六五五圓
製	一	一	三六七、九八〇圓
材	八	八	四八一、六三五圓

內容別

a	新三	舊一〇	一〇
b	一町	一二村	二
c	西多摩	一町三村	三
d	大島	二村	二
e	西多摩	一四	一
f	大島	三二八	三
g	西多摩	三二〇、六三〇	
h	北多摩	一〇一、二二五	
i	三宅島	一、〇〇〇	
j	(イ) 一三	k (イ) 一〇	

七、製 炭

計		生産戸數	年産額
製	六	六	二二三、九五八圓

內容別

新二 舊六

八、食 料

計		生産戸數	年産額
酒類(清酒)	五	五	二三〇、三六七圓
甘藷酒及焼酎	五	五	四七、五二〇圓
醬油	五	五	二六、二三〇圓
蕎麥製粉	二	二	五、〇〇〇圓
澱粉及製麵	二	二	一、〇〇〇圓
煉乳及バター	三	三	五八、八五五圓
菓子	二	二	一九五、二〇〇圓
製茶	二	二	三、五〇〇圓
罐詰	三	三	一、五八一圓
水産物加工	一	一	二、八四八圓



農産物加工 二四  
製水 八四一  
計 四、五五〇圓  
二八、〇〇〇圓  
六七四、二三二圓

内容別	生産戸数	年産額
a 舊一四	一三村	六三、二三〇
b 一町	南多摩	五六、〇三六
c 西多摩	三村	二四一、〇〇〇
d 大島	二村	六三、二三〇
e 西多摩	三宅島	五六、〇三六
f 大島	二村	二四一、〇〇〇
g 西多摩	三宅島	五六、〇三六
h 大島	二村	二四一、〇〇〇
i 西多摩	三宅島	五六、〇三六
j 大島	二村	二四一、〇〇〇

香口製造 五五  
計 八、〇〇〇圓  
六四四五〇圓

内容別	生産戸数	年産額
a 舊七	二村	九〇三、二四四圓
b 七村	南多摩	一、三二〇、六九六圓
c 西多摩	一八丈島	一、二八〇、九三六圓
d 西多摩	八丈島	二、一八〇、〇〇〇圓
e 西多摩	八丈島	二、一八〇、〇〇〇圓
f 西多摩	八丈島	二、一八〇、〇〇〇圓
g 西多摩	八丈島	二、一八〇、〇〇〇圓
h 西多摩	八丈島	二、一八〇、〇〇〇圓
i 西多摩	八丈島	二、一八〇、〇〇〇圓
j 西多摩	八丈島	二、一八〇、〇〇〇圓

第十三節 神奈川県

一、概観

機械	生産戸数	年産額
織	一六四	九〇三、二四四圓
金	一〇	一、三二〇、六九六圓
械	五	一、四七〇圓

二、織

化学 八  
木工 二六二  
食料 二、三二一  
雑炭 一、三七六  
製炭 六、一四  
計 四、七六〇

内容別	生産戸数	年産額
a 新一	七村	三、一七、一五〇圓
b 二町	七村	一、二九一、九二二圓
c 高座	一町二村	六、六三九、三五六圓
d 高座	一町	七、六五、二二〇圓
e 高座	一町	二、一〇、七八六圓
f 高座	一町	一、四三九、七二四圓
g 高座	一町	五五八、六〇〇圓
h 高座	一町	八、七五五圓
i 高座	一町	五五、七二〇圓
j 高座	一町	八、六四九圓
k 高座	一町	二五〇、〇〇〇圓
l 高座	一町	六、二〇〇圓
m 高座	一町	一、二〇〇圓
n 高座	一町	一、二〇〇圓
o 高座	一町	二、〇〇〇圓
p 高座	一町	九〇三、二四四圓

三、金

鍛冶 五  
鐵工 四  
鐵子 一〇  
計 一〇

内容別	生産戸数	年産額
a 新一	四村	五、六八、〇〇〇圓
b 一町	四村	七、三、一二四圓
c 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
d 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
e 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
f 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
g 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
h 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
i 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
j 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
k 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
l 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
m 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
n 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
o 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓
p 三浦	一町	一、二八〇、〇〇〇圓

四、機械

制車製造		生産戸数		年産額	
計	五	三	二	七二〇圓	七五〇圓
計	一、四七〇圓				一、四七〇圓

内容別

内容別	生産戸数	年産額
a 新二	一	一
b 二村	一	一
c 三浦	一	一
d 五戸	二	二
e 三浦	二	二
f 一、四七〇圓	七二〇	七五〇
g 三浦	七二〇	七五〇
h 個人	個人	個人
i 三浦	個人	個人
j (イ) 一 (ロ) 一	個人	個人

五、化学

製紙		生産戸数		年産額	
計	八	一	一	一三〇、〇〇〇圓	一三〇、〇〇〇圓
計	一、二九一、九二二圓				一、二九一、九二二圓

内容別

内容別	生産戸数	年産額
a 新二	八	八
b 三町	一	一
c 鎌倉	一	一
d 二六二戸	三五	三五
e 鎌倉	三五	三五
f 愛甲	二	二
g 鎌倉	二	二
h 個人	個人	個人
i 愛甲	個人	個人
j (イ) 一 (ロ) 一	個人	個人

七、製炭

黒木炭		生産戸数		年産額	
計	六	一〇	一〇	二二〇、二八六圓	二二〇、二八六圓
計	六、六三九、三五六圓				六、六三九、三五六圓

内容別

内容別	生産戸数	年産額
a 新二	六	六
b 二町	一	一
c 都筑	二	二
d 足柄上	三	三
e 津久井	四	四
f 六、四四戸	三九	三九
g 都筑	三九	三九
h 足柄上	一三八	一三八
i 津久井	一三八	一三八
j (イ) 一 (ロ) 一	個人	個人

六、木工

製材		生産戸数		年産額	
計	七	七	七	七三、八七二圓	七三、八七二圓
計	一、二八〇、五〇〇圓				一、二八〇、五〇〇圓

内容別

内容別	生産戸数	年産額
a 新二	七	七
b 三町	一	一
c 鎌倉	一	一
d 二六二戸	三五	三五
e 鎌倉	三五	三五
f 愛甲	二	二
g 鎌倉	二	二
h 個人	個人	個人
i 足柄下	個人	個人
j (イ) 二 (ロ) 三 (イ) 一 (ロ) 四	個人	個人

八、食料

酒類		生産戸数		年産額	
計	八	八	八	二、七八三、九七五圓	二、七八三、九七五圓
計	二、六二二、二八五圓				二、六二二、二八五圓

内容別

内容別	生産戸数	年産額
a 新二	八	八
b 九町	一	一
c 桶樹	一	一
d 中郡	一	一
e 愛甲	一	一
f 二、三二一戸	七	七
g 桶樹	七	七
h 中郡	一	一
i 愛甲	一	一
j (イ) 一 (ロ) 一	個人	個人

愛甲五	津久井	二四七			
橋樹	三、五〇〇	鎌倉	一、三六五、〇〇〇		
高座	三、一三四、五三五	中郡	四四三、二〇〇		
足柄上	一五五、三四九	足柄下	一、四九三、五〇〇		
愛甲	三九、五六〇	津久井	四、七一二		
會社・個人		高座	會社・個人		
橋樹	個人	足柄上	個人		
中郡	個人	津久井	個人		
愛甲	個人	津久井	個人		
(イ)一九	(ロ)四	(イ)一六	(ロ)五	(ハ)二	

九、雜

澤製	生産戸數	年産額
竹製	一、〇五五	四七四、三八〇圓
竹製	一七九	六七、四四〇圓
竹製	一五	七、二〇〇圓
佛製	二	四〇、〇〇〇圓
貝製	八	二、五〇〇圓
海草加工、飼料類	一一五	一〇二、〇〇〇圓
芥類	一三五	八、七〇〇圓
計	一、三七六	六三、〇〇〇圓
新四		七六五、二二〇圓
舊二		

第十四節 新潟縣

織維	生産戸數	年産額
金屬	六六四	一一、九七六、二〇一圓
化學	四九三	三、六一三、一〇〇圓
機械	三三〇	五一〇、〇九九圓
窯業	一〇	二九、七八一圓
木工業	二四	二四、九七三圓
食料	二〇〇	五九四、四四四圓
計	四七三	二、七八二、二八圓

一、概 観

津久井	一村	鎌倉	一八	高座	一、〇二六
三浦	二三	足柄下	二一	愛甲	二五六
足柄上	二九				
津久井	三				
三浦	三、七四〇	鎌倉	四七四、二〇〇	高座	一六〇、七五〇
足柄上	一、八三〇	足柄下	四四、〇〇〇	愛甲	六八、五〇〇
津久井	一、二〇〇				
組合・個人		津久井	個人		
三浦	個人	鎌倉	個人		
足柄上	個人	足柄下	個人		
津久井	個人	津久井	個人		
(イ)一三	(ロ)二	(イ)九	(ロ)五	(ハ)一	

二、織

雜製	生産戸數	年産額
炭計	二、四一九	六二四、〇一七圓
生絲(製絲)	八四	六三五、一八圓
綿織	一七	一六六、〇〇〇圓
絲織	一一	二九一、一七圓
麻織	一二五	九〇、〇〇〇圓
和織	二	二二、〇〇〇圓
絹織	九八	一、八二二、三五〇圓
絹織	一	四一、七四四圓
人絹	一	五、〇〇〇圓
織物	一一二	六、八六七、四八圓
織物	一一〇	一四六、二五〇圓
織物	二九	七七、二二〇圓
織物	九	四三、二五圓
織物	五	五九五、二九三圓
織物	四〇	一三〇、〇〇〇圓
織物	四〇	五、〇〇〇圓
計	六六四	一一、九七六、二〇一圓

三、金 屬

鐵	生産戸數	年産額
石	一	二三、〇〇〇圓
鋼	七	一、〇〇〇圓
鋳金	七	五〇、〇〇〇圓
鑄金	七	二〇、〇〇〇圓
鍍金	八〇	二八〇、〇〇〇圓
洋食器	六四	二、二五〇、〇〇〇圓
計	一三七	

新 湯 縣	
鑄 鐵 爐 度	七〇
銅 器 度	二二二
鍛 冶 器 度	二二八
計	四九三
年 產 額	三七五、〇〇〇圓
	四二七、〇〇〇圓
	一八〇、〇〇〇圓
	七、一〇〇圓
	三、六一三、一〇〇圓

內 容 別	
a 新 一 村	五 村
b 二 町	一 村
c 北 浦 原	一 村
d 南 魚 沼	一 町
e 佐 渡	一 町
f 北 浦 原	一 村
g 四 九 三 戶	一 村
h 佐 渡	一 村
i 北 浦 原	一 村
j 南 魚 沼	一 村
計	三〇圓
年 產 額	一六、四八一圓

車 輛 造 造	
計	一〇三二
年 產 額	三〇〇圓
	一三、〇〇〇圓
	二九、七八一圓

內 容 別	
a 一 町	四 村
b 二 町	一 村
c 北 浦 原	一 村
d 南 魚 沼	一 村
e 佐 渡	一 村
f 北 浦 原	一 村
g 四 九 三 戶	一 村
h 佐 渡	一 村
i 北 浦 原	一 村
j 南 魚 沼	一 村
計	二四
年 產 額	八〇〇圓
	二四、九七三圓

農 具	
生 產 戶 數	五
年 產 額	一六、四八一圓

五、化 學	
生 產 戶 數	一
年 產 額	三六〇、〇〇〇圓
	一三二、一〇〇圓
	九二三圓
	九、三四五圓
	一、二〇〇圓
	二、〇〇〇圓
	五、五八一圓

其 他	
計	三三〇
年 產 額	五一〇、〇九四圓

內 容 別	
a 新 一 村	八 村
b 二 町	一 村
c 北 浦 原	一 村
d 南 魚 沼	一 町
e 佐 渡	一 町
f 北 浦 原	一 村
g 四 九 三 戶	一 村
h 佐 渡	一 村
i 北 浦 原	一 村
j 南 魚 沼	一 村
計	三三〇
年 產 額	五一〇、〇九四圓

七、木 工	
生 產 戶 數	七九
年 產 額	三五二、〇一四圓
	二四三、四三〇圓
	五九四、四四四圓

內 容 別	
a 新 一 村	八 村
b 二 町	一 村
c 北 浦 原	一 村
d 南 魚 沼	一 町
e 佐 渡	一 町
f 北 浦 原	一 村
g 四 九 三 戶	一 村
h 佐 渡	一 村
i 北 浦 原	一 村
j 南 魚 沼	一 村
計	二四
年 產 額	八〇〇圓
	二四、九七三圓

六、窯 業	
生 產 戶 數	四一
年 產 額	一四、八五六圓
	三、〇〇〇圓
	二、三一七圓
	四、〇〇〇圓

瓦	
生 產 戶 數	一
年 產 額	一四、八五六圓
	三、〇〇〇圓
	二、三一七圓
	四、〇〇〇圓

新 湯 縣

新海縣

Table with columns a-j, rows for various locations like 北浦原, 南魚沼, 東頸城, etc. Includes production counts and amounts.

八、製炭

Table with columns a-j, rows for various locations like 北浦原, 南魚沼, 東頸城, etc. Includes production counts and amounts.

九、食料

Table with columns a-j, rows for various locations like 北浦原, 南魚沼, 東頸城, etc. Includes production counts and amounts.

十、雜

Table with columns a-j, rows for various locations like 北浦原, 南魚沼, 東頸城, etc. Includes production counts and amounts.

新潟縣

Table with columns a-j, rows for various locations like 北浦原, 南魚沼, 東頸城, etc. Includes production counts and amounts.



賣藥	五	二五、〇〇〇圓
製油	一	五五〇圓
製紙(和紙)	二八八	七五、四三八圓
計	三〇四	一二二、二三八圓

內容別

a 新一	舊一	一	一	一
b 二町	一〇村	一	一	一
c 上新川	一町	下新川	一	一
d 射水	一村	東礪波	五	一
e 上新川	四	下新川	六	一
f 射水	一	東礪波	二六二	一
g 上新川	二、〇〇〇	下新川	二〇、〇〇〇	一
h 射水	五〇	東礪波	五三、二七三	一
i 組合・個人	個人	下新川	個人	一
j (イ) 一〇 (ロ) 二	東礪波	產業組合・個人	西礪波	一
計	三六	年産額	二〇二、八〇〇圓	一

六、窯業

瓦	二〇	一三七、五〇〇圓
瓦陶器	一〇	五二、八〇〇圓
セメント製品	五	一一、〇〇〇圓
窯業	一	五〇〇圓
計	三六	二〇二、八〇〇圓

內容別

a 舊五	一	一	一	一
b 五村	一	西礪波	四	一
c 中新川	一	西礪波	二六	一
d 三六戸	一〇	西礪波	一五〇、〇〇〇	一
e 中新川	二〇二、八〇〇圓	西礪波	一五〇、〇〇〇	一
f 中新川	五二、八〇〇	西礪波	一五〇、〇〇〇	一
g 會社・個人	個人	西礪波	會社・個人	一
h 中新川	個人	西礪波	會社・個人	一
i (イ) 五	個人	西礪波	會社・個人	一
j (イ) 五	個人	西礪波	會社・個人	一
計	三一	年産額	三一九、二九七圓	一

七、木工

製材	二二八	二〇一、三七一圓
木製品	四〇	一一七、九二六圓
計	二六八	三一九、二九七圓

g 中新川	一、五〇〇	下新川	三〇、〇四一	婦負	三五、三〇〇
射水	七、九九〇	氷見	一四、〇〇〇	東礪波	一〇二、八六六
西礪波	二七、六〇〇	會社・組合・個人	個人	個人	個人
h 會社・組合・個人	個人	下新川	個人	婦負	個人
i 中新川	個人	氷見	個人	東礪波	組合・個人
射水	個人	西礪波	會社・個人	個人	個人
j (イ) 一八	個人	年産額	一八六、七九五圓	個人	個人

八、製炭

g 中新川	一、五〇〇	下新川	三〇、〇四一	婦負	三五、三〇〇
射水	七、九九〇	氷見	一四、〇〇〇	東礪波	一〇二、八六六
西礪波	二七、六〇〇	會社・組合・個人	個人	個人	個人
h 會社・組合・個人	個人	下新川	個人	婦負	個人
i 中新川	個人	氷見	個人	東礪波	組合・個人
射水	個人	西礪波	會社・個人	個人	個人
j (イ) 一八	個人	年産額	一八六、七九五圓	個人	個人

九、食料

g 中新川	一、五〇〇	下新川	三〇、〇四一	婦負	三五、三〇〇
射水	七、九九〇	氷見	一四、〇〇〇	東礪波	一〇二、八六六
西礪波	二七、六〇〇	會社・組合・個人	個人	個人	個人
h 會社・組合・個人	個人	下新川	個人	婦負	個人
i 中新川	個人	氷見	個人	東礪波	組合・個人
射水	個人	西礪波	會社・個人	個人	個人
j (イ) 一八	個人	年産額	一八六、七九五圓	個人	個人

酒類(清酒)	一〇	四九八、六九三圓
醬油	一四	六三、〇〇〇圓
麵粉	一	一、〇〇〇圓
製粉	一五	二、五二五圓
麵類	三六	三二、五〇〇圓
醱酵	一	八、〇〇〇圓
醸造	二	五、五〇〇圓
農産物加工	一四	三、八六〇圓
水産物加工	五一	三四、一五〇圓
菓子(節)	一一	二、〇〇〇圓
其他	四三	六、三〇〇圓
計	一八八	六五七、六二八圓

a 新一	舊一四	一	一	一
b 一町	一四村	一	一	一
c 下新川	一村	東礪波	五	一
d 氷見	一村	東礪波	一	一
e 下新川	七〇	婦負	一	一
f 氷見	三八	東礪波	五八	一
g 下新川	一、二〇〇	婦負	六〇〇	一
h 會社・組合・個人	個人	東礪波	三九五、四〇三	一
i 下新川	個人	西礪波	一三八、〇〇〇	一
j (イ) 一五	個人	東礪波	個人	一
計	三一	年産額	一四一、一四五	一

十、雜

品名	生産戸數	年産額
桑製	一、六七三	二二八、三八五圓
竹製	四九	七、九〇五圓
皮製	二四	一七、六〇〇圓
被服	一一	四、四〇〇圓
洋裝	一	一一九、〇〇〇圓
魚網	一三	二、〇〇〇圓
菅笠	四一九	一八、一二二圓
苗蓆	二二五	一〇、〇〇〇圓
其	二〇〇	四六、〇〇〇圓
計	一八〇	五四四圓
計	二、八〇〇	四五三、九五六圓

第十六節 石川縣

一、概観

品名	生産戸數	年産額
會社・組合・個人	一	三二、四二八、三七二圓
上新川 個人	一	三、五〇〇圓
射水 個人	一	一、四八五、八二二圓
西礪波 個人	一	八三三、三五八圓
東礪波 個人	一	五、八四六、五四五圓
計	一	一〇、二四、七九〇圓
計	一	四三、六五三、一二二圓

二、織

品名	生産戸數	年産額
絹織	一	一〇、三三七圓
絹織(機織)	一	二、三〇三、〇〇〇圓
絹織(手織)	一	八、三五八、三一〇圓
計	一	一〇、三三七圓

三、金

品名	生産戸數	年産額
製鐵	一	一〇、三三七圓
製鋼	一	一〇、三三七圓
計	一	一〇、三三七圓

品名	生産戸數	年産額
人絹織物(交織ヲ含ム)	九	六二二、七八〇圓
細幅織物	一〇	五九、〇〇〇圓
直田組紐及織紐	一	二八〇、〇〇〇圓
リボン織物	一	二五、〇〇〇圓
麻織物	一	五、〇〇〇圓
製織物	一	三七、九四五圓
計	二七五	三二、四二八、三七二圓

四、機械

品名	生産戸數	年産額
自轉車チェン	一	七九一、一五八圓
農具	一	七、二〇〇圓
造船	一	三五、〇〇〇圓
計	三	八三三、三五八圓

品名	生産戸數	年産額
新七	一	一、一五〇圓
二町	一	一、一五〇圓
江沼	一	一、一五〇圓
河北	一	一、一五〇圓
二七五戸	一	一、一五〇圓
江沼	一	一、一五〇圓
河北	一	一、一五〇圓
江沼	一	一、一五〇圓
石川	一	一、一五〇圓
羽咋	一	一、一五〇圓
會社・個人	一	一、一五〇圓
江沼 會社・個人	一	一、一五〇圓
河北 會社・個人	一	一、一五〇圓
計	二	三、五〇〇圓

五、化學

品名	生産戸數	年産額
舊三	一	一、一五〇圓
一町	一	一、一五〇圓
江沼	一	一、一五〇圓
五戸	一	一、一五〇圓
江沼	一	一、一五〇圓
江沼	一	一、一五〇圓
會社・個人	一	一、一五〇圓
江沼 會社・個人	一	一、一五〇圓
計	二	三、五〇〇圓



紙 肥料(魚肥) 人造肥料	生産戸数	年産額
計	五二	二四、〇〇〇圓
五〇		四二、七二六圓
三三		一、四一九、〇九六圓
一三五		一、四八五、八二二圓

内容別	生産戸数	年産額
a 舊九	七村	
b 二町	三村	
c 能美	三村	
d 珠洲	一町二村	
e 能美	三七	
f 珠洲	七二	
g 能美	二二、五〇〇	
h 鹿島	一、四一三、七四六	
i 能美	二、〇〇〇	
j (イ) 九	個人	
k (イ) 六	個人	
l (ロ) 三	個人	

**六、窯業**

内容別	生産戸数	年産額
a 舊二	二	
b 二町	三	
c 能美	三	
d 珠洲	三	
e 能美	三	
f 珠洲	三	
g 能美	三	
h 鹿島	三	
i 能美	三	
j (イ) 九	個人	
k (イ) 六	個人	
l (ロ) 三	個人	

**七、木工**

内容別	生産戸数	年産額
a 舊二	二	
b 二町	三	
c 能美	三	
d 珠洲	三	
e 能美	三	
f 珠洲	三	
g 能美	三	
h 鹿島	三	
i 能美	三	
j (イ) 九	個人	
k (イ) 六	個人	
l (ロ) 三	個人	

陶器原料 セメント	生産戸数	年産額
計	七一	四、五〇〇圓
七一		五、五一〇、〇〇〇圓
一四四		二六一、七四五圓
一四八		五、八四六、五四五圓

内容別	生産戸数	年産額
a 舊二	二	
b 二町	三	
c 能美	三	
d 珠洲	三	
e 能美	三	
f 珠洲	三	
g 能美	三	
h 鹿島	三	
i 能美	三	
j (イ) 九	個人	
k (イ) 六	個人	
l (ロ) 三	個人	

内容別	生産戸数	年産額
a 舊二	二	
b 二町	三	
c 能美	三	
d 珠洲	三	
e 能美	三	
f 珠洲	三	
g 能美	三	
h 鹿島	三	
i 能美	三	
j (イ) 九	個人	
k (イ) 六	個人	
l (ロ) 三	個人	

**八、製炭**

内容別	生産戸数	年産額
a 舊二	二	
b 二町	三	
c 能美	三	
d 珠洲	三	
e 能美	三	
f 珠洲	三	
g 能美	三	
h 鹿島	三	
i 能美	三	
j (イ) 九	個人	
k (イ) 六	個人	
l (ロ) 三	個人	

内容別	生産戸数	年産額
a 舊二	二	
b 二町	三	
c 能美	三	
d 珠洲	三	
e 能美	三	
f 珠洲	三	
g 能美	三	
h 鹿島	三	
i 能美	三	
j (イ) 九	個人	
k (イ) 六	個人	
l (ロ) 三	個人	

内容別	生産戸数	年産額
a 舊二	二	
b 二町	三	
c 能美	三	
d 珠洲	三	
e 能美	三	
f 珠洲	三	
g 能美	三	
h 鹿島	三	
i 能美	三	
j (イ) 九	個人	
k (イ) 六	個人	
l (ロ) 三	個人	

**九、食料**

内容別	生産戸数	年産額
a 舊二	二	
b 二町	三	
c 能美	三	
d 珠洲	三	
e 能美	三	
f 珠洲	三	
g 能美	三	
h 鹿島	三	
i 能美	三	
j (イ) 九	個人	
k (イ) 六	個人	
l (ロ) 三	個人	

内容別	生産戸数	年産額
a 舊二	二	
b 二町	三	
c 能美	三	
d 珠洲	三	
e 能美	三	
f 珠洲	三	
g 能美	三	
h 鹿島	三	
i 能美	三	
j (イ) 九	個人	
k (イ) 六	個人	
l (ロ) 三	個人	

石川縣・福井縣

Table with columns for location (e.g., 江沼, 河北), production type (e.g., 製製品, 製製品), and production amount (e.g., 一〇八, 二七).

十、雜

Table with columns for location (e.g., 江沼, 河北), production type (e.g., 製製品, 製製品), and production amount (e.g., 一七六, 三六二).

第十七節 福井縣

Table with columns for location (e.g., 河北, 江沼), production type (e.g., 製製品, 製製品), and production amount (e.g., 一五〇, 二五二).

一、概

觀

二、織

維

Table with columns for location (e.g., 新二, 一町), production type (e.g., 生絲, 生絲), and production amount (e.g., 一七〇, 〇〇〇).

三、金

屬

Table with columns for location (e.g., 新三, 一町), production type (e.g., 製製品, 製製品), and production amount (e.g., 一〇〇, 〇〇〇).

四、機

械

Table with columns for location (e.g., 坂井, 今立), production type (e.g., 製製品, 製製品), and production amount (e.g., 一〇〇, 〇〇〇).

內容別

a 舊一村  
b 丹生一村  
c 丹生四戶  
d 丹生一〇、〇〇〇圓  
e 丹生一〇、〇〇〇圓  
f 丹生一〇、〇〇〇圓  
g 丹生一〇、〇〇〇圓  
h 丹生一〇、〇〇〇圓  
i 丹生一〇、〇〇〇圓  
j (イ) 一  
k (イ) 一

五、化學

生產戶數

年產額

製植物性油紙 四二 八〇〇圓  
魚油 二 八〇圓  
石灰 一四 五五、九六四圓  
肥料 二五 三三九、五六六圓  
製石粉 一 一七、六〇〇圓  
製石粉 八五 四四九、〇一〇圓

內容別

a 舊八  
b 坂井一村  
c 坂井四村  
d 坂井八五戶  
e 坂井南條  
f 坂井南條  
g 坂井南條  
h 坂井南條  
i 坂井南條  
j (イ) 八  
k (イ) 八

內容別

g 坂井三五、〇〇〇  
h 南條三六二、二八〇  
i 坂井個人  
j 坂井個人  
k 坂井個人  
l 坂井個人  
m 坂井個人  
n 坂井個人  
o 坂井個人  
p 坂井個人  
q 坂井個人  
r 坂井個人  
s 坂井個人  
t 坂井個人  
u 坂井個人  
v 坂井個人  
w 坂井個人  
x 坂井個人  
y 坂井個人  
z 坂井個人

六、窯業

生產戶數

年產額

瓦 二五 四、〇〇〇圓  
陶器 二六 九五、七〇〇圓  
瓦 二六 九九、七〇〇圓

內容別

a 舊八  
b 坂井一村  
c 坂井三村  
d 坂井一村  
e 坂井一六  
f 坂井一  
g 坂井一  
h 坂井一  
i 坂井一  
j 坂井一  
k 坂井一  
l 坂井一  
m 坂井一  
n 坂井一  
o 坂井一  
p 坂井一  
q 坂井一  
r 坂井一  
s 坂井一  
t 坂井一  
u 坂井一  
v 坂井一  
w 坂井一  
x 坂井一  
y 坂井一  
z 坂井一

七、木工

生產戶數

年產額

製木材 三五 二二五、六四五圓  
木工 五三 六九、三二〇圓  
計 八八 二九四、九六五圓

內容別

a 舊一二  
b 坂井一村  
c 坂井二村  
d 坂井一村  
e 坂井三村  
f 坂井三村  
g 坂井三村  
h 坂井三村  
i 坂井三村  
j 坂井三村  
k 坂井三村  
l 坂井三村  
m 坂井三村  
n 坂井三村  
o 坂井三村  
p 坂井三村  
q 坂井三村  
r 坂井三村  
s 坂井三村  
t 坂井三村  
u 坂井三村  
v 坂井三村  
w 坂井三村  
x 坂井三村  
y 坂井三村  
z 坂井三村

八、製炭

年產額

四七六、五九八圓

生產戶數

一、三〇一

福井縣

內容別

a 舊二三  
b 大野五村  
c 大野五村  
d 大野二村  
e 大野二村  
f 大野二村  
g 大野二村  
h 大野二村  
i 大野二村  
j 大野二村  
k 大野二村  
l 大野二村  
m 大野二村  
n 大野二村  
o 大野二村  
p 大野二村  
q 大野二村  
r 大野二村  
s 大野二村  
t 大野二村  
u 大野二村  
v 大野二村  
w 大野二村  
x 大野二村  
y 大野二村  
z 大野二村

九、食料

生產戶數

年產額

酒造 八 二五七、五一四  
醬油及味噌 七 一〇、〇〇〇圓  
麵類 一 三〇〇圓  
菓子類 一 一三、〇〇〇圓  
罐詰 二 一五、七〇〇圓  
水產物加工 四 六、〇〇〇圓

農産物加工計	二〇九 二二二 四〇〇、三三一圓	八、八二〇圓
--------	------------------------	--------

內容別	生產戸數	年産額
a 新三村	一〇村	
b 一町	坂井 一町二村	
c 吉田三村	坂井 一町二村 南條 一村	
d 丹生三村	坂井 一町二村 南條 一村	
e 丹生二村	坂井 一町二村	
f 丹生二村	坂井 一町二村	
g 丹生二村	坂井 一町二村	
h 丹生二村	坂井 一町二村	
i 丹生二村	坂井 一町二村	
j 丹生二村	坂井 一町二村	

### 第十節 山梨縣

#### 一、概観

內容別	生產戸數	年産額
a 新三村	三村	四、一三五、二三五圓
b 今立三村	三村	五〇、七〇〇圓
c 敦賀一村	三村	五七四、三九〇圓
d 今立二村	三村	一三、〇〇〇圓
e 敦賀一村	三村	四三、七五四圓
f 今立二村	三村	四一九、五〇〇圓
g 敦賀一村	三村	五五六、四六二圓
h 今立二村	三村	一〇六、三四九圓
i 敦賀一村	三村	
j 今立二村	三村	

合計	一一、八二七	三一、二、一五圓
----	--------	----------

### 二、織

內容別	生產戸數	年産額
a 舊一村	二村	一、九六〇、六〇〇圓
b 西八代	南五摩 二村	三五〇、〇〇〇圓
c 北五摩	南都留 三村	一、〇〇〇、〇〇〇圓
d 西八代	南五摩 一	一七八、二五二圓
e 西八代	南五摩 一	六、三八三圓
f 北五摩	南都留 一	一〇〇、〇〇〇圓
g 西八代	南五摩 一	五四〇、〇〇〇圓
h 西八代	南五摩 一	四、一三五、二三五圓
i 西八代	南五摩 一	
j 西八代	南五摩 一	

合計	一一	五〇、七〇〇圓
----	----	---------

### 三、金屬

內容別	生產戸數	年産額
a 舊二村	一	三、〇〇〇圓
b 南五摩	一	一〇、〇〇〇圓
c 南五摩	一	一三、〇〇〇圓
d 南五摩	一	
e 南五摩	一	
f 南五摩	一	
g 南五摩	一	
h 南五摩	一	

### 四、機械器具

內容別	生產戸數	年産額
a 舊二村	一	一、〇〇〇圓
b 南五摩	一	一、〇〇〇圓
c 南五摩	一	一、〇〇〇圓
d 南五摩	一	一、〇〇〇圓
e 南五摩	一	一、〇〇〇圓
f 南五摩	一	一、〇〇〇圓
g 南五摩	一	一、〇〇〇圓
h 南五摩	一	一、〇〇〇圓

山梨縣  
i 南五摩 個人 北五摩 個人  
j (イ) 一 k (イ) 一

五、化學

製紙  
生産戸數 年産額  
a 一四六 五七〇、三九〇圓  
b 一 四、〇〇〇圓  
計 一四七 五七四、三九〇圓

七、木工

生産戸數 年産額  
a 四六 三七五、五〇〇圓  
b 八七 四四、〇〇〇圓  
計 一三三 四一九、五〇〇圓

内容別

a 萬四 三村  
b 一町 三村  
c 西八代 一町 南五摩 一村 北五摩 二村  
d 一四七戸 九九 南五摩 四五 北五摩 三  
e 西八代 九九 南五摩 四五 北五摩 三  
f 五七四、三九〇圓  
g 西八代 三三三、一六〇 南五摩 二四〇、八五〇  
h 北五摩 三八〇  
i 西八代 會社・個人 南五摩 組合・個人 北五摩 個人  
j (イ) 三 (ロ) 一 k (イ) 三 (ロ) 一

六、窯業

生産戸數 年産額  
a 五 四三、七五四圓

内容別

新五 萬一七  
a 二村 南五摩 六村 中五摩 二村  
b 二村 南五摩 六村 中五摩 二村  
c 北五摩 五村 南五摩 五村 北五摩 二村  
d 一三三戸 八 南五摩 六五 中五摩 四  
e 北五摩 二八 南五摩 二四 北五摩 四  
f 四一九、五〇〇圓  
g 東山梨 二八、六五〇 南五摩 一八八、四五〇 中五摩 五七、〇〇〇  
h 北五摩 五九、〇〇〇 南五摩 六四、四〇〇 北五摩 二二、〇〇〇  
i 會社・個人 南五摩 會社・個人 中五摩 個人  
j 東山梨 個人 南五摩 個人 北五摩 個人

八、製炭

生産戸數 年産額  
a 二 三二二、一五圓

内容別

a 萬二 二〇村  
b 一町 二〇村 西五摩 一村 東八代(組合村)一村  
c 東山梨 二村 西五摩 六村 南五摩 四村  
d 北五摩 一町一村  
e 一、〇四戸  
f 東山梨 四七 西五摩 三〇 東八代 六九  
g 南五摩 一五六 北五摩 二九四 南五摩 四八六  
h 北五摩 二二  
i 三二二、一五圓  
j 東山梨 四〇、〇〇〇 西五摩 五、六〇〇 東八代 二九、四五九  
k 南五摩 六一、三〇〇 北五摩 三一、一〇〇 南五摩 八六、八五六  
l 北五摩 五七、八〇〇  
m 組合個人  
n 東山梨 個人 西五摩 個人 東八代 個人  
o 南五摩 個人 北五摩 組合・個人 南五摩 個人  
p 北五摩 個人

九、食料

生産戸數 年産額  
a 六 三二八、七四六圓  
b 五 四一、五七三圓

酒、醬油、醸造

生産戸數 年産額  
a 四 四四、〇〇〇圓  
b 三五 五三、八五〇圓  
c 三四 八、五〇〇圓  
d 四一 七九、七九四圓  
e 一二五 五五六、四六二圓

菓子及パン

生産戸數 年産額  
a 一 二五

農産物加工

生産戸數 年産額  
a 一 二五

粉

生産戸數 年産額  
a 一 二五

新三 萬一〇

a 二町 一一村 東八代 一村 南五摩 一町三村  
b 東山梨 二村 南五摩 一村 北五摩 一町  
c 北五摩 四村 南五摩 六 南五摩 三一 南五摩 三二  
d 一、二九戸  
e 東山梨 六 東八代 三一 南五摩 三二  
f 北五摩 四三 南五摩 六 北五摩 七  
g 五五六、四六二圓  
h 東山梨 五、〇〇〇 東八代 六、〇〇〇 南五摩 四九五、八一二  
i 北五摩 六九、九五〇 南五摩 一三、六〇〇 北五摩 二、一〇〇  
j 組合個人  
k 東山梨 農會・個人 東八代 個人 南五摩 組合・個人  
l 北五摩 組合・個人 南五摩 組合・個人 北五摩 組合・個人  
m (イ) 一三 n (イ) 一〇 (ロ) 三

十、雜

生産戸數 年産額  
a 一〇 二〇〇圓  
b 三〇一 六〇、一四九圓  
c 四 二、五〇〇圓  
d 五 五、〇〇〇圓  
e 二九 三八、五〇〇圓

醬油 山梨縣

水品印サツク 其他の工業

計

內容別

計	一〇六、三四九圓
a 舊九	八村
b 一町	西八代 一町一村
c 東八代	南都留 三村
d 北八代	南八代 一村
e 東八代	西八代 三一
f 北八代	南都留 二八四
g 東八代	西八代 四二、〇〇〇
h 北八代	南都留 五九、七一九
i 組合・個人	南八代 個人
j (イ) 九	北八代 個人
k (イ) 九	南都留 組合・個人

第十九節 長野縣

一、概観

木	工業	五四七
窯	工業	八八
機	工業	五九
化	工業	七七九
金	工業	八〇六、一五〇〇圓
織	工業	九、七三六、三二八圓
雜	工業	一、〇〇二
屬	工業	一〇一
學	工業	七六、六二九圓
械	工業	六三、九七〇圓
業	工業	一、六八七、八五八圓

食料	一、四四八
雜炭	三、六三六
製炭	三、七二六
合計	一、三三六

二、織

生絲(製絲)	三、一〇〇
絹織物	三、三三九
綿織物	三、三二二
麻織物	三、〇〇〇
染色物	三、〇〇〇
ホムス・パン	三、〇〇〇
綿打	三、〇〇〇
真綿	三、〇〇〇
合計	一、〇〇二

內容別

a 新二	二八村
b 四町	北佐久 一村
c 諏訪	北佐久 一村
d 西筑摩	北佐久 一村
e 北安曇	北佐久 一村
f 上高井	北佐久 一村
g 南佐久	北佐久 一村
h 諏訪	北佐久 一村

三、金屬

鐵工	一
鑄工	一
鐵工	一
金屬精鍊(アルミニウム)	九四
銀治(錄)	一〇一
計	一〇一

生產戶數

個年額

鐵工	一六、〇〇〇圓
鑄工	六、五〇〇圓
鐵工	三、〇〇〇圓
金屬精鍊(アルミニウム)	八、〇〇〇、〇〇〇圓
銀治(錄)	三六、〇〇〇圓
計	八、〇六一、五〇〇圓

內容別

a 新二	三村
b 北佐久	北佐久 一村
c 上水内	北佐久 一村
d 北佐久	北佐久 一村
e 上水内	北佐久 一村
f 北佐久	北佐久 一村
g 上水内	北佐久 一村
h 北佐久	北佐久 一村
i 上水内	北佐久 一村
j (イ) 五	北佐久 一村
k (イ) 三 (ロ) 二	北佐久 一村

四、機械

住宅機	一
製具	二
銅具	五
計	五九

生產戶數

個年額

住宅機	八、八九九圓
製具	二七、七三〇圓
銅具	二二、〇〇〇圓
計	一八、〇〇〇圓
住宅機	七六、六二九圓
製具	一八、〇〇〇圓
銅具	一八、〇〇〇圓
計	一五九

長野縣

五九戸	北佐久	下高井	七六、六二九圓	北佐久	八、八九九	下高井	一八、〇〇〇	北佐久	會社・個人	小縣	個人	諏訪	二、〇〇〇
二	北佐久	下高井	七六、六二九圓	北佐久	八、八九九	下高井	一八、〇〇〇	北佐久	會社・個人	小縣	個人	諏訪	二、〇〇〇
一	北佐久	下高井	七六、六二九圓	北佐久	八、八九九	下高井	一八、〇〇〇	北佐久	會社・個人	小縣	個人	諏訪	二、〇〇〇
一	北佐久	下高井	七六、六二九圓	北佐久	八、八九九	下高井	一八、〇〇〇	北佐久	會社・個人	小縣	個人	諏訪	二、〇〇〇
一	北佐久	下高井	七六、六二九圓	北佐久	八、八九九	下高井	一八、〇〇〇	北佐久	會社・個人	小縣	個人	諏訪	二、〇〇〇

五、化學

製藥	石炭	製紙	製油	製灰	製參
一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一

六、窯業

セメント瓦及土管	セメント瓦	窯業	製瓦
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一

七、木工

製材	木製	計
一	一	一
一	一	一
一	一	一
一	一	一

八、製炭

製炭	製炭	製炭	製炭
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一

Table 9: Food and Drink (食料) production statistics. Columns include categories like '酒類' (Alcohol), '油類' (Oils), '麵粉' (Flour), and '製粉' (Flour processing). Rows list various municipalities such as 西筑摩, 南安曇, 更級, 上高井, 上水内, 北佐久, 諏訪, 下伊那, 南安曇, 東筑摩, 更級, 下高井, 上水内, 北佐久, 小縣, 下伊那, 南安曇, 東筑摩, 更級, 下高井, 上水内.

Table 9 (continued): Detailed production statistics for food and drink. Columns include '製粉' (Flour), '製麵' (Noodles), '製菓' (Confectionery), '製糖' (Sugarcane), '製茶' (Tea), '製油' (Oil), '製酒' (Alcohol), '製糖' (Sugarcane), '製茶' (Tea), '製油' (Oil), '製酒' (Alcohol). Rows list municipalities like 北佐久, 小縣, 下伊那, 南安曇, 東筑摩, 更級, 下高井, 上水内.

十、雜

Table 10: Miscellaneous (雜) production statistics. Columns include '傘' (Umbrellas), '竹製品' (Bamboo products), '製柳' (Willow products), '把種' (Seeds), '蠶種' (Silkworm seeds), '水篋' (Water baskets), '檜笠' (Hemlock hats), '農産加工' (Agricultural processing), '木通' (Wooden pipes). Rows list municipalities like 西筑摩, 南安曇, 更級, 上高井, 上水内, 北佐久, 諏訪, 下伊那, 南安曇, 東筑摩, 更級, 下高井, 上水内.

Table 10 (continued): Detailed miscellaneous production statistics. Columns include '製粉' (Flour), '製麵' (Noodles), '製菓' (Confectionery), '製糖' (Sugarcane), '製茶' (Tea), '製油' (Oil), '製酒' (Alcohol), '製糖' (Sugarcane), '製茶' (Tea), '製油' (Oil), '製酒' (Alcohol). Rows list municipalities like 北佐久, 小縣, 下伊那, 南安曇, 東筑摩, 更級, 下高井, 上水内.



第二十節 静岡県

一、概観

産品	生産戸數	年産額
織物	471	47,721,894圓
絹織物	471	84,990圓
綿織物	120	18,443,097圓
絹織物及綿混織物	120	4,595,400圓
織物	120	145,980圓
絹織物	77	3,100,141圓
綿織物	567	3,976,803圓
絹織物	3,478	1,644,407圓
綿織物	6,382	951,778圓
絹織物	2,998	80,184,490圓
綿織物	14,354	80,184,490圓
合計	14,354	80,184,490圓

二、織

産品	生産戸數	年産額
絹織物	1	80,184,490圓
綿織物	1	13,612,216圓
絹織物	2	8,420,387圓
綿織物	145	26,000圓
絹織物	1	15,598,510圓
綿織物	1	912,200圓
絹織物	1	7,860,167圓
綿織物	3	116,668圓
絹織物	3	303,400圓
綿織物	18	303,400圓

三、金

産品	生産戸數	年産額
金	1	100,000圓
銀	1	30,000圓
銅	2	4,000,000圓
鐵	4	4,595,400圓

産品	生産戸數	年産額
葛布	5	30,000圓
紙布	1	10,600圓
染色布	3	22,216圓
合計	9	47,721,894圓

内容別

内容別	生産戸數	年産額
a 新二	16	164
b 七町	1	1
c 駿東	1	1
d 引佐	2	2
e 駿東	4	4
f 引佐	5	5
g 駿東	4	4
h 引佐	4	4
i 駿東	1	1
j (イ) 三 (ロ) 二 (イ) 三 (ロ) 二	23	23

産品	生産戸數	年産額
鐵工	230	13,500圓
鋼工	4	1,440圓
鋳工	1	50,000圓
計	248	10,000圓

産品	生産戸數	年産額
樂器	1	100,000圓
機械修理	4	30,000圓
力織機及附屬品製造	2	4,000,000圓
計	7	4,595,400圓

四、機

械

産品	生産戸數	年産額
木炭切斷機	1	200圓
ボンプ	1	6,000圓
農業用機械器具	2	49,500圓
製茶機械	1	109,700圓
製罐	1	300,000圓
計	6	300,000圓

五、化

學

産品	生産戸數	年産額
製紙(洋紙及和紙)	105	18,146,483圓
ヨード	2	16,000圓
ゴム製品	3	130,000圓
石油	9	132,614圓
計	120	18,443,097圓

内容別	新四	舊一二	静岡縣
a	新四	舊一二	静岡縣
b	六町	一〇村	駿東 一町一村 富士 二町二村
c	加茂	一三	安倍 一町一村 引佐 一村
d	加茂	一三	駿東 一六 富士 一六 引佐 二九
e	加茂	一三	安倍 三九 引佐 二九
f	加茂	一三	駿東 三九 引佐 二九
g	加茂	一三	駿東 三九 引佐 二九
h	加茂	一三	駿東 三九 引佐 二九
i	加茂	一三	駿東 三九 引佐 二九
j	加茂	一三	駿東 三九 引佐 二九
計	一八、四四三、〇九七圓	一、〇〇〇	駿東 三四一、四五〇 富士 三、二六二、三四〇 引佐 一五、〇〇〇 安倍 一七二、〇一四

六、業

内容別	静岡縣
a	静岡縣
b	静岡縣
c	静岡縣
d	静岡縣
e	静岡縣
f	静岡縣
g	静岡縣
h	静岡縣
i	静岡縣
j	静岡縣
計	一四五、九八〇圓

七、木

内容別	静岡縣
a	静岡縣
b	静岡縣
c	静岡縣
d	静岡縣
e	静岡縣
f	静岡縣
g	静岡縣
h	静岡縣
i	静岡縣
j	静岡縣
計	一四五、九八〇圓

八、製炭

内容別	静岡縣
a	静岡縣
b	静岡縣
c	静岡縣
d	静岡縣
e	静岡縣
f	静岡縣
g	静岡縣
h	静岡縣
i	静岡縣
j	静岡縣
計	九四八、四七八

九、食料

内容別	静岡縣
a	静岡縣
b	静岡縣
c	静岡縣
d	静岡縣
e	静岡縣
f	静岡縣
g	静岡縣
h	静岡縣
i	静岡縣
j	静岡縣
計	三、三〇〇圓



愛知縣

碧海	一	額田	八二	西加茂	五
寶飯	三二	渥美	三		
東春井	三七、七四三、八七八圓				
東春井	五、二〇〇、〇〇〇	丹羽	四〇、〇〇〇		
東春井	八二七、五〇〇	中島	八、〇八九、五〇〇		
海部	一一、四三八、三一	知多	九、五九六、九〇〇		
碧海	九八四、四五八	額田	三五、〇〇〇		
西加茂	一五、二〇〇	寶飯	一、〇九二、〇〇〇		
渥美	四二五、〇〇〇				

三、金

生産戸數	年産額
三	一八三、九〇〇圓
一五	六三、〇〇〇圓
四四	一四、六一〇圓
六二	二六、五一〇圓

四、化

生産戸數	年産額
一	五、五〇〇圓
三	六六、〇八〇圓
一	四一〇、二〇〇圓
三〇〇	六、九〇〇圓
三〇五	四八八、六八〇圓

五、窯業

生産戸數	年産額
一、六二四	七、五二三、一〇〇圓
四三	一七七、一〇〇圓
一、六六七	七、七〇〇、二〇〇圓

製材

生産戸數	年産額
三六	五一二、八五九圓
二三	二七三、五五一圓
五九	七八六、四一〇圓

六、木工

愛知縣

生産戸數 年産額  
一、二四七 三七六、一六九圓

七、製炭

生産戸數 年産額  
一、二四七 三七六、一六九圓

煉炭 愛知縣 二、二四九  
三三四、六七〇圓  
七一〇、八三九圓

內 容 別	村	年 產 額
a 舊一	一〇 村	
b 一町	東加茂	
c 碧海	二村	北設樂 五村
d 寶飯	一 村	北設樂 八名 一村
e 碧海	六	東加茂 五五〇 北設樂 四七一 八名 一五〇
f 七〇、八三九圓		
g 碧海	三三四、六七〇	東加茂 一二、七一六 寶飯 六、〇〇〇
h 北設樂	二二一、五〇〇	八名 二四、九九三
i 碧海 個人	八名	
j 寶飯 個人	東加茂	
k 八名		
l 北設樂		
m 個人		
n 個人		

### 八、食 料

內 容	年 產 額
酒 類	九四六、〇〇〇圓
味 淋	五、四三七、二〇〇圓
醬 油 及 味 噌	九八七、六二四圓
清 涼 飲 料	五、五〇〇圓
麵 粉	四九四、五五〇圓
餅 乾	三三、三二六圓
罐 頭	四三、一〇〇圓

農 產 物 加 工 三九〇  
水 產 物 加 工 一〇五  
巴 拿 納 粉 末 調 味 料 一  
其 他 一、〇七三  
一七二  
一、二六六、一六九圓  
三〇、〇〇〇圓  
五、〇〇〇圓  
二八、六〇〇圓  
四、二七八圓  
九、二八一、三四七圓

內 容 別	村	年 產 額
a 新五	三六 村	
b 二町	東春日井	
c 愛知	二 村	西春日井 一村
d 丹羽	二 村	中島 一村
e 碧海	二 村	碧海 二 村
f 丹羽	二 村	碧海 二 村
g 丹羽	二 村	碧海 二 村
h 丹羽	二 村	碧海 二 村
i 丹羽	二 村	碧海 二 村
j 丹羽	二 村	碧海 二 村

內 容 別	年 產 額
北設樂	五九、二一八
八名	一一、六〇〇
寶飯	一二、五〇〇
東春日井	組合、個人
丹羽	個人
海部	個人
額田	個人
東加茂	個人
北設樂	個人
八名	組合、個人

### 九、雜

內 容 別	生 產 戶 數	年 產 額
a 舊七		
b 二町	五 村	
c 東春日井	一 町	海部 一 村
d 北設樂	一 村	知多 三 村
e 東春日井	五〇	海部 二七〇 知多 一〇
f 北設樂	九三	寶飯 二一
g 東春日井	一、〇〇〇	海部 一一、八五〇 知多 四一、二〇〇

## 第二十二節 岐阜縣

內 容 別	生 產 戶 數	年 產 額
織 緞 絲	一、〇一六	八、二八八、九〇一圓
織 布	六、二二三	三、〇八九、〇三〇圓
織 絲	二、〇七三	二、四二七、三一二圓
織 布	六	二、八七六圓
織 布	五三一	四、四一四、〇二四圓
織 布	六二三	四、二一〇、〇八圓
織 布	五七二	一、三〇七、六〇九圓
織 布	二、三四二	三、八九七、五七七圓
織 布	二、五四四	六五五、七一九圓
織 布	一〇、四二〇	二四、五〇四、〇五七圓
織 布	四六	六八二、九一二圓
織 布	一二五	二七九、七八三圓

計	新	舊	年產額
鼓	一〇	一〇	六、〇〇〇圓
機織	三六	三六	五〇、二四一圓
織物	四四六	四四六	一、七五八、〇四八圓
絹、綿、織、人絹織物	四二一	四二一	五、四九〇、〇一七圓
綿織物	二	二	六、四〇〇圓
毛織物	二〇	二〇	一、五五〇圓
計	一、一〇六	一、一〇六	八、二八八、九〇一圓
內容別			
a 新一	二〇村	二町四村	二村
b 三町	五村	二町四村	二村
c 稻葉	不破	安八	本巢
d 武儀	二村	一町	本巢
e 惠那	一村	一村	本巢
f 稻葉	一、一〇六戸	七二三	本巢
g 八、二八八、九〇一圓	二、四五四、四〇二	五、三五八、九七九	本巢
h 養老	一九、七〇〇	八、一〇〇、〇〇〇	本巢
i 本巢	二〇一、三三〇	四、五〇〇	本巢
j 土岐	一、〇〇〇	五、四、〇八〇	本巢

計	新	舊	年產額
金	一	一	七、三〇〇圓
鐵	三	三	一、二〇〇圓
鑄	一	一	三三〇、〇〇〇圓
金屬製品	六二一	六二一	二、六八〇、五三〇圓
計	六二三	六二三	三、〇八九、〇三〇圓
內容別			
a 新一	四村	一村	二村
b 稻葉	一村	武儀	本巢
c 山縣	六二三戸	三村	加茂
d 稻葉	一	不破	本巢
e 山縣	三、〇八九、〇三〇圓	武儀	加茂
f 本巢	三五四、四〇〇	山縣	不破
g 武儀	七五、八五〇	加茂	山縣
h 會社、個人	二、六五一、一九〇	加茂	本巢
i 稻葉	個人	不破	個人
j 山縣	個人	武儀	個人

惠那 組合 白川 個人 一七四  
 (イ) 二三 (イ) 一六 (ロ) 七

### 四、機械

計	新	舊	年產額
荷車	一	一	一、〇五六圓
機器	四	四	一、六二〇圓
器具	一	一	二〇〇圓
計	六	六	二、八七六圓
內容別			
a 舊四	一村	武儀	一村
b 稻葉	一村	武儀	一村
c 惠那	一村	武儀	一村
d 六戸	一	武儀	一
e 惠那	一	武儀	一
f 二、八七六圓	一、〇五六	七二〇	九〇〇
g 稻葉	二〇〇	武儀	七二〇
h 個人	個人	武儀	個人
i 稻葉	個人	武儀	個人
j 惠那	個人	武儀	個人

### 六、窯業

計	新	舊	年產額
瓦	八	八	二〇四、三三三圓
陶磁器	四四四	四四四	四、二〇九、六九一圓
計	五三一	五三一	四、四一四、〇二四圓
內容別			
a 新一	八	八	二〇四、三三三圓
b 山縣	武儀	武儀	武儀
c 吉城	二二	武儀	武儀
d 吉城	六八	武儀	武儀
e 二、〇七三戸	一四〇	武儀	武儀
f 山縣	二二	武儀	武儀
g 加茂	六〇〇	武儀	武儀
h 組合、個人	五六三	武儀	武儀
i 山縣	個人	武儀	武儀
j 吉城	個人	武儀	武儀

### 五、化學

計	新	舊	年產額
薄加工	二	二	三、二七〇圓
石灰	一六	一六	九五〇、九二四圓
製紙	二、〇三四	二、〇三四	一、四七三、一一九圓
計	一九	一九	一、八七三、一一九圓
內容別			
a 新一	一八	一八	一、八七三、一一九圓

計	新	舊	年產額
瓦	八	八	二〇四、三三三圓
陶磁器	四四四	四四四	四、二〇九、六九一圓
計	五三一	五三一	四、四一四、〇二四圓
內容別			
a 新一	一八	一八	一、八七三、一一九圓

七、木		土	
內容別	年産額	內容別	年産額
新製	二八四、二八八圓	新製	一三六、七二〇圓
舊製	四二一、〇〇八圓	舊製	四二一、〇〇八圓
計	七〇五、三一六圓	計	五五七、七二八圓
生産戸數	五七八	生産戸數	四四五
木製	五七八	木製	四四五
木製	六二三	木製	六二三
製材	二八四、二八八圓	製材	一三六、七二〇圓
木製	四二一、〇〇八圓	木製	四二一、〇〇八圓
計	七〇五、三一六圓	計	五五七、七二八圓
生産戸數	五七八	生産戸數	四四五
木製	五七八	木製	四四五
木製	六二三	木製	六二三

八、製炭		炭	
內容別	年産額	內容別	年産額
新製	二、五四四圓	新製	六五五、七一九圓
舊製	二、五四四圓	舊製	六五五、七一九圓
計	五、〇八八圓	計	一、三〇七、六〇九圓
生産戸數	二、五四四	生産戸數	一、三〇七、六〇九
木製	二、五四四	木製	一、三〇七、六〇九
木製	六五五、七一九圓	木製	六五五、七一九圓
製炭	二、五四四圓	製炭	一、三〇七、六〇九圓
木製	六五五、七一九圓	木製	六五五、七一九圓
計	五、〇八八圓	計	一、三〇七、六〇九圓
生産戸數	二、五四四	生産戸數	一、三〇七、六〇九
木製	二、五四四	木製	一、三〇七、六〇九
木製	六五五、七一九圓	木製	六五五、七一九圓

九、食料		食料	
內容別	年産額	內容別	年産額
新製	五八九、一六六圓	新製	五八九、一六六圓
舊製	一、〇〇〇圓	舊製	一、〇〇〇圓
計	一、五八九、一六六圓	計	一、五八九、一六六圓
生産戸數	一、〇〇〇	生産戸數	一、〇〇〇
酒類	一、〇〇〇	酒類	一、〇〇〇
清涼飲料	一、〇〇〇	清涼飲料	一、〇〇〇
醬油及味噌	一、〇〇〇	醬油及味噌	一、〇〇〇
製粉	一、〇〇〇	製粉	一、〇〇〇
製麵	一、〇〇〇	製麵	一、〇〇〇
菓子	一、〇〇〇	菓子	一、〇〇〇
農産物加工	一、〇〇〇	農産物加工	一、〇〇〇
水産物加工(寒天)	一、〇〇〇	水産物加工(寒天)	一、〇〇〇
雜貨	一、〇〇〇	雜貨	一、〇〇〇
計	一、五八九、一六六圓	計	一、五八九、一六六圓
生産戸數	一、〇〇〇	生産戸數	一、〇〇〇
酒類	一、〇〇〇	酒類	一、〇〇〇
清涼飲料	一、〇〇〇	清涼飲料	一、〇〇〇
醬油及味噌	一、〇〇〇	醬油及味噌	一、〇〇〇
製粉	一、〇〇〇	製粉	一、〇〇〇
製麵	一、〇〇〇	製麵	一、〇〇〇
菓子	一、〇〇〇	菓子	一、〇〇〇
農産物加工	一、〇〇〇	農産物加工	一、〇〇〇
水産物加工(寒天)	一、〇〇〇	水産物加工(寒天)	一、〇〇〇
雜貨	一、〇〇〇	雜貨	一、〇〇〇

九、食料		食料	
內容別	年産額	內容別	年産額
新製	一、三〇七、六〇九圓	新製	一、三〇七、六〇九圓
舊製	一、三〇七、六〇九圓	舊製	一、三〇七、六〇九圓
計	二、六一四、二一八圓	計	二、六一四、二一八圓
生産戸數	一、三〇七、六〇九	生産戸數	一、三〇七、六〇九
酒類	一、三〇七、六〇九	酒類	一、三〇七、六〇九
清涼飲料	一、三〇七、六〇九	清涼飲料	一、三〇七、六〇九
醬油及味噌	一、三〇七、六〇九	醬油及味噌	一、三〇七、六〇九
製粉	一、三〇七、六〇九	製粉	一、三〇七、六〇九
製麵	一、三〇七、六〇九	製麵	一、三〇七、六〇九
菓子	一、三〇七、六〇九	菓子	一、三〇七、六〇九
農産物加工	一、三〇七、六〇九	農産物加工	一、三〇七、六〇九
水産物加工(寒天)	一、三〇七、六〇九	水産物加工(寒天)	一、三〇七、六〇九
雜貨	一、三〇七、六〇九	雜貨	一、三〇七、六〇九
計	二、六一四、二一八圓	計	二、六一四、二一八圓
生産戸數	一、三〇七、六〇九	生産戸數	一、三〇七、六〇九
酒類	一、三〇七、六〇九	酒類	一、三〇七、六〇九
清涼飲料	一、三〇七、六〇九	清涼飲料	一、三〇七、六〇九
醬油及味噌	一、三〇七、六〇九	醬油及味噌	一、三〇七、六〇九
製粉	一、三〇七、六〇九	製粉	一、三〇七、六〇九
製麵	一、三〇七、六〇九	製麵	一、三〇七、六〇九
菓子	一、三〇七、六〇九	菓子	一、三〇七、六〇九
農産物加工	一、三〇七、六〇九	農産物加工	一、三〇七、六〇九
水産物加工(寒天)	一、三〇七、六〇九	水産物加工(寒天)	一、三〇七、六〇九
雜貨	一、三〇七、六〇九	雜貨	一、三〇七、六〇九

**十、雜**

鼓阜縣・三重縣	加茂	加茂	個人
郡上	加茂	個人	個人
土岐	加茂	個人	個人
大野	加茂	個人	個人
益田	加茂	個人	個人
吉城	加茂	個人	個人
會社・個人	加茂	個人	個人
(イ) 四一(ロ) 五	加茂	個人	個人
(イ) 三九(ロ) 七	加茂	個人	個人

**第一節 三重縣**

加茂	二〇	可兒	九	惠那	五五
益田	一七	大野	一四五		
三、八九七、五七七圓					
稻葉	二、八九八、三三〇	羽鳥	七、一八〇		
養老	三、三三、八三二	安八	八五〇	揖斐	二〇〇
本巢	五、四一、九六〇	山縣	一六、七五〇	武儀	二〇〇
郡上	七〇〇	加茂	六五〇	可兒	一、八一
惠那	一、三〇〇	益田	一一〇〇	大野	九三、二九九
組合・個人		組合・個人		個人	
稻葉	個人	羽鳥	組合・個人	養老	個人
安八	個人	揖斐	個人	本巢	個人
山縣	個人	武儀	個人	郡上	個人
加茂	個人	可兒	個人	惠那	個人
益田	個人	大野	個人		
(イ) 二四(ロ) 三					
(イ) 二二(ロ) 五					

竹製品	生産戸數	年産額
傘	一四四五	二、八四五、四〇〇圓
蓆	三〇六	七四、六四〇圓
蓆	三四八	二二、三三四圓
製	四五	四、五九〇圓
製	八	四九九、五〇〇圓
製	三	二〇〇、〇〇〇圓
製	五	一〇〇、〇〇〇圓
製	二	一五一、一三三圓
製	二	三、八九七、五七七圓

**一、概観**

生産戸數	年産額
四八六	二一、四二七、八三七圓
七二	九五〇、八六三圓
一三	二、四九、九三〇圓
五三	五〇四、四六〇圓
六八	二、八五四、二八四圓
六八	三、三三七、八八〇圓

新五	舊二二	生産戸數	年産額
三	二四	二、八四五、四〇〇	
稻葉	一町四村	七四、六四〇	
安八	一村	二二、三三四	
山縣	二村	四、五九〇	
加茂	一町一村	四九九、五〇〇	
益田	一町一村	二〇〇、〇〇〇	
二、三、四、五		一〇〇、〇〇〇	
二、三四二		一五一、一三三	

**二、織**

生産戸數	年産額
二六〇	三、五二七、七二六圓
二	二、五三七、二四四圓
一	五五五、六四〇圓
二、三八四	七、二八〇
三、二八〇	三五、九一〇、九二三圓

生	二	三、一四〇、八三五圓
織	一〇七、五〇〇圓	
絹	一、二〇七、八一七圓	
織	八六、八三九圓	
綿	三	三七、二〇〇圓
織	一六	五、二七二、四四六圓
麻	三	二五、二〇〇圓
織	三	六、〇九三圓
毛織	二	五、五〇〇圓
織	二	三、〇〇〇圓
手織	一	八〇、〇〇〇圓
組	四八六	二一、四二七、八三七圓

**三、金屬**

生産戸數	年産額
四一	六五四、三〇〇圓
一五	一三、八二〇圓
一	二六六、〇〇〇圓
七二	一六、七四二圓
七二	九五〇、八六二圓

新	舊	生産戸數	年産額
二	一	四一	六五四、三〇〇圓
一	一	一五	一三、八二〇圓
一	一	一	二六六、〇〇〇圓
一	一	七二	一六、七四二圓
一	一	七二	九五〇、八六二圓

一七九



内容別	生産戸数	年産額
e 桑名	一町一	河藝 一町一村
d 北平妻	一三	度會 一町一村
c 北平妻	一三	度會 一町一村
b 北平妻	一三	度會 一町一村
a 北平妻	一三	度會 一町一村
g 桑名	三	河藝 一九
f 北平妻	二	度會 三四
e 北平妻	二	度會 三四
d 北平妻	二	度會 三四
c 北平妻	二	度會 三四
b 北平妻	二	度會 三四
a 北平妻	二	度會 三四
g 桑名	三	河藝 二〇、八四二
f 北平妻	二	度會 六〇〇、〇〇〇
e 北平妻	二	度會 六〇〇、〇〇〇
d 北平妻	二	度會 六〇〇、〇〇〇
c 北平妻	二	度會 六〇〇、〇〇〇
b 北平妻	二	度會 六〇〇、〇〇〇
a 北平妻	二	度會 六〇〇、〇〇〇
g 桑名	三	河藝 二〇、八四二
f 北平妻	二	度會 六〇〇、〇〇〇
e 北平妻	二	度會 六〇〇、〇〇〇
d 北平妻	二	度會 六〇〇、〇〇〇
c 北平妻	二	度會 六〇〇、〇〇〇
b 北平妻	二	度會 六〇〇、〇〇〇
a 北平妻	二	度會 六〇〇、〇〇〇

**四、機 械**

内容別	生産戸数	年産額
e 河藝	一町一村	度會 一町二村
d 北平妻	一三	度會 一町一村
c 北平妻	一三	度會 一町一村
b 北平妻	一三	度會 一町一村
a 北平妻	一三	度會 一町一村
g 桑名	三	度會 一町一村
f 北平妻	二	度會 一町一村
e 北平妻	二	度會 一町一村
d 北平妻	二	度會 一町一村
c 北平妻	二	度會 一町一村
b 北平妻	二	度會 一町一村
a 北平妻	二	度會 一町一村
g 桑名	三	度會 一町一村
f 北平妻	二	度會 一町一村
e 北平妻	二	度會 一町一村
d 北平妻	二	度會 一町一村
c 北平妻	二	度會 一町一村
b 北平妻	二	度會 一町一村
a 北平妻	二	度會 一町一村
g 桑名	三	度會 一町一村
f 北平妻	二	度會 一町一村
e 北平妻	二	度會 一町一村
d 北平妻	二	度會 一町一村
c 北平妻	二	度會 一町一村
b 北平妻	二	度會 一町一村
a 北平妻	二	度會 一町一村

**五、化 學**

内容別	生産戸数	年産額
g 阿山	一	三重 一
f 阿山	一	三重 一
e 阿山	一	三重 一
d 阿山	一	三重 一
c 阿山	一	三重 一
b 阿山	一	三重 一
a 阿山	一	三重 一
g 阿山	一	三重 一
f 阿山	一	三重 一
e 阿山	一	三重 一
d 阿山	一	三重 一
c 阿山	一	三重 一
b 阿山	一	三重 一
a 阿山	一	三重 一
g 阿山	一	三重 一
f 阿山	一	三重 一
e 阿山	一	三重 一
d 阿山	一	三重 一
c 阿山	一	三重 一
b 阿山	一	三重 一
a 阿山	一	三重 一

**六、窯 業**

内容別	生産戸数	年産額
e 多氣	五	阿山 一八名賀 二
d 多氣	五	阿山 一八名賀 二
c 多氣	五	阿山 一八名賀 二
b 多氣	五	阿山 一八名賀 二
a 多氣	五	阿山 一八名賀 二
g 多氣	五	阿山 一八名賀 二
f 多氣	五	阿山 一八名賀 二
e 多氣	五	阿山 一八名賀 二
d 多氣	五	阿山 一八名賀 二
c 多氣	五	阿山 一八名賀 二
b 多氣	五	阿山 一八名賀 二
a 多氣	五	阿山 一八名賀 二
g 多氣	五	阿山 一八名賀 二
f 多氣	五	阿山 一八名賀 二
e 多氣	五	阿山 一八名賀 二
d 多氣	五	阿山 一八名賀 二
c 多氣	五	阿山 一八名賀 二
b 多氣	五	阿山 一八名賀 二
a 多氣	五	阿山 一八名賀 二
g 多氣	五	阿山 一八名賀 二
f 多氣	五	阿山 一八名賀 二
e 多氣	五	阿山 一八名賀 二
d 多氣	五	阿山 一八名賀 二
c 多氣	五	阿山 一八名賀 二
b 多氣	五	阿山 一八名賀 二
a 多氣	五	阿山 一八名賀 二

**七、木 工**

### 八、製炭

內容別	生産戸數	年産額
煉木炭	二、三三三	五五四、九二〇圓
煤炭	二、三八四	七二〇圓
計		五五五、六四〇圓
新二村	一	
舊三村	二	
員辨	三	
三村	一	
鈴鹿	二	

內容別	生産戸數	年産額
會社・個人	一	三九〇圓
個人	一	六〇圓
員辨	一	三九〇圓
安濃	一	六〇圓
多氣	一	六〇圓
飯南	一	六〇圓
阿山	一	六〇圓
南半婁	一	六〇圓
計	六	二、四〇〇圓
會社・個人	一	三九〇圓
個人	一	六〇圓
員辨	一	三九〇圓
安濃	一	六〇圓
多氣	一	六〇圓
飯南	一	六〇圓
阿山	一	六〇圓
南半婁	一	六〇圓
計	六	二、四〇〇圓

### 九、食料

內容別	生産戸數	年産額
酒類	一	四四八、七〇〇圓
醬油及味噌	一	九九、七九六圓
清涼飲料	一	一五、〇〇〇圓
製粉	一	一三二、三三二圓
製麵	一	二三四、四五五圓
飲料加工	一	二七五、〇〇〇圓
計	五	一、〇〇〇圓
會社・個人	一	四四八、七〇〇圓
個人	一	九九、七九六圓
員辨	一	一五、〇〇〇圓
安濃	一	一三二、三三二圓
多氣	一	二三四、四五五圓
飯南	一	二七五、〇〇〇圓
阿山	一	二七五、〇〇〇圓
南半婁	一	二七五、〇〇〇圓
計	五	一、〇〇〇圓

### 十、雜

內容別	生産戸數	年産額
製餅	一	六四、九五五圓
製菓	一	二八、八三〇圓
和傘	一	一一、五九五圓
魚製品	一	二、四二二、六九四圓
皮製品	一	五、一七〇圓
其他	一	四、〇〇〇圓
計	六	二、五三七、二四四圓
會社・個人	一	二、五三七、二四四圓
個人	一	四、〇〇〇圓
員辨	一	四、〇〇〇圓
安濃	一	四、〇〇〇圓
多氣	一	四、〇〇〇圓
飯南	一	四、〇〇〇圓
阿山	一	四、〇〇〇圓
南半婁	一	四、〇〇〇圓
計	六	二、五三七、二四四圓

### 製餅

內容別	生産戸數	年産額
製餅	一	六四、九五五圓
製菓	一	二八、八三〇圓
和傘	一	一一、五九五圓
魚製品	一	二、四二二、六九四圓
皮製品	一	五、一七〇圓
其他	一	四、〇〇〇圓
計	六	二、五三七、二四四圓
會社・個人	一	二、五三七、二四四圓
個人	一	四、〇〇〇圓
員辨	一	四、〇〇〇圓
安濃	一	四、〇〇〇圓
多氣	一	四、〇〇〇圓
飯南	一	四、〇〇〇圓
阿山	一	四、〇〇〇圓
南半婁	一	四、〇〇〇圓
計	六	二、五三七、二四四圓

三重縣・滋賀縣

南半婁	一二	員辨	四、一〇〇	三重	四、一七七
鈴鹿	一、五〇〇	河藝	三九、二六〇	一志	一、〇三〇
多氣	一、〇〇〇	度會	二七、八二二	阿山	四、〇〇〇
名賀	一〇、九一五	志摩	五、〇〇〇	北半婁	五〇〇
南半婁	二、八〇〇				
組合・個人		員辨	個人	三重	會社・個人
桑名	組合・個人	河藝	個人	一志	個人
鈴鹿	組合・個人	度會	個人	阿山	個人
多氣	個人	志摩	個人	北半婁	個人
名賀	個人				
南半婁	個人				
(イ) 二五					

第二十四節 滋賀縣

一、概観

食料	一四四	生産戸數	一一、五〇七、一八八圓
木工業	一五三		五二、五五〇圓
窯業	五九九		七五、一〇〇圓
機械	一三		三、五〇〇圓
化學	一〇		一九三、四五〇圓
金屬	四八		一四七、六六六圓
雜屬	九三二		二二四、六三九圓

三、金

鑄物	一	生産戸數	一三、三〇〇圓
鐵線	二		三、六〇〇圓
銀治	四五		三五、六五〇圓
計	四八		五二、五五〇圓
內容別			
新	六		
舊	六		
a 新	一	栗太	二村
b 新	一	栗太	二村
c 新	一	東淺井	一
d 新	一	栗太	三
e 新	一	東淺井	二
f 新	一	栗太	四
g 新	一	栗太	四
h 新	一	栗太	四
i 新	一	栗太	四
j 新	一	栗太	四
(イ) 五			

四、機械器具

鐵製	一〇	生産戸數	二、〇〇〇圓
船製	三		一、五〇〇圓
計	一三		三、五〇〇圓
內容別			
a 新	一	栗太	個人
b 新	一	栗太	個人
c 新	一	東淺井	個人
d 新	一	栗太	個人
e 新	一	栗太	個人
f 新	一	栗太	個人
g 新	一	栗太	個人
h 新	一	栗太	個人
i 新	一	栗太	個人
j 新	一	栗太	個人
(イ) 五			

五、化學

製製	一	生産戸數	二、一〇〇圓
製製	一		五〇、〇〇〇圓
製製	一		三、〇〇〇圓
計	三		五三、一〇〇圓
內容別			
a 新	一	栗太	個人
b 新	一	栗太	個人
c 新	一	栗太	個人
d 新	一	栗太	個人
e 新	一	栗太	個人
f 新	一	栗太	個人
g 新	一	栗太	個人
h 新	一	栗太	個人
i 新	一	栗太	個人
j 新	一	栗太	個人
(イ) 二			

二、織

製雜	一、三一六	生産戸數	六三三、〇〇〇圓
合	一、〇六一		一、二〇六、〇〇〇圓
計炭	四、二七六		一〇八、九六八圓
維	一八四		九〇〇、〇〇〇圓
生	二七六		九一、五二九圓
機	八六		一八、五〇〇圓
麻布及麻交織	二三六		五九一、五〇〇圓
縮	九		三九、三〇四圓
縮袖及縮額	七		七七八、一六一圓
絹絲加工	七四		一五、二六六圓
絹絲	一		一四、〇〇〇圓
綿織物	二二〇		一二、〇〇〇圓
天鵝絨	四		一一、五〇七、一八八圓
莫大	六		
製靴	一		
計	九三二		
內容別			
a 新	一	栗太	一町
b 新	一	栗太	一町
c 新	一	栗太	一町
d 新	一	栗太	一町
e 新	一	栗太	一町
f 新	一	栗太	一町
g 新	一	栗太	一町
h 新	一	栗太	一町
i 新	一	栗太	一町
j 新	一	栗太	一町
(イ) 二			

滋賀縣 二〇、〇〇〇圓  
 一〇一 七五、一〇〇圓

内容別	生産戸數	年産額
a 新一	三	二〇、〇〇〇圓
b 四村	一	七五、一〇〇圓
c 野州	一	
d 一〇戸	六	
e 野州	七五、二〇〇圓	
f 野州	二、二〇〇	滋賀二〇、〇〇〇
g 野州	二、二〇〇	
h 野州	個人	
i 野州	個人	
j (イ) 二	(ロ) 二	

六、窯業

内容別	生産戸數	年産額
a 新一	六	一五八、〇〇〇圓
b 一町	七	三、九五〇圓
c 滋賀	二	五、〇〇〇圓
d 愛知	一	一九、五〇〇圓
陶磁器	五八一	
土器	二	
窯業	一〇	
瓦	一	
コシ	五九九	
計		一九三、四五〇圓

七、木

内容別	生産戸數	年産額
a 新一	一	一八六
b 一町	二	
c 滋賀	三	
d 愛知	四	
e 野州	三	
f 野州	一九三、四五〇圓	
g 野州	二七、〇〇〇	
h 野州	個人	
i 野州	個人	
j (イ) 八	(ロ) 三	

工

内容別	生産戸數	年産額
a 新一	一	一三、六六六圓
b 一町	一	三、〇〇〇圓
c 滋賀	一	一四七、六六六圓
d 愛知	一	
e 野州	一	
f 野州	一	
g 野州	一	
h 野州	個人	
i 野州	個人	
j (イ) 一	(ロ) 一	

九、食料

内容別	生産戸數	年産額
a 新一	一	二八、〇〇〇圓
b 一町	二	五、一〇〇圓
c 滋賀	二	四〇、〇〇〇圓
d 愛知	二	九、五〇〇圓
e 野州	二	二、二〇〇圓
f 野州	二	
g 野州	二	
h 野州	個人	
i 野州	個人	
j (イ) 一	(ロ) 一	

八、製炭

内容別	生産戸數	年産額
a 新一	一	二五三、九三八圓
b 一町	一	
c 滋賀	一	
d 愛知	一	
e 野州	一	
f 野州	一	
g 野州	一	
h 野州	個人	
i 野州	個人	
j (イ) 一	(ロ) 一	

内容別	生産戸數	年産額
a 新一	一	一〇六一戸
b 一町	一	
c 滋賀	一	
d 愛知	一	
e 野州	一	
f 野州	一	
g 野州	一	
h 野州	個人	
i 野州	個人	
j (イ) 一	(ロ) 一	

内容別	生産戸數	年産額
a 新一	一	一八七
b 一町	一	
c 滋賀	一	
d 愛知	一	
e 野州	一	
f 野州	一	
g 野州	一	
h 野州	個人	
i 野州	個人	
j (イ) 一	(ロ) 一	